創立70周年記念特集号

激江 でんこう

2001年 37号
大阪経済大学同窓会通信

創立70周年記念特集

～写真で綴る経大の70年

HISTORY of KEIDAI

ズームアップ経大人

■名城大学商学部講師　柴田悦子氏
■陶芸家　古野幸治氏
■花屋別館代表取締役　藤井　享氏

新企画

Get Together

経大ファミリー
「がんばっています！」
～OBからのメッセージ

巻頭企画

創立70周年記念特集

特集1 P1〜P11

HISTORY of KEIDAI

〜写真で綴る経大の70年

黎明期
昭和7年〜
大阪経済専門学校まで

転換期
昭和24年〜
大阪経済大学として発展

充実期
昭和45年〜
3学部体制で充実

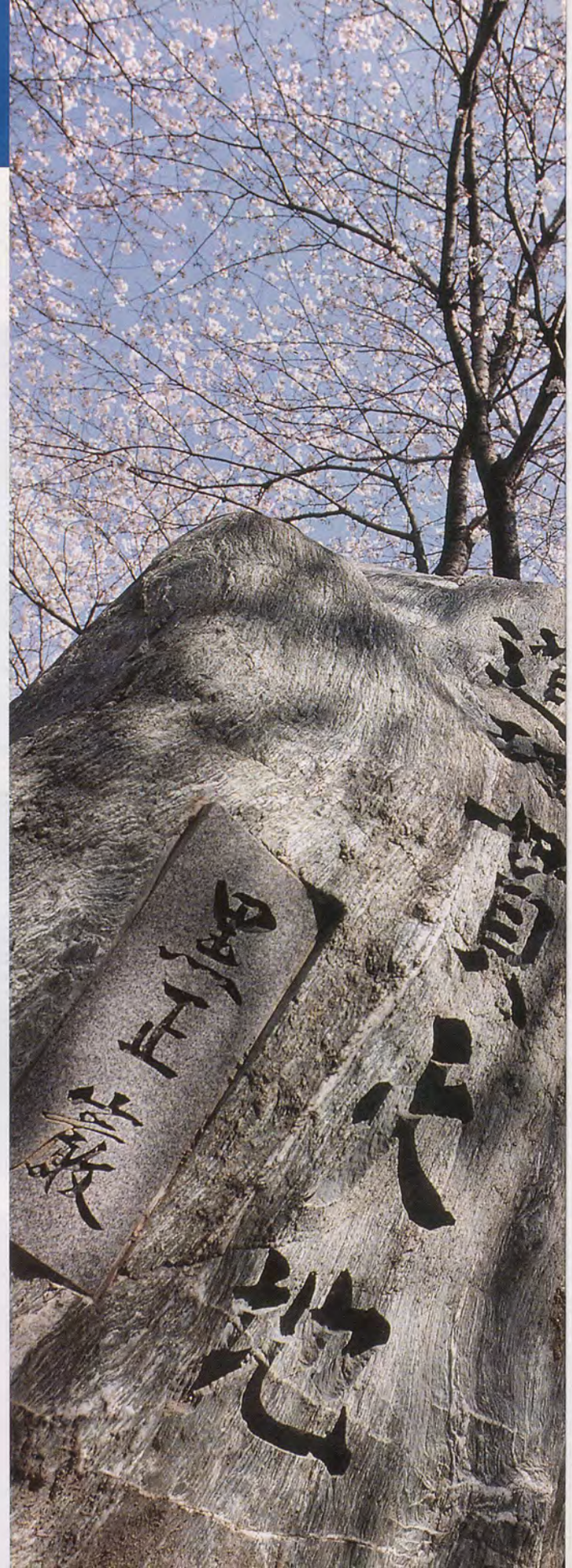
躍進期
未来へ向け新しい大学の
創造をめざす

特集2 P12〜P13
新たな歴史をきざむ!! 経大の新しい顔

特集3 P14〜P15
創立70周年記念事業の紹介

特集4 P16〜P19
17歳からのメッセージ

特集5 P20〜P22
ズームアップ経大人
●柴田　悦子氏　●古野　幸治氏　●藤井　享氏



表紙の話
昭和高商旗

大阪経済大学は2002年で創立70周年を迎えます。本学の歴史は、昭和7年(1932)、前進である浪華高等商業学校の開設にはじまります。その後、さまざまな事情によって同校は改組されることになり、当時京都帝国大学教授であった黒正巌博士が資財をなげうって再建し、昭和10年(1935)に昭和高等商業学校として新たな出発を遂げました。これには、文部省、大阪府・市、教育界および財界など、多方面からの甚大な援助に加えて、黒正博士の恩師である京都帝国大学教授・本庄栄治郎博士や、友人である大阪商科大学教授・菅野和太郎博士(後の通産・万博担当大臣)、同じく藤田敬三博士、そのほか多くの新進学者グループの参加協力がありました。そういった方々の尽力の結果として、今日の本学の基礎が築き上げられたのです。

2001 No.37　創立70周年記念特集号

創立70周年記念特集 **HISTORY of KEIDAI** 写真で綴る経大の70年 …… 1
経大の新しい顔 …… 12
創立70周年記念事業の紹介 …… 14
17歳からのメッセージ …… 16
ズームアップ経大人 …… 20
創立70周年記念ごあいさつ …… 23
本部だより 家族そろってIT学習 …… 26
本部だより 同窓会総会／理事会 …… 28
本部だより 訃報 萩原市郎前同窓会会長 …… 30
支部だより 全国支部からのお知らせ …… 32
支部だより 訃報 荒牧博之初代北九州支部長 …… 39
支部だより 同窓会支部長一覧／平成13年度支部総会開催一覧 …… 40
話題の同窓生 奥山　正美氏 …… 41
OBネットワーク 税理士大樟会10周年公開シンポジウム …… 42
OBネットワーク 大樟教育研究会 …… 45
OBネットワーク 同期生OB会・クラブOB会・ゼミOB会から …… 46
ゼミ短信 ゼミ短信 …… 52
ゼミ短信 先生の近況 …… 58
ゼミ短信 訃報 長谷川拓三先生を偲ぶ・久野先生墓参記 …… 59
ブックレビュー …… 60
エッセイ 世界一周クルーズに参加して 三木　薫(4) …… 62
クラブ戦績 …… 64
Get Together 経大ファミリー …… 66
がんばっています …… 72
キャンパスライフ 経大とケータイ …… 77
学園便り 学園ニュース　入試／就職 …… 82
学園便り 訃報 井手口茂美先生とのお別れ …… 86
実践起業論アンケート集計結果 …… 87
事務局だより …… 88

「澱江」の由来

題字:渡辺達好名誉会長

初代校長黒正巌博士が作詞された旧制・昭和高商の校歌(現在の学園歌)の歌詞♪商都の東北澱江に臨みて高く聳り立つ我等が昭和学園…♪から引用された言葉です。ちなみに岩波漢和辞典によれば【澱江】大阪の淀川。澱水(でんすい)、澱河(でんが)。「淀」は「澱(でん)」に通ずる、と記載されています。

思い出の鐘
教会（チャーチ）の響きを学園内にと、京都で別注。授業開始と終了を告げていた懐かしい音色。

授業風景（昭和商高）

教授も生徒も額に汗して勤労奉仕

校庭で（大阪女子経済専門学校）

学徒出陣壮行会　昭18.11　生徒は学業半ばにして、時局柄やむなく入営（12月1日）。日に日に学内から生徒の姿は消えていった。

HISTORY of KEIDAI
写真で綴る経大の70年

昭和7年、前身である浪華高等商業学校の設立から、
戦中戦後の激動の時代を経て、
経済専門大学として歩み続けた大阪経済大学。
その道程は決して平坦ではなかったものの、
多くの先人たちの情熱と努力で困難を乗り越え、
希望に燃えた若者たちによってのびのびとした校風が築きあげられてきた。
「自由と融和」の建学の精神に貫かれた70年の軌跡をたどり、
新しい時代の大学について考える縁（よすが）としたいと思う。

浪華高商校旗

昭和7年～
大阪経済専門学校まで　**黎明期**

青春ピクニック（昭和商高）

平田（へいだ）の渡し
通学風物詩。現在の東淀川区豊里町と対岸の旭区豊里町を結んでいた。

昭和9年新築の校舎（旧B館）

経大のあゆみ

昭和7年　浪華高等商業学校を開設
昭和7年　浪華高等商業学校開設
　修業年3年・二部制
昭和8年　一部135人・二部
　105人入学
昭和9年　大隈校地校舎新築移転
昭和10年　財団法人昭和学園開設
　昭和高等商業学校に改称
　黒正巖京大教授初代校長
　就任
　第一回卒業者104人
昭和11年　定員500人に認可
昭和12年　「昭和高商研究部報」発行
昭和13年　中華経済研究所開設（北京）支那経済研究所開設
昭和16年　「昭和高商論叢」発行
昭和17年　6カ月繰り上げ卒業
昭和18年　6カ月繰り上げ卒業
昭和19年　大阪女子経済専門学校を設置
　昭和高等商業学校の生徒募集を一時中止
昭和20年　菅野和太郎教授理事長就任
　全校生徒軍需生産の為各工場に動員
昭和21年　大阪経済専門学校（共学）に改称
　大阪女子経済専門学校の生徒を編入
昭和22年　黒正巖教授理事長就任
　学園復興の募金開始
昭和23年　日本経済研究所（京都）の蔵書を本学に移管

自由と融和の精神
初代学長：黒正巖博士

学問思想に対する研究の自由と、人と人との和を尊び、学問を通してお互いが批判し、共感を重ねながら人間的ふれあいを一層深め、さらに自己を高めていく教育方針を堅持しています。

大教室での授業風景

学生大食堂

落語研究会

昭和24年当時の大阪経済大学教授陣

学生集会所、食堂新築。昭33.11

ルンババンド演奏
朝日会館において創立20周年記念祭。
昭26.6

角帽姿の学生達

大学正門

昭和24年 大阪経済大学経済学部
第1部(昼間部)を設置
黒正巖教授初代学長就任
昭和25年 大阪経済大学開学記念
講演会を開催
昭和26年 大阪経済大学経済学部
第2部(夜間部)を設置
学校法人昭和学園設立
昭和29年 B館増築、図書館設置
昭和32年 A館新築
昭和33年 学生集会所及び食堂新築
昭和34年 学校法人大阪経済大学に
変更
昭和35年 藤田敬三教授、初の学長
選挙で選任
昭和36年 C館を新築
昭和37年 経済学部経営学科
第1部・第2部を設置
昭和38年 中小企業経営研究所開設
昭和39年 経済学部経営学科を拡充し、
経営学部第1部・第2部を
設置
経営研究所を開設
図書館・本館新築
昭和41年 D館新築
大学院経済学研究科
修士課程設置
昭和42年 茨木校地取得
昭和43年 大学院経済学研究科
博士課程設置
体育館を新築
白馬ヒュッテ開設
昭和44年 芸術会館新築
学園紛争、学園封鎖に発展

創立70周年記念特集・1
HISTORY of KEIDAI

昭和45年～
3学部体制で充実
充実期

硬式野球部関西六大学初優勝。昭55.10

Click on! 64P

ゼミナール風景

大樟祭

新入生で賑わうキャンパス

自然採光をとり入れた
図書館閲覧室

海外研修

中国語研修にて

英語研修にて

実用的な語学力の習得をめざして、夏休みを利用して行われる海外研修制度には、アメリカと中国の2つのコースが設置されています。現地の人々との交流や数々の異文化体験を重ねる中で、各語圏の文化的な背景を肌で感じることができるこの海外研修に例年、多くの学生が参加します。

海外研修先

英語研修はアメリカのワシントン州スポーケンにあるスポーケン・フォールズ・コミュニティ・カレッジが、中国語研修は北京の首都経済貿易大学が研修先となります。

昭和45年 江口グラウンドに
第2体育館設置
学園封鎖解除
昭和48年 南学生クラブ室棟新築
昭和51年 図書館増改築、電動書架
設置
昭和53年 本館（西棟）増築
昭和54年 教学用コンピュータ設置
昭和55年 C・D館教室冷房付設
硬式野球部関西六大学
初優勝
昭和56年 事務用コンピュータ増設
推薦入学（商業科対象）
実施
昭和57年 創立50周年宣言
推薦入学（特技）を実施
推薦入学（普通科対象）
実施
江口グラウンド改修
昭和58年 創立50周年式典挙行
昭和59年 硬式野球部関西六大学優勝
昭和61年 E館（50周年）記念館新築
同窓会ホール開設
2基の銅像制作
平成2年 海外英語研修（米国）
海外中国語研修（中国）

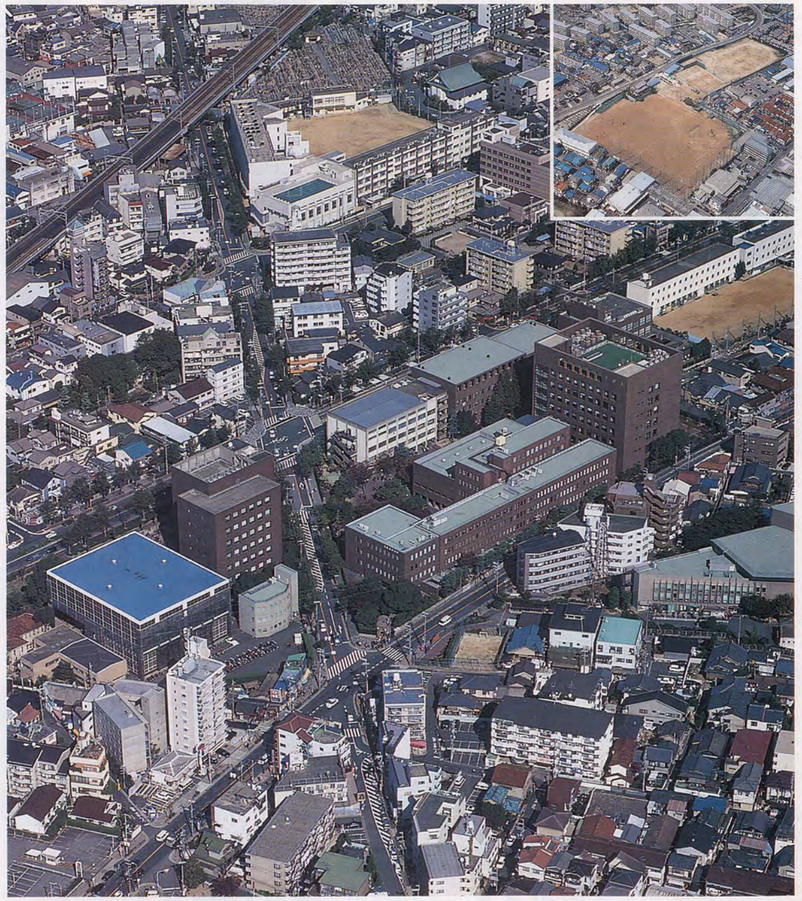
未来に向け
新しい大学の創造をめざす
躍進期

MIC教室

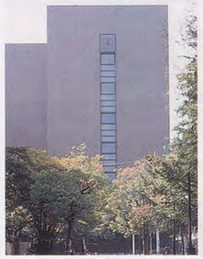
花に向って花に立つ

平成4年　経営学部第1部
　　経営情報学科設置
　　F館（M・C）新築
　　1基の銅像制作
平成6年　シンボルマーク作成
　　オープンカレッジ開催
平成9年　経営学部経営情報学科から
　　経営情報学部第1部
　　経営情報学科設置
　　G館新築
　　大槻ホール新築
平成10年　インターンシップ開始
平成11年　大学基準協会の維持会員
　　に加盟

江口グラウンド



現在の校舎
充実した設備で、
新しい時代のニーズに対応



50周年記念館（E館）

F館（経営情報学部 専用館）

G館

昭和37年頃の学舎

B館

A館

思い出の校舎
施設整備に取り組み、大学として
着実に発展

最新のコンピュータを備えた
コンピュータ演習室

ホームページ　http://www.osaka-ue.ac.jp

公開講座

経大イルミネーション

平成12年　70周年記念講演会実施
「21世紀の日本を考える」
経大イルミネーション点灯
平成13年　70周年記念野球場完成
「FM802 LIVE
FLASH!」
家族揃ってIT学習
「17歳からのメッセージ」
募集
「FOLLOW ME
DOREAMER!」開催
国際シンポジウム2001
「21世紀東アジアの
中小企業」開催
シンポジウム
「17歳の光と影」開催
平成14年　創立70周年
人間科学部（仮称）開設
経済学部地域政策学科
（仮称）開設
70周年記念館新築予定
国際交流会館新築予定

新たな歴史をきざむ!!　経大の新しい顔

新学部・新学科・新校舎

70周年記念館
「フレアホール（A館）」

2002年2月の完成をめざして建設が進められている「70周年記念館」は、地下1階、地上5階、延床面積9194平方メートル。高度な教育環境を備えた教室や研究室、専門研究施設のほか、約940人を収容できるマルチメディア対応の大ホールや、市民に開かれたギャラリーを設置して、教育や研究、交流のための学内イベントに利用するほか、地域の文化・交流活動にも幅広く利用されることを目的としています。

大阪経済大学の新しい顔として、地域に開かれた大学としての機能を高め、地域社会・産業界の振興や学生の社会参加意識の醸成へとつながることが期待されています。

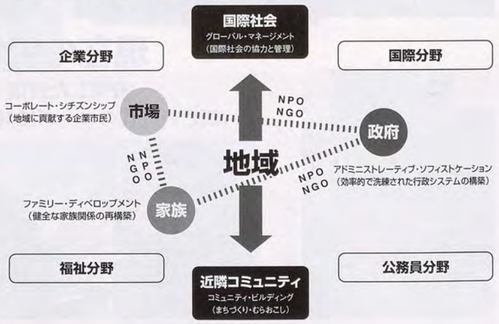
新学科
経済学部
地域政策学科
（2002年4月開設）

2002年4月に開設される経済学部・地域政策学科は、経済学をベースに法学や行政学、経営学などの知識を身につけ、地域に関連した政策を学び、地域の暮らしにかかわるテーマを研究する学問。地域の問題を発見し、それを解決するための政策を提案・実践できる人材の育成をめざします。

充実の
インターンシップ
プログラム

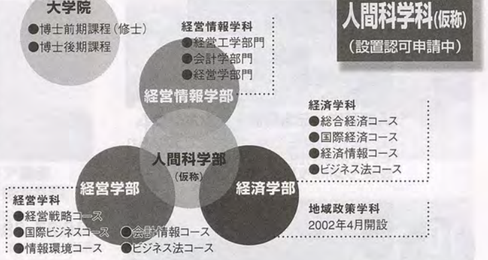
地域とかかわりの深い「企業」「福祉」「国際」「公務員」のそれぞれの分野への進路を想定した4つの履修モデルを設けて、希望する職業に合わせた科目を重点的に学習することで、社会に出てすぐに役立つ実践力を身につけるようにします。

地域政策学科の教育理念イメージ



新学部
人間科学部
人間科学科（仮称）
（設置認可申請中）

大阪経済大学の学部構成



2002年4月開設予定の人間科学部（仮称）は、人文系と社会科学という異なる分野をクロスさせた総合的な教育で、「人間の心理と行動」「人間の文化と社会」について、広い視野でものごとを考える能力を養います。人間を学ぶための一般的な行動・心理領域だけでなく、大阪経済大学としてのノウハウを活かして人間を取り巻く文化・社会領域からも人間理解を進めます。

目標や学びたいことに合わせて、多くの選択科目から自分だけのオリジナルのカリキュラムを組み、自由に進路を変更できる柔軟性のある学部です。少人数制でフィールドワークを多く取り入れるほか、理想的な学習計画をアドバイスする「アドバイザリー制」を採用するなど、学生が目標や進路を4年間でじっくり探すことのできるユニークな教育システムが特徴です。

フィールドワークを
取り入れた授業

現在、「70周年記念館」を建設中ですが、これに続いて「国際交流会館」と「NB館（B館）」の建設が計画されています。

国際交流
会　館

「留学生100人計画」に備えて新築されます。建築地は昨年9月に取得した瑞光校地（徒歩数分）。建物はRC造5階建て、延床面積は約1500㎡で、留学生居室としてシングルルーム36室、ゲストルーム1室の他、談話ロビー、多目的室、和室等で構成されています。設計施工は（株）竹中工務店で2001年12月着工、2002年8月末に完成の予定です。

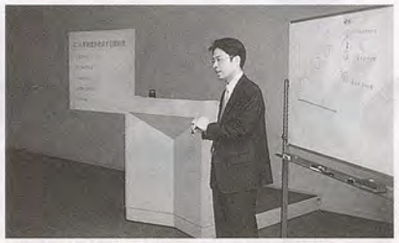
NB館
（B館）

西校舎（旧A・B館跡地）に新築されます。建物はSRC造地上5階・地下1階で延床面積は約5400㎡です。主な用途は大学院施設、教室のほか、事務室、軽食堂など。施工は竹中工務店・大成建設のJVで2002年2月に着工、2003年3月完成の予定です。現在の大学院館は工事に際して取り壊されます。

EVENT CARENDAR 2001〜

来年、創立70周年を迎える大阪経済大学。昨年から様々な記念行事が行われています。
このページでは、2001年に行われた行事を紹介します。

2月 Feb
2.17〜3.17



KEIDAIビジネスキャリア講座 KEIDAI無料税務相談・経営相談

創造性・専門性を持った人材育成のための講座と、地域の皆様を対象にした税務相談・経営相談を開催いたしました。税務相談では、本学同窓の税理士の方々に御協力いただきました。

3月 Mar
3.24

70周年記念野球場オープンセレモニー

茨木市に待望の専用野球場が完成し、その記念セレモニーと記念親善試合（vs大阪商業大学:結果は3−3で引き分け）が行われました。

4月 Apr
4.6

FM802 LIVE FLASH!

新入生歓迎の意味を込めて、歌手　坂本サトルさんのライブが行なわれました。

5月 May
5.3〜5

Click on! 26P

家族揃ってＩＴ学習

7月 Jul
7.24

Click on! 16P

17歳からのメッセージ

8月 Aug
8.1・2

サマースクール2001 高校生のためのコンピュータ講座

大学の教室・コンピュータを使用して、高校生へのコンピュータ講座が開催されました。

8.4

8.19

9月 Sep
9.30

FOLLOW ME ! DREAMER

FM802のD.Jマーキーと、ゲストに畑山 隆則さん、セイン・カミュさん、菊川怜さんを大学に迎えてのトークイベントが開催されました。

盛りだくさんのイベントを開催中!

9.29

人間科学―記念講演・シンポジウム

経大が、「17歳からのメッセージ」にどう応えられるか、三木善彦先生の「17歳の光と影」と題した講演とシンポジウムが開催されました。

10.25〜11.8

見て、学んで わが町再発見

「上新庄と経大70年」と題した写真展を大学と上新庄駅前ギャラリーで開催し、10月28日には瑞光寺で寺子屋「往来物で学ぶ江戸時代」を開催いたしました。

10月 Oct
10.8

こもれび夢まつり in 経大

大学キャンパスにて、地域の方々によるお祭りが開催されました。

10.27・28

社会人公開講座 マネジメント・ゲーム研修

商業・サービス業に携わる経営者の方々などを対象としたマネジメント・ゲームの研修が開催されました。

11月 Nov
11.3

大樟祭コンサート

70周年記念として、ザ・コブラツイスターズのコンサートが開催されました。

10.13

国際シンポジウム2001 21世紀東アジアの中小企業

中小企業・経営研究所主催にて、日本・中国・韓国の研究者によるシンポジウムが開催されました。

10.13・20・27

エクステンションカレッジ 金融・証券講座

昨年9月に引き続き、社会人の方々対象の講座が開催されました。

COMING SOON 2002〜

◆記念講演会

2002年春より新たに建設される70周年記念館の大ホール（学生からの公募により"フレアホール"と名付けられました）にて、連続の記念講演会を開催いたします。

政界・財界などをはじめ、あらゆる分野で中心として活躍されているる方々を多数お招きして長期にわたって開催いたします。

◆ノーベル賞フォーラム

2002年秋、本学にノーベル賞受賞者をお招きしてのフォーラムを開催いたします。

◆17歳からのメッセージ

今年に引き続き、2002年度も開催いたします。

創立70周年記念イベントの最新告知は、記念事業ホームページhttp://www.osaka-ue.ac.jp/KEIDAI70/をご覧ください。また、イベントの詳しい模様は、皆様の自宅に送られます学園新聞 KEIDAI DAYSに掲載されています。

募金のご協力をお願いします。
募金に関するお問い合わせは…☎06-6328-2431総務部　周年事務室までお願いします。

17歳からのメッセージ

素直なことばで綴られた等身大の17歳

全国の高校生から作文・エッセイを募集致しました。
予想をはるかに上回る若者たちの思い・メッセージが集まりました。
そこには、10代が抱える悩みや痛み、誰かに聞いて欲しかったことや、
現代・未来の日本・世界への不安や提言など、
マスコミ等で騒がれる社会事件に登場する若者とは違う、心からの声が多くありました。
内容豊かなメッセージが多く寄せられただけではなく、
大学としては、高校と大学をつなぐひとつの架け橋にもなりました。
予想以上に多くの応募が寄せられましたのは、
本学を卒業され教壇についておられる多くの同窓の高校の
先生方のおかげでもあります。
紙面を御借りして、改めて御礼申し上げます。

4月から6月にかけて高校生を対象にメッセージ募集を展開した「大阪経済大学創立70周年記念　高校生フォーラム・17歳からのメッセージ」。自分自身や仲間、そして社会に対して抱いている素直な気持ちを自由に展開してもらおうというもので、応募総数は7412点にのぼった。7月10日の最終審査会では、最優秀賞のグランプリ6点を始め、金賞（優秀賞）、銀賞、特別賞、計128点の受賞作品が決定。24日に授賞式が開催された。また式当日は漫画家の江川達也氏を講師に、受賞者とのトークディスカッションや講演会も行われた。（受賞者は敬称略）

グランプリ受賞者

テーマ1　今までの自分、これからの自分

「本当の私」

八洲学園高　中嶋 ひと美さん

今までの自分、それは『ニセモノ』だった。周りから思われているイメージ通りに振る舞い、周りの人たちも、自分でさえも騙し続けていた。

しかし、『ニセモノのいい子』を演じるのに疲れ、ついに昨年6月、完全に学校に行けなくなってしまった。

それからの日々はとても辛かった。母に「何故学校に行けないの？」と聞かれても、自分でもそれが解らなかった。

ただ、友達に「明日学校で会おうね」と言われても、「うん」と言えない自分に苛立ち、理由の解らない涙を流す毎日だった。

何故自分だけが…？と思っていたある日、通っていたカウンセラーの先生に、通信制高校というものがあるという事を聞き、そこで私と同じような悩みを持つ人達がたくさんいる事を知った。

通信制高校は、自由な時間が多いので、自分の生活次第で大きく変わってしまう。

だからこそ私は、そこで自分を試したいと思い、転校を決意した。

今の私は『ホンモノ』だ。アルバイトをしたり、大学進学を目指して予備校に通って頑張っている、等身大の17歳の女の子だ。

前の学校にいた時のように、周りのイメージに合わせるのをやめ、自分らしく生きるようにしたら、物事を前向きに考えられるようになり、すごく軽くなった。

私は通信制高校に転校した事を後悔していない。むしろ、自分がたくさんの人に支えられている事に気づき、人生にはいろいろな道がある事も知ることが出来て、とても良かったと思っている。これからもたくさん辛い経験をする事もあるだろうが、大人になるための大事な過程だから、そこからいろんな事を得て、成長していきたいと思う。そのためには、大人の方達の柔軟な考え方が必要不可欠なので、これからも私達の事を長い目で見守っていただきたい。そして、私もいつかそういう大人になりたいと思う。

「夢が目標に変った時」

岡山県立総社南高　佐藤 友紀さん

２００１年4月8日、空港で家族と別れた私は1人でオーストラリアに向かった。知っている人はいなかった。

泣き出しそうな不安。

そんなものはなかった。

私の心は期待で満ち溢れていた。

私は今南オーストラリア州の公立グラント高校の正式な生徒である。友達や先生、ホストファミリーに恵まれ、とても充実した毎日を送っている。

そもそも私をここまで動かしたのは、かつての夢があったからだ。

国際協力事業団に入って、現地コーディネーターの仕事がしたい。今も変わっていない。

「かつて」と言う意味は今は目標であるからだ。

夢と言うととても遠い感じがするが、目標だとなんだか手が届く感じがする。

日本の高校で生徒会をしていた頃、人の上に立つのではなく人の前に立って皆を纏めることの難しさを実感した。

難しいことだが色んな意見を聞く事で色んな人の事が理解でき、何だか人間しているなあという少し変な実感があった。

それが私を今の目標に向けたのだろう。

ここに来てもう3ヶ月が経つ。

規則で縛られない生活、明るくフレンドリー、そして個々を持っている人達と出会って自分自身どんどん視野を広げていると思う。

特に世界中からの留学生と一緒にオーストラリアを周った23日間で私は多くの事を学んだ様に思う。

世界的には悲しい事にまだ差別と言うものは目に見えて残っている。

アボリジニの人達に対しての差別は目に見えるものだった。

オリンピックであれだけ成功したと思われたオーストラリアだが実はまだまだ成長しなければいけない所がある様だ。

これからの私に何が出来るか。

差別があるのはこの国だけではない。

差別と言う前に人間として最低限の生活が出来ていない人達も居る。

私は言語を生かして少しでもそういった人達の役に立たせてもらいたい。

私の時間が役に立つのなら喜んで開発途上国の進歩に捧げたい。金銭的な成長よりもまず人の心を満たしたいと思う。

テーマ2　人とのふれあいの中で

「知られざる娘の一面」

愛媛県立今治北高
黒部 佳奈さん

最近、親との仲がうまくいかないとか、会話が無いという話をよく友達から聞く。でも家は変なのか、朝のドタバタの中ケンカをし、今日こそは帰っても口もきかないでやろうと思いはするものの、結局、普通に会話が始まってしまう、そんな拍子抜けする様な家族だ。でもムカツク時はムカツク。そんな私を一瞬だけ変える事件が起った。

その日の夕食後、私は突然腹痛におそわれそのまま意識を失ない、救急車で運ばれた。救急車の中で母は、私の冷たくなった足を、ずっと手でさすり、温めていてくれた。17年の主婦歴だけあり、母の手は厚くてガザガザしていた。その痛みも近くに居てくれているという安心感をあたえてくれた。意識が戻り始めた頃、その父母にやっと気付き、涙があふれ出て止める事が出来なかった。父母は気付いていたのかも知れないけど、私は痛みからくる汗と頭が痛いふりをして、ひっしで涙をかくした。母の手の温もりと痛さ、おぶってくれた父の背中の大きさだけは、決して忘れない。今だからこそ言えるけど、ノーメイクの母の恐い？顔も、仕事帰りで汗臭い父も全部がうれしかった。本当に本当にうれしかった。と同時に、今までの反抗やケンカを一瞬だけ、ゴメンねって思った。

私には私の家族が最高だ！父親にしたいタレントは？なんていう質問がよくあるけど、父以外は考えられない。今の家族じゃないと絶対ダメッ!!

以上、生まれてこのかた、ずっと反抗期の娘の、知られざるココロの内でしたっ。

「言葉にしなかった本当の心」

明石市立明石商業高
横山 沙織さん

「私、いじめられる理由わかってるねん。」

誰もいなくなった放課後の運動場で、私と彼女は2人ブランコにゆられながら、あたたかい夕日に染まるオレンジ色の世界を眺めていた。その時だった、彼女が私にそうつぶやいたのは。その声はとても小さかったが、はっきりとそしてしっかり私の心に、いつまでもひびいていた。

当時、彼女はクラスのほぼ全員からひどいいじめを受けていた。しかも、それは彼女の見た目に対するいじめで、きもちわるいだとか汚ないだとか、それを彼女の前で平気で口にするものまでいた。彼女はある意味、自分がいじめられる理由を悟らずにいることすらゆるされなかったのだ。ただつらく苦しい現実にたえるしかなく、そんな彼女にその時の私は一緒にいてあげることしかできなかった。

人は時として、なぜこんなばかげた世界を作りだしてしまうのだろう。人間関係は永遠の課題だ、何かの本で読んだことがある。そう人間関係はむずかしい。だけど人間が人間として人と関わっていく中で、その人に思いやりをもつことができれば、こんなことにはならないと思う。そんな簡単なことだけではないのかもしれないが、その簡単なことができていないのだ。そうではないだろうか。

私は6年たった今も忘れることができないあの時の夕日に照らされ悲しく映った彼女の横顔を。そして、あの言葉のあとにつづくであろう私に言いたかった本当の言葉を…。

講演　江川 達也氏

何かができる～
今の十代に伝えたいこと

講演の中で江川氏は、小学生の頃から漫画を描いていたが、中学生になると母親の期待や世間体に合わせるために隠れて描くようになったこと、数学教師になったものの受験用の授業に耐えられず1カ月で辞めようと思ったこと、それまで自分を出すのが不安で他人に合わせて生きてきたが、自分は漫画がほんとうに好きなんだと痛感して漫画家への道を歩み始めたことなど、悩んだり苦しんだりした自らの青春時代を振り返った。

そして、社会的なランクや親の希望、他人からの評価、安定した収入などに目が行くと、自分がほんとうにやりたいことが見えなくなる。「自分らしさ」とは、何事もそつなく美しくこなすことではなく、情けなくても恥ずかしくても自分でもがきながら求めていくもの。勇気をもって素のままの自分を出して、ほんとうに好きなこと、やりたいことを求めていくことが大切であるというメッセージを送った。

テーマ3　提言―21世紀の社会について

「手の平」

横浜雙葉高
辻　玲花さん

私は、お風呂に入っている時、自分の手をよく見る。まずは手の甲の側から。緑もオレンジもピンクも、皆蛍光色のように光っていて本当に綺麗だ。今度はひっくり返して手の平を見る。赤い。ピンクだ。オレンジだ。さっきの手の甲よりも暖かい色。

あぁだから、きっと人は、人や動物を手の平で撫でるのだろう。初めて会った人と握りあうのだろう。重ね合わせて祈るのだろう。本当に愛し合った時、重ね合い、指を固く組むのだろう。本当に悲しい時、平手打ちをするのだろう。

浮き出た血管が、まるでゴムのようだと言った祖父の手も、いつか見て感動した黒人の手も、黄色人種の手も、白人の手も、皆、同じ暖かいオレンジ色の、ピンク色の手の平を持っていた。

あぁだから、その手の平に武器を握らせてはいけないのだ。キノコ雲のスイッチを押させてはいけないのだ。無理矢理奪ってはいけないのだ。吹き飛ばすなんて、もっての外だろう。

二十一世紀、皆が毎日この手の平を見るといい。皆同じ色のこの手の平を。人種を超えた、この手の平の色を。その色の暖かさを。しわが増えても、固くなっても。

「提言―21世紀の社会について」

千里国際学園高
水堂 大輔さん

僕の父はアメリカ人、母は日本人。僕は幼稚園から小学校三年までニューヨークにいた。その時友達が日本は忍者や侍がいる国だろうと言った。僕はびっくりした。この国際交流がさかんな時に、未だにそんな誤解、偏見があるなんて。しかし言われれば映画に出てくる日本人は、いつもカメラをぶらさげ、メガネをかけていると言うステレオタイプだ。いったいどうしてこんな事になるのだろう。

もしお金と時間がたっぷりあれば、僕はアメリカはもちろん世界のいろんな国へ行ってそこの子供達や大人達に日本の正しい姿を伝えたいと思う。例えば日本人はとても勤勉だから世界に誇る技術も作ったし、経済大国にもなったが、今僕も含め若い人達は何か生きる事での物足りなさを感じ始めている。二十一世紀はもっと情報技術が発達し世界はさらに狭くなるだろう。そこで僕はまず世界のいくつかの国から教科書を集め、日本を書いたところをピックアップする。その次に誤解や偏見があればそれを直したい。最後に日本のすばらしい事、日本が反省すべき事を素直に伝えたい。インターネットをフルに活用して。

そんな僕と同じ考えを持っている人達と手を結び、世界から誤解や偏見を無くしたいと思う。それでこそ人間らしい本当のＩＴ革命だと思う。

金賞受賞者

●テーマ1
今までの自分、これからの自分
福岡県久留米高　永松　宏之
大阪府立富田林高　金森　慶太
和歌山県立和歌山商高　上田　美佐
広島県立宮島工高　福島　悠太
聖霊高　ヴ・テイ・キエウ・トリン

●テーマ2
人とのふれあいの中で
鹿児島県立鹿児島中央高　松尾奈緒美
福岡県久留米高　丸山　景
智辯学園高　北側真一郎
神戸市立葺合高　真淵早百合
愛徳学園高　中元　絢子
石川県立金沢桜丘高　赤座麻里子

●テーマ3
提言―21世紀の社会について
帝塚山学院泉ヶ丘高　ソックソムサターン
大分県立大分雄城台高　続　ちさと
大阪朝鮮高級学校　李珠奈
尼崎市立尼崎高　祈　浩昭
済美平成高　河内　未央

INTERVIEW

ズームアップ経大人

各界で活躍されている卒業生を訪ね、学生時代の思い出などを交えながら、その活躍ぶりをご紹介します。今回はこの道一筋というお3人にお話をうかがいました。

名城大学商学部講師

柴田 悦子氏（14）

調和のとれた学園運営を

プロフィール

昭和23年卒　14回生　昭和26年大阪商科大学（現大阪市立大学）商学部を卒業後、同大学助手、助教授、教授として、半世紀にわたって海運業を中心とした交通論で教壇に立つ。現在も名城大学商学部で講師を務める。最近の著書に「物流経済を考える」（成山堂書店、H12・4）「交通論を学ぶ」（法律文化社、H12・5）がある。趣味は登山。

「毎年暮れに行われる須磨から宝塚まで全長54㎞の六甲山全山縦走に5回も挑戦しましてね、お陰で膝を痛めてしまいましたが・・・」としながらも「今も登山とスキーは生活の一部のようなもの」と健康そのもの。現在名古屋の名城大学で交通論の授業に教壇に立つ現役大学講師。

「若い頃は女性なのになぜ経済を専攻したのとよく聞かれたものですが、不思議な運命とでも申しましょうか、決して初めから決めていたわけではありません。母親が東京女子大の1期生という家庭で育ったものですから、女学校を卒業後、東京の学校へ進学するつもりでいたのですが、東京大空襲でそれどころではなくなり、結局その時受験できたのが、近くの経大の前身の大阪女子経済専門学校でした」

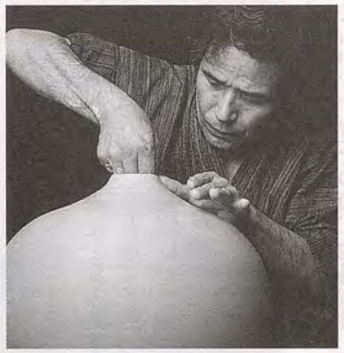
入学後は戦争末期で防空壕堀りの作業ばかりだったようですが、それでも福井孝治（経済原論）藤田敬三（経済政策）黒羽兵治郎（経済史）木村和三郎（会計学）西川清治（財政学）といった戦後の社会科学の論壇で活躍された錚々たる諸先生から講義を受けられたそうです。

「食べるものも不自由な時代でしたが、学校は楽しかったです。京都大学からこられた若い先生がみんなのアイドルで、講義の中身はどうでもいい。ノートも取らずに顔ばかり見ていた」と青春時代を楽しげに話される。まだまだお若い。

卒業後、大阪商科大学（現在の大阪市立大学）へ進み、以来同大学の商学部教授として40数年間教育者としての道を歩んでこられた。その経験から70周年を迎える母校にと話題を向けた。

「本当に大学を支えているのは何かということになると、大変難しい問題ですが、ただ、言えることは学内に派閥を作ってはダメ。それによってエネルギーが殺がれる。教授会と理事会それに同窓会が調和して学園運営にあたる。これが何よりも必要ですね」としたうえで、「学生には困った時に、どうすればいいかを、自分で判断できる能力をつくる教育が必要でしょう。それから経大にはあまり目立ちませんが、優れた先輩がたくさんおられる。現役の学生も、OB諸氏も、自信をもってご活躍下さい」と激励の言葉をつけ添えられた。

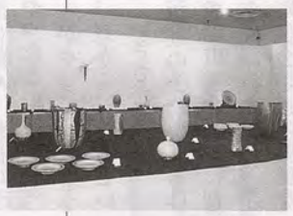
（聞き手は25回卒、森川義一）

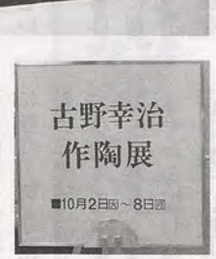


陶芸家

古野 幸治氏（32）

夢を持ち続けて道を切り開く





プロフィール

昭和41年卒　32回生　日本工芸会正会員。昭和18年大阪生まれ。経大在学中より陶芸を始め、卒業後は独学で陶芸の技術を身につけ、灰釉の研究に取り組む。個展をはじめ、さまざまな工芸展や陶芸展に出展、高い評価を受けている。

「学生運動の激しい頃で、経済の勉強はそっちのけで、当時はまだめずらしい中国語を熱心に勉強していました」と、商社マンを夢見ていた学生時代を振り返られる。その頃、楽焼をしていた友人をよく手伝っていたことが陶芸の道へ進むきっかけとなり、勧める人があって日本伝統工芸展に出展したものの落選。

「会場まで行って自分なりに納得して帰ってきました。その時、歴史も伝統もない泉南の地で陶芸を目指すには、何か特徴のある個性豊かな焼き物でなくてはだめだと思いました」

翌年、柞（ニス）という木を燃やした灰をかけて焼き上げた大皿を出展したところ、見事初入選を果たした。それが灰釉との出あいとなり、以来自分にしか創れない焼き物をめざして、燃えるものは野菜でも木でも片っ端から灰にされたとか。

灰釉を作るには灰を3～5年、長いもので10数年水にさらしてアク抜きをしなければならない。鉱物の釉薬に比べると不安定で、同じ材料でも畑の条件によって微妙に色合いが変わってくるため、作品の善し悪しは焼き上がってみるまでわからない。

それだけに、おたふく豆の茎の灰は白く、大豆は黄色に、玉葱の皮は艶のあるグレーブルーといったように、自然の素材にしか出せないやさしさやぬくもりのある作品ができる。

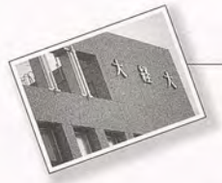
「この道に入って間もない頃、人間国宝の近藤有悠三先生に、『野や畑にある瓜や茄子のような、自然の美しさ、雰囲気をもつ作品を作りなさい』と言われました」

気力、体力、集中力のどれか一つが欠けても、この仕事はできない。一旦窯に火を入れると、4、5昼夜、ほとんど眠ることなく窯を焚き続ける。

「焚きあがる瞬間、窯の中の温度は1300度にもなって、一瞬窯の壁が透明になって中の作品が透けて見える。その瞬間はことばにならないほど美しく、あらゆる苦労も疲れも忘れさせてくれます」とおっしゃるが、どれほど丹精しても作品として出せるのはごくわずか、残りはすべて割ってしまわれるという。

「若い頃は無我夢中で作品を作り続けたが、今はゆっくりと自分で納得のいくような、ほんとうに良いもの、人の心を打つものを作りたい」と夢を語ってくださった。

「とにかく一生懸命努力をすること、夢と希望を持ち続けること、たくさん努力するほど何かができた時の喜びは大きい」という若者へのメッセージに続いて、「何十年かぶりに母校を訪ねた時は、あまりの変わりように驚きました。その時々の時勢に合った大学をめざしながら、発展していってほしい」とエールを送ってくださった。



花屋別館代表取締役

藤井　亨氏（32）

町議会議長として地域の発展に寄与する

プロフィール
昭和41年卒　32回生　三朝温泉で旅館「花屋別館」を営む傍ら、鳥取県三朝町議会議長、三朝温泉観光協会会長などの要職を務め、地元の発展に貢献。趣味は「切り絵」でプロ級の腕前。

世界一のラジウム泉で知られる山陰の名湯、三朝温泉の旅館「花屋別館」のご主人。名刺を拝見すると鳥取県三朝町議会議長、三朝温泉観光協会会長、政府登録国際観光旅館、花屋別館代表取締役とずらり肩書きが並んでいるが、そんな堅苦しさは微塵も感じさせない、人当たりの良いおじさんである。

鳥取県立倉吉東高校から経大に入学、昭和41年卒の32回生。「卒業時は東京オリンピック、新幹線開通と日本が高度成長の道を歩み始めた頃だったので、今と違って活気がありました。卒業後はおやじの跡を継いで旅館業をやる事にしておりましたので、お客さんを送り出す側の旅行業界に就職し、少しは勉強して帰ろうと思っていた。ところが、丁度その頃、地場産業の一つとして三朝カントリークラブがオープンした。学生時代ゴルフ同好会でクラブを振っていた事もあって、そのまま三朝温泉に帰ってきました」と。

ただ、「旅館の経営をバトンタッチしたのはおやじ85歳、私が45か6歳の頃でした。おやじは地方裁判所、登記所に勤め、最後は法務局の所長をやったという役人で、旅館はおふくろがやっているようなものでした。だから三代目といっても…」と、いささか控え目。

反面、父親譲りの公務の仕事は積極的で、46歳で町議会議員に初当選、以来12年間議員として、平成11年からは町議会議長の要職を勤め、地元の信頼を集めている。「町おこしの中核事業として〝温ったかい町・温泉〟をキャッチフレーズに、我々が生きていく上で大切な水、この豊富な水を生み出している山、これらの自然環境を如何に保全していくか、そうした課題に取り組んでいます」と、話しにも熱気がこもる。

さらに、1270年前の慶雲3年、役の行者が創建したといわれる山岳建造物、三徳山投入堂が「確かに平安後期のものであるという証明が付いた事から、今年6月世界遺産に登録しようということになり、町並み保存という一連の動きの中で、町と議会の調整役に走り回っています」と、やる気満々。

そんな忙しい中で趣味として「切り絵」に取り組んでいる。「ある雑誌で切り絵で独自の分野を開かれた宮田雅之先生の作品を見て、その素晴らしさに感動し、始めました。残念ながら平成6年宮田先生が急逝され、直接手ほどきを受ける事はできませんが、この切り絵は、私にとって心の安らぎを与えてくれるものです」としており、「花屋別館」のロビーに設けられた『湯の街ギャラリーNO8』の壁に、これからも彼の作品が展示されていく事でしょう。

最後に経大70周年に向けて「今後とも学校も学生も、マンモス大学にない単科大学としての持ち味に誇りをもって邁進していただきたい。最近、新聞を見ていても、経大の活躍する記事を見る機会がなく、ちょぴり寂しい思いをしております。ぜひ、70周年を起爆剤に、活力ある学校に発展していただきたい」と、さらなる発展を切望しておられた。

（聞き手は25回卒、森川義一）

同窓生の皆様へ

同窓会会長　陰下嘉典

母校の創立70周年記念を目前にして、同窓会機関誌「澱江」の70周年記念特集号が発刊される運びとなりましたことは真に喜ばしいことであります。

新世紀を迎えてのこの1年間は予想外に厳しい年であったことは、今更申しあげるまでもないことでありますが、多くの会員の皆さんには全国各地でつつが無くご活躍のこととお察しします。

厳しい年ではありましたが、その逆境下にあって母校・同窓会は共に至極元気であると確信しています。

開学以来の卒業生数は概ね7万名となり、全国各地に41の地域支部（今年新しく大分支部が結成されました）、その他多くの職域会、同業種・異業種交流会、ゼミOB会・クラブOB会が結成され、それ等の組織を通じて会員諸兄姉が親交を温め、母校・同窓会の発展にご尽力いただいていることは、やはり70年の歴史と、それ等の組織運営にご尽力いただいている会員の皆さんの母校愛の賜物であると感謝しています。

平成13年度同窓会総会も例年通り、去る11月3日（文化の日）に多数のご来賓並びに会員各位のご参会を得まして盛大に開催することができ、総会懇親会終了後には、10年ぶり6回目で7戦全勝という成績で関西1部リーグ優勝したハンドボール部の優勝祝賀会が開催され、関係諸団体のご来賓並びに先輩のOB会員諸兄から現役の同部学生諸君の検討を称える讃辞がおくられる風景は実に楽しい雰囲気でした。

一方、母校では70周年記念事業のシンボルともいえる「70周年記念館並びに記念ホール」の建設も着々と進み清楚な外観は概ね完成しつつあり、平成14年度同窓会総会は、この「記念館・フレアホール」に皆さんをお招きして開催できるものと期待しています。

また、新しく開設される「人間科学部」「経済学部地域政策学科」は共に時代に適応した学部・学科として世間の注目を集めていることは、母校の将来にとって喜ばしい朗報であると思います。

最後になりましたが、会員各位並びに関係各位のより一層のご多幸・ご健勝を祈念すると共に、母校の「創立70周年記念事業」の達成のために、更なるご支援・ご協力を賜わりますようお願いしましてご挨拶とします。

卒業生の皆様へ

理事長　井阪健一

卒業生の皆様、如何お過ごしでしょうか。厳しい経済環境ですが、皆様ご奮闘、ご活躍の様子、頼もしく拝しております。

大学につきましても、全入学時代を目前に教育、経営ともに大きく、厚い壁に直面していますが、2002年に迎える創立70周年を記念しての事業の中で、新学部・新学科の新設、70周年記念館・NB館・国際交流会館の建設、及び各種のイベントを展開しておりますことは既にご案内の通りです。とりわけ、去る7月24日に授賞式を終えた「17歳からのメッセージ」企画は大きな反響を呼び、7400通以上の応募がありましたが、その際本学出身の高校教員の皆様には絶大なご協力を賜りました。また、3年目を迎えたインターンシップについても、本年7月末現在ご協力団体は97（民間86、自治体11）、派遣学生は229名となっています。この協力団体の数は、多分一大学としては日本一かと思いますが、これも各界でご活躍の同窓生を抜きにしては考えられないことで、併せて厚く御礼申し上げます。

来年2002年4月には70周年記念館の中に936席の大ホールが出来ます。そのホールを使用して、70周年に因み日本のトップ70人による連続記念講演会を開催すべく、目下奔走し、ほぼ目処が立ったところです。併せて、ノーベル賞受賞者による講演会企画も開催いたします。先ず卒業生の皆様にご案内いたしますので、万障繰り合わせてご出席下さいますよう、この紙面をお借りしてお願いいたします。

やや遅れをとっておりました教育の国際化についても、目下学長を初め教学サイドと歩調を合わせ、主として東南アジア方面の諸大学と提携し、学生の交換留学を準備中です。既に今夏中国を視察した際、西安と新疆の大学を訪問して参りましたが、本格的には今秋末に学生の交換留学協定締結のために、国際交流委員の先生方と一緒に、東南アジア諸国の大学を回ってくる予定です。

他にも大小幾つもの事業に取り組み、21世紀の大阪経済大学の教育・研究の環境整備はほぼ整ったと思います。

2002年9月30日に予定しております70周年記念祝賀会には万障繰り合わせてご来学下さり、ともに喜びを分ち合って下さいますようお願いいたします。

最後に、皆様のご活躍とご健勝を祈念いたします。（了）

学長就任にあたって

―同窓生のみなさんへ―

学長　渡邉　泉

この度、大阪経済大学の学長に選任されました経営情報学部の渡邉泉です。大阪経済大学に赴任して今年で27年目を迎えます。あっという間の4半世紀でした。この難局の時代に、学長という重責を担うことになり、今更ながら、その責任の重さに身の引き締まる思いです。3年という任期のうちに一体どれだけのことが出来るかわかりませんが、微力ながら、大阪経済大学のために全力を尽くしたいと決意しています。

われらの大阪経済大学は、2002年9月をもって、創立70周年を迎えます。多くのイベントが計画され、宣伝に弱いといわれた本学も、大阪に我が大経大ここにありと、声たからかに歌いあげようとしています。創立以来のキーワードである「自由」と「融和」の精神に加えて、新たに、井阪健一理事長のもと、「社会に開かれた大学」というキーワードが提案され、①企業社会、②地域社会、③国際社会の三つの社会に開かれた大学を目指して多くの取り組みをしてまいりました。理事会としましては、教育環境の整備としてハードの側面から、70周年記念館、国際交流会館、そして仮称NB館の建設を決定しております。その後で、C館を解体し、その跡地を一部活用し、残りをグリーンベルトにする計画を立てています。それに呼応するかたちで、教学サイドとしましても、さらに教学内容のソフトの側面からの更なる充実を計るつもりにしています。大阪経済大学を同窓諸兄姉が胸を張って誇れる大学にして行くためにも、教学サイド（教授会）と法人サイド（理事会）がしっかりと手をつないで、協力して行かねばなりません。

近年、アメリカでは、受動的教育から主体的学習（自学自習）に力点がシフトしていると聞きます。今本学では、従来までの研究中心の考え方から教育重視の考えに移行すべきとの雰囲気が暗黙裡に支配的になりつつあるようにも感じられます。しかし、私は、最新の研究に裏付けられていない教育など何の意味もないと思っています。いわんや教員からの一方的な教育など害こそあれ利益になるものはほとんどないと感じています。戦後教育の歪みを繰り返すだけのことと思います。大切なのは、教わることではなく、学生諸君が自分たちの主体的な意思によって課題を見つけ、自分自身の手によってその課題に取り組み、自らの手で解決していくことだと思っています。われわれ大学のスタッフは、その学生諸君の主体的取り組みを側面からサポートして行くことで、決して答えそのものを教えることではありません。大阪経済大学の4年間の在学中に自学自習の習慣を身につけさせて、学生諸君を社会に送り出すことが大切と考えています。教わったことなどすぐに忘れてしまいます。自分で苦心して学んだことでなければ決して身につきません。われわれ教員は、自分で勉強しようとする学生諸君にそれぞれの研究分野における最新情報を伝え、主体的学習のサポートをして、社会に貢献できる若者を世に送り出して行くことが責務だと思っています。同窓諸兄姉の更なる応援をお願いします。

大盛況だった

「家族そろってIT学習」

同窓会主催による「OBパソコン教室」

地域社会、企業社会に開かれた大学を目指す本学は、創立70周年記念事業の一環として、各種セミナー、シンポジウムを精力的に展開中だが、これに照応して同窓会でも、本学教授、学生の支援のもと、パソコン教室を開催、参加したOB諸氏から好評を博した。

5月のゴールデンウイークの真っ只中、経大キャンパスは、奥さん、子供さん同伴でパソコン教室に足をはこぶOB諸氏の姿で終日、家族的な雰囲気につつまれた。

地域社会、企業社会に開かれた大学を目指す本学は、創立70周年記念事業の一環として、セミナー、シンポジウムなど多彩なイベントを展開中ですが、そのひとつとして開講されたのが、この同窓会主催によるパソコン教室。

OB、OGとその家族を対象にしたパソコン教室は、本学経営学部の樋口、二宮両教授の熱き思いを込めた指導によるところも大きかったが、ガイダンスコースの作成など企画から運営まで、すべて本学の在学生の手によって進められたというのが大きな特徴。女子学生1名を含む講師4名は、もちろん在学生。これに20数名からなるTA(ティーチング・アシスタント)の学生諸君が指導のお手伝い。

5月3日から5日までの3日間で、延べ276名の方々にパソコン操作を指導した。

参加者は、午前中「パソコンってなに?」から始まって、マウスの練習など基礎コースを1時間半、午後からインターネット・メールを中心としたパソコンを楽しむIコース、ハガキ作成や文章作成を中心とした文字、機能を楽しむワードコース、表計算や住所録作りのエクセルコース、デジタルカメラを使い写真を加工したり、ハガキを作るデジカメコースなど、それぞれ参加者の能力に応じてコースを選択、3時間にわたってみっちりパソコン操作に取り組んだ。

なにしろパソコンに触れたのは初めてと言う人から、慣れない手つきでマウスを操作するお祖父さん、さらには、奥さん、子供さんと机を並べて授業を楽しむお父さんなど受講スタンスはさまざまだが、みんなたっぷりとITの世界に浸っていた。

在学生講師にOB諸氏感激

1日の受講を終えた参加者からは、「家族で安心して受講できるなんて、こんな素晴らしいことはない」「子供に母校を案内できて大変喜んでいます。ぜひ今後もこの種の企画を続けて下さい」「75歳の母と一緒に楽しく受講させていただき感謝しています」「学生さんが立派に講師役を務めてくれて、学生とOBがいいコミュニケーションをはかる場となりました」「学生のやる気に感謝します」と今回の催しに絶賛の言葉が相次いだ。さらにこのイベントのために東京から来たというOB(会社経営、71歳)は「時代に乗り遅れないよう、歳をとっても勉強しないとね」とやる気満々。愛媛県から来た男性も「来た甲斐がありました」と地方からの参加者も大満足の様子。

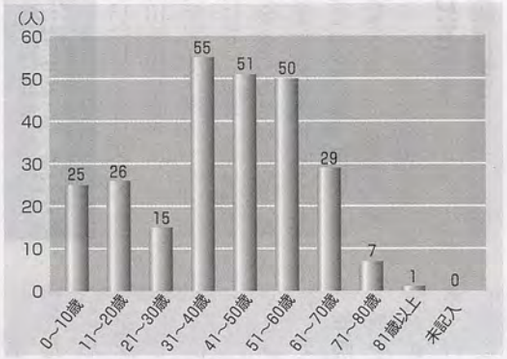
IT不況が叫ばれ、大手IT企業がリストラの名のもとに人員削減を打ち出すなど、IT業界にも明るい話題が少なくなりましたが、インターネットの利用者は依然右肩あがりの上昇機運にある。総務省が「2003年までに電子政府を構築する」との政策目標を発表、各都道府県で電子市役所の実現といった動きも見せ始めており、これからは否応なしにパソコンとの触れ合いが不可欠となってくる。

今回の受講者の7割の方が「より高度な講座を希望する」とし、9割以上の方が「ぜひ継続してやってほしい」とアンケート調査に答えておられるのを見ても、この種のパソコン教室に寄せる期待は大きく、学生指導によるパソコン教室は、ぜひ来年度も実現してもらいたいものだ。

(25回卒、森川記)

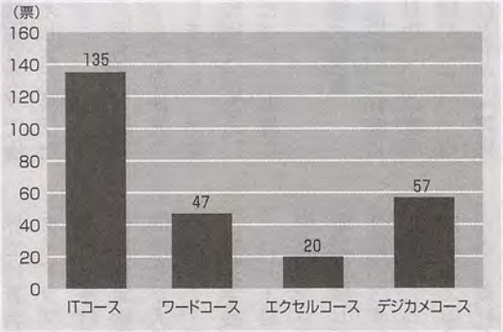
データ編

■年齢別受講グラフ



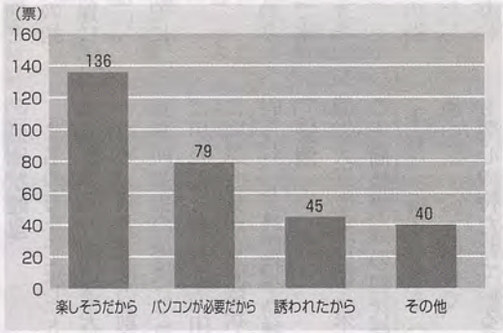
これにより、参加者の形態が第一を「0~30歳」、第二を「31~60歳」。第三を「61歳以上に分けることができます。」

■コース別グラフ



ITコースが他を差し置いて一番受講生が多くなりました。続いてデジカメコース、ワードコース、エクセルコースといった順番です。ワード・エクセルに関してはパソコンがはじめての人々は、難しそうといった言葉の先入観などがあったようでした。

■受講動機(複数回答あり)



年齢幅が大きいため、それぞれによって動機がバラバラとなってしまいました。購入予定のためや、頭の体操といったようにといったようなことや、時代の流れやデジタル・デバイドを感じていることを改めて実感しました。

平成13年度同窓会総会

日時　平成13年11月3日(文化の日)
午前10時30分開会

場所　50周年記念会館

文化の日にしては珍しく早朝より雨が降り会員の出足が心配されたが、会員190名そしてご来賓30名の出席をいただき、例年どおりの盛会となった。

■総会セレモニー

□陰下会長挨拶要旨

昨年の9月30日に創立70周年記念事業の開始宣言以来、その準備が着々とすすめられています。シンボルとも言える70周年記念館も姿を現してきました。国際交流会館、NB館も計画されており、逆境にあって教育環境が整えられつつあることは、理事長、学長はじめ教職員の皆様のご尽力と同窓生各位のご協力の賜物と感謝致しております。それ故、非常に厳しい社会情勢であるが、大阪経済大学と同窓会は安心出来る。OB会の活躍も目覚ましく、特にOBの高校教諭が参画している大樟教育研究会では学校の将来について数々の非常に前向きな提言をいただいている。喜ばしいことにハンドボール部が6年振に関西リーグで優勝したことをお伝えし共に喜びたいと思います。

記念事業募金のご協力をお願いしておりますが、なかなか思うようにはなっておりません。同期の方、同じクラブやゼミの友人にぜひ声をかけてください。お願い致します。

□井阪理事長ご挨拶の要旨

理事長に就任した時に、「社会に開かれた大学」を目指し、就職率を上げて入学者を増やしたいと申しました。その手段として「特殊講座」「インターンシップ」に力を注いだ結果、少しずつ成果が上がってきております。インターンシップを実施していただいた企業からは高い評価を得ており、今後どうして就職率向上に結び付けるかが問題である。社会にとって有為な人材を育てる教育環境作りをしたい。

記念事業の一つである「17歳からのメッセージ」には協賛の読売新聞も驚いた7、400通の応募があった。これはOBの高校教諭の方々のご協力の結果であり、感謝したい。少なくとも今後10年は続けて本物にしたい。二つ目は「70周年記念講演会」であり、70周年に引っかけて約70人の日本の各界では著名な方を日本経済新聞とタイアップして実施し、本学の知名度を挙げたい。来場者の確保には募金同様ご協力を賜わりたい。同窓会が大学、理事会を全面的にバックアップしてください。

□渡邉学長ご挨拶の要旨

11月1日に山田前学長に代わり学長となりました。早いもので本学に就職してから27年になります。任期の3年間どのようにやっていくのかじっくり考えて同窓生の期待に添えるような舵取りをしたい。資本主義社会での学校の舵取りについては前学長と私の考えは異なっておりました。学長選挙では私の意見が支持されたものと考え頑張ろうと考えております。しかしながら反対意見や少数意見も決して無視せず、私の方針を貫いて行きたい。入り口・出口の充実や偏差値の低下をどうして行くのか教学でしかっり考えて職員のサポートも受けながら大学を再構築したい。人間科学部も開設されるので、社会学に人間学を加えた教育をして、どこにでも通用する学生を育てたい。理事長、理事会、教職が手を携えて学校をよくしたいと考えますので同窓会のご支援をお願いします。

□感謝状贈呈

2名の方を予定しておりましたが、前学長の山田達夫教授ご欠席のため、福井支部の創設者であり長年同窓会の発展にご尽力をいただいた前支部長の内田甫様(6)に同窓会長から感謝状と記念品が贈られ、全員が拍手功績を讃えた。

□講演

滝内大三教養部長(来春開設される人間科学部の初代学部長)に「子育ての歴史を語る(幕末から明治へ)」という題目で、現代もっとも関心の持たれている子育てにつき、古代ローマから現在迄の教育と躾の本質にふれた非常に理解しやすいお話であった。会員から非常に良かった、今後もこのような企画を続けてほしいという声が多かった。

■懇親パーティ

井阪理事長、渡邉学長、陰下同窓会長の鏡開きのあと、磯野斉相談役(3)の何時も変わらぬお元気な「乾杯」のお声でパーティが賑やかに始まった。最後に、優勝に鼻高々のハンドボール部OB会の鮫島圭会長(18)の万歳三唱で来年の再会を願ってお開きとなった。

※文中の(　)の数字は卒業回数

平成13年度理事会開催

日時　平成13年6月23日(土)
午後2時開会

場所　新阪急ビル12階レストランパレス

全国各地から理事並びに常任理事が出席して、定例理事会が開催された。同窓会長の挨拶後、会長を議長に選任し議案審議をおこなった。

第1号議案「平成12年度事業報告、収支計算書、監査報告」について。

第2号議案「平成13年度事業計画案、収支予算案」について。

第3号議案「70周年記念事業募金」について。

慎重審議の結果、各議案が満場一致で承認可決された。

議事終了後、本学から多数のご来賓をお迎えした。井阪理事長、山田学長のご挨拶に続き、蝦名就職部長から就職状況について、東入試部長から入試状況について報告があった。引き続きご来賓と同窓生とのなごやかな懇親会が催された。

平成12年度収支決算書　自　平成12年4月1日　至　平成13年3月31日　(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前期繰越金	21,395,957	21,395,957	総会費	4,881,038	7,000,000
会費収入	57,648,000	57,000,000	役員会費	1,677,284	3,000,000
総会収入	830,000	800,000	支部費	7,056,686	8,500,000
利息収入	113,534	200,000	事務費	629,215	1,000,000
澱江収入	576,755	1,000,000	人件費	7,535,660	7,800,000
名簿収入	332,430	300,000	旅費交通費	3,452,460	4,500,000
雑収入	108.800	0	澱江発行費	17,036,759	16,000,000
			名簿調査費	2,326,211	4,000,000
			学対費	3,497,346	6,000,000
			諸会助成費	968,553	1,500,000
			慶弔費	214,350	500,000
			70周年記念事業対策費	4,017,218	5,000,000
			名簿発行積立金	4,000,000	4,000,000
			スポーツ・学術振興積立金	2,500,000	2,500,000
			特別基金積立金	7,000,000	7,000,000
			予備費	0	2,395,957
			次期繰越金	14,212,696	0
合計	81,005,476	80,695,957	合計	81,005,476	80,695,957

平成13年度収支予算表　自　平成13年4月1日　至　平成14年3月31日　(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
前期繰越金	14,212,696		総会費	7,000,000	
会費収入	64,000,000		役員会費	3,000,000	理事会・常任理事会・各部会
総会収入	800,000		支部費	8,500,000	運営費・支部総会援助
利息収入	100,000		事務費	1,000,000	
澱江収入	1,000,000		人件費	7,800,000	事務局人件費
名簿収入	300,000		旅費交通費	4,500,000	
			澱江発行費	17,000,000	
			名簿調査費	4,000,000	
			学対費	6,000,000	大学祭・クラブ活動援助　他
			諸会助成費	1,500,000	諸会援助
			慶弔費	500,000	
			70周年記念事業対策費	5,000,000	
			名簿発行積立金	4,000,000	
			スポーツ・学術振興積立金	2,500,000	
			特別基金積立金	7,000,000	
			予備費	1,112,696	
合計	80,412,696		合計	80,412,696	

母校さえるのは卒業生

前同窓会会長 萩原市郎様を偲んで

加藤正秋（10）

同窓会や学校にとって、掛け替えのない同窓生が、さる7月20日に急逝した。前同窓会長の萩原市郎氏（10回生）である。柔道三段の堂々とした体で、本人も健康には自信があったようだが、3年前にぼうこうガンが見つかり、そしてこの3月に脳こうそくで倒れ、入院した。家族も周囲も、あの丈夫な人がと思える急逝だった。

萩原氏が昭和商高へ入学したのは1941年（昭和16年）日米開戦、パールハーバー攻撃など、戦時色いっぱいの頃だった。創設者の黒正巖博士が私財を投じての学校が世評をたかめ、東京の大蔵高商（現東京経大）と並ぶ経済の有名高専となっていた頃である。入試の競争率が年々高まり、この年は10倍にも迫る難関だった。

定員は一学年250人、授業は黒正校長が経済地理学を担当したのを始め、戦後民主々義の旗頭的存在になった哲学の久野収、経済原論の藤原光治郎、統計学の菊田太郎、金融論の大北文次郎、国際経済論の建林正喜などなど、当時のジャーナリズム界でも有名だった黒正門下生がずらりと顔を揃えた。こうした国立総合大学並みのスタッフが、50人教室で寺小屋式に指導したため、経済界の評価が刻々と高まり、就職先に一流企業が目立つようになっていた。

さて萩原氏の学生生活だが、当時既に柔道三段だった彼の姿は、柔道部生活でハイライトを浴びる。同級生で同じ神戸から通学していた加頭興治氏はつぎのように思い出す。

同級生に三段、四段のモサ連がいたので、実技では一歩譲ったが、指導と運営面でめきめき頭角を現わしていった。入学式で羽織、袴、ステッキのバンカラスタイルで脅された新入生らも、間もなく彼のやさしさにひかれていったようだ。指導力のよさはやがて同窓会長に選ばれたことでも理解できる。一見恐持てするような風ぼうとは裏腹に、笑顔を絶やさぬやさしさと物分かりのよさがあった。千恵子夫人は所帯を持ってからケンカをしたことがありませんと語り、陰下嘉典同窓会長は他人の悪口を絶対いわない先輩でしたと評している。

戦時中のため半年繰り上げ卒業になると、そのまま海軍予備学生として入隊した。終戦で帰省したあと50年（昭和25年）に親族と大同印刷工業㈱を共同経営し、3年後に独立して萩原印刷所を設立した。ここで彼は不採算部門を下請企業に回し、デザインなど企画部門にするという大胆な構造改革を断行している。現在の不況時代に萩原㈱が盛大に営業されているのも、この移行があったためとみられている。

頭が下がるのは母校への思いで「母校を支えるのは卒業生の役目」が彼の信念だった。卒業後、忙しい本業の余暇をみて柔道部監督を務め、募金には積極的に応じている。今回の70周年募金にはいち早く100万円を申し入れ、仲間へもなるべく多額をと働きかけている。

募金にある程度のメドが立つまで、眼を閉じないでほしかったと思う願いが一入（ひとしお）である。

懐かしい鬼監督時代

柔道部OB会長　吉田文雄（24）

思えば、45年前、昭和30年の春、私が大学2年生の時でした。体格の良い怖そうな人が入口で黙って練習を見ておられました。練習が終わった後、昭和高商柔道部OBの萩原や、といって入ってこられたのが、大先輩との出逢いであります。

その後は監督として初めて神戸市長田区尻池にある尚徳会道場で合宿を行いました。終戦10年目で、各自米を持参し、汗臭い道場で寝泊まりを致しました。昼間仕事で疲れておられるのに、毎日夕方には様子を見に大阪から神戸まで来て下さいました。

昼間は神戸税関や神戸拘置所の道場で職員と練習を行い、夜は尚徳会道場に通って来る人達と猛練習、けが人も続出しました。朝は、5時に起きて、近くの鷹取山まで走って登りました。けが人は1時間早く起きて走れと先輩からいわれて、足を引きずりながら走ったものです。このように当時の萩原大先輩はただ、早く強くしたい一心で鬼のような厳しい指導でした。その言葉も海軍上がりの軍隊調でピリピリしたものでした。

当時は今のように独立した道場は無く、体育館の片隅に畳を上げ下げしての練習でした。その上、部員の半数は白帯、そして大会に出場すれば、1回戦敗退という状況でしたが、今日ではここ何年来関西学生柔道大会でベスト8のシード校を堅持し、関西の代表として全国大会への出場を続けられるまでに育てて頂きました。無論それには入江部長先生や西岡師範の指導によるところ、大であります。

この両先生との出逢いもまた、萩原大先輩との縁によるものであります。もしこの萩原大先輩との出逢いがなければ、今日の母校柔道部はなかったといっても過言ではありません。今こうして大先輩を偲んで文を書いておりますと、最近の仏の様に優しい萩原大先輩よりも、なぜか40年も昔の鬼のような大先輩の方が懐かしく鮮明に思い出されるのです。

母校柔道部の発展だけでなく、同窓会の発展や、大阪学生柔道連盟の発展など、また広く社会のために尽された功績を偲びつつも哀心痛惜にたえず、わが身を支える力も消え失せる思いであります。その功績と後輩に残された影響と感化は、永久に生き讃えられ、母校柔道部発展の将来に無限の力を添えるものであります。

支部だより

全国の支部会からの
活動報告と支部総会の
お知らせ

新入会員を確保しております。当支部は今年で創立20周年を迎えましたが、更なる発展のためには、特に若年層の会員を確保する事が非常に重要だと思っております。

鵜飼泰正（51）

支部設立50周年を迎えて

東京支部

10月10日大雨の日、八重洲富士屋ホテルに大学から井阪理事長、渡辺泉教授、本部から陰下会長、津秋副会長、滋賀支部から正村支部長を来賓にお迎えして支部設立50周年記念祝賀会を兼ねて総会を盛大に開催致しました。各氏より御祝詞を賜りその後2代目支部長服部友一氏（10回卒）が昭和26年に支部設立に携わり以後今回まで御支援、御協力を尽された事に関し現支部長松谷嘉隆氏より感謝状と記念品が贈られました。氏より支部50年の歴史をお聞きし、私達はこれからの歴史を後輩にバトンタッチするために若手の参加を期待しています。なお当日会場にて70周年記念募金を呼びかけたところ10万余円の寄付が集まりました。誌面を借りて御礼申し上げます。

山下隆司（32）

平成13年度静岡支部総会

静岡支部

発足後丸2年を経過し、第3回目となる総会をホテルアソシア静岡で9月8日、本部の津秋氏、神田氏及び大学から波根氏も参加いただき予定通り実施致しました。

支部役員は死亡や個人的理由等でやむなく任期中に交替し、よりよいメンバー構成になりました。当県は県域が広いために開催地の選定には多種の意見が出され、決定場所が出席者数にも反映しており、事務局の苦労は大変です。しかし、毎年実施を継続することに価値があるという役員一同の前向きの意志を受け、出席者から支部活性化の具体的な提案が示されたことで、今後の活動が発展する明るい見通しが立ちました。当支部では県内に居る所在不明者の紹介と県外に居る静岡市民を「会友」に加入して頂くことを歓迎しますので、澱江誌上で広くご協力をお願いする次第です。

支部長　磯田郷一郎（26）

北海道支部のこの1年

北海道支部

当支部では数年来、全員相互の親睦を目的とした、様々な行事を検討してまいりました。その結果、本年第1回の「同窓会コンペ」を開催いたしました。参加は2組と少数ではありましたが、当日は好天に恵まれ、楽しい一日を過ごす事ができました。ゴルフをされない会員も多いため、他の行事も検討しております。

また、本部より北海道在住の卒業生情報をいただく度に、連絡をとらせていただいて、毎年数人の

70周年を節目に更に発展を

富山支部

富山支部は7月20日に総会を開きました。本年は高岡市のニューオータニ高岡において開催し、会員の交流と親睦を深めることができました。陰下会長と高塚常任理事の同窓会本部役員並びに大学から山田学長先生・70周年記念室国西顧問の来賓のご出席のもと、学園の現状と70周年記念事業等将来についての報告を頂きました。本年は、富山県朝日町出身で尼崎支部の石井克己氏（23）を始め、久しぶりの出席者も多く、皆さんは学生時代を振り返り和やかな雰囲気で総会が進みました。少子化と学生大幅減少期のなかで、新学部・新学科開設を期に学園の基盤を総合的に強化しつつ、母校のより一層の発展を要望する意見が多数でておりました。学長先生を交えた二次会も大変盛り上がりました。来年の支部総会は、7月第2土曜日に富山市で開催することを申し合わせました。多数の会員の皆さんのご出席をお願いし活発な総会にしていただきたいものであります。

支部長　重松　尚（23）

久し振りの再会

石川支部

本年9月8日に金沢市内のスカイホテルにて、母校から香積理事、本部から陰下会長、車野副会長並びに阿部愛知支部長並びに友人3名を迎えて、支部総会を開催致しました。

久し振りにもかかわらず、40名のご出席をいただき、和やかに盛り上がった総会となり、是非再会したいという声が多くありました。

創立70周年に向けて大きく動き出した母校の新学部並びに新学科の詳しい説明を聞かせていただき、心強い気が致しました。

石川県下には約350名の卒業生がおられます。次回は参加人員も増やしたいと思いますので、友人をお誘いのうえ、ご出席下さいますようお願い申しあげます。

支部長　柚木　繁（21）

支部活動によせて

福井支部

昨年から内田甫前支部長のあとを引き継ぎ責任の重さを感じています。母校の会合に出ては理事長・学長はじめ諸先生方の学校発展にかける意気込みがぴんぴんと伝わって来ます。諸先輩方の指導のもと少しでもお役に立てばと思っています。福井支部は昭和41年、30名余りの会員で出発しましたが、35年を経た今日480名余りを数える世帯となりました。特に若手で組織する大淀会の活動は、昨年「澱江」に紹介されたように地元に就職する在校生のためのキャリアゼミナールを催すなど、支部活動を支える大きな源動力となっています。経大創立70周年の節目を迎えるにあたり、共に学んだ仲間として少しでも何らかのお力添えが出来ればと思っています。

吉田　叡（20）

ピアノの特別演奏も

愛知支部

愛知支部総会は毎年11月に名古

屋市の中心街中区栄の名古屋国際ホテルを定例場所として開催してきました。12年度の総会も11月24日夜に開きました。県下には約350余名が活躍しており、恒例の参加者に加え、毎回新しい顔がみえます。

今回も香積理事、津秋同窓会副会長、水納事務局長ら来賓を迎え31名が出席。学歌斉唱で始まり本学の状況報告、各人から近況や母校への意見等、活発な発言が続きました。会の中ほどで47回生の合田氏によるピアノ演奏があり雰囲気をぐんと盛り上げてくれました。13年度の総会も11月30日夜、国際ホテルで開催しました。昨年以上の多数の参加を期待しております。愛知支部総会が年末開催、同じく澱紅が年末発刊のため支部便りが1年遅れますのでここで案内させていただきました。

副支部長　明田安生（25）

70周年記念事業にご支援を

三重支部

三重支部会員の皆様には新しい世紀を迎え、ますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、平成12年度の三重支部総会は、秋晴れの11月5日、松阪市の「和田金」にて母校より山田文明先生、同窓会本部より福田耕副会長、水納敏也事務局長をお迎えし、会員14名の参加を得て、開催いたしました。

席上、来賓各位より、母校の近況、更に新世紀を目前に、母校創立70周年を迎えるのを機に母校の飛躍的発展を図るべく人間科学部、新学科の開設、更に70周年記念館の建設計画についてのお話があり、同窓の格別の支援について依頼がありました。

支部長　中尾大輔（5）

母校と同窓諸氏の飛躍を祈って

大阪市支部

第6回大阪市支部総会は、6月15日、梅田の「多幸梅」にて、山田学長、陰下同窓会会長をご来賓にお迎えし総勢43名で盛大に開催されました。

昨今の社会情勢は予想以上の厳しさであると出席者からも話題になりました。

理事長は常々大学を大阪、日本、世界に対しての情報発信基地として位置づけたいとの強い思いがあるとおっしゃっておられます。

奇しくも来年は創立70周年を我が母校は迎えますが、この機会に母校が大きく飛躍し世界の経大となり、同窓諸氏も飛躍されますよう祈念いたしております。

支部長　太田一澄（17）

平和の世紀を願って

大阪市役所支部

大阪経済大学創立70周年おめでとうございます。同窓会の皆様とともに、喜び合いたいと思います。

平成12年度の総会は11月24日に桜之宮職員会館で、陰下会長、山田助教授を迎え、また、石原大阪市議会議員をはじめ、30名の参加で盛大にひらかれました。

21世紀こそ、平和の世紀にとの

願いも空しく、アメリカ同時多発テロ、また、報復攻撃と暗い幕開けとなりました。犠牲となられた方々に、心より哀悼とお見舞いを申しあげます。大阪市役所支部の皆様、どうか、健康に留意していただき、平和の世紀をともに創りましょう。また明年の総会に、出席していただきますよう、お願いします。

今年の総会は、11月16日ヴィアーレ大阪で開催します。

南　正治（43）

澱江記事が電子メールで

池田支部

平成13年9月9日（日）、池田市民文化会館での総会開催にあたり、記念事業の完遂と母校の永続的発展のための創立70周年記念事業募金協力依頼文を添え、支部員187名に発送しました。当日、同窓会長、事務局長、支部員19名の参加のもと総会を開催しました。総会には母校の経営学部の樋口克次先生を招き「これからの情報化社会」"IT革命の投げかけるもの"A4版8頁に及ぶ研究資料に加え、パソコンによる書籍購入の実例を交えての熱い講演を受けました。懇親会時にパソコン談義に花が咲きましたが、参加者全員がパソコン所持者であることに驚きました。近い将来、澱江記事が電子メールで、支部間の交流がメールで交換される日の近いことが実感されました。KEIDAI　DAYSの発行も第3号を重ね、母校と同窓生の相互の理解と協力が一層進み、大阪経済大学が大阪の経済発展に存在感のある大学として社会が認識する大学に発展するものと確信した次第です。

支部長　渡邊泰敏（21）

同窓会の輪を広げるために！

泉南支部

平成13年5月6日、関西エアポートワシントンホテルにおいて、同窓会本部より陰下会長、水納事務局長、志水70周年記念事務局顧問、大学より山本経済学部長を来賓としてお招きし総会を開催いたしました。

支部長挨拶の後、来賓祝辞をいただき、大学の現状、新学部の創立、70周年記念会館建設等のお話を伺いました。

議案審議の後、懇親会にはいり、和気あいあいとした時間を過ごしました。

平成14年の総会は、5月中旬を予定いたしております。泉州地区在住の同窓生の皆さんにより多く参加していただけるよう、声をかけていただくことにより同窓会の輪を広げていきたいと思います。

末筆ながら皆様のご多幸を、お祈り申し上げます。

渡守真二郎（38）

那賀地区会のゴルフコンペ

和歌山支部

今年10月20日に和歌山支部の那賀地区会主催のゴルフコンペが、和歌山市の小倉カントリークラブで開催されました。

コンペは、13名の参加をいただき、天候も秋晴れに恵まれたこともあって、和気あいあいとラウンドを行い、コンペ終了後、クラブハウスで、宇藤支部長と新田事務局長にも参加をいただいて、懇親会と表彰を行い、楽しい一日を過ごさせていただきました。

来年5月6日には、和歌山支部のゴルフコンペを計画していますので、皆様方のご参加をお待ちしています。

平松一夫（42）

尼崎支部同窓会のご報告

尼崎支部

平成13年4月19日、毎年恒例の尼崎支部同窓会を開催致しました。当日は38名の参加でしたが、内10名が平成年度卒業生と若い方の参加の目立つ賑やかな会となりました。

本学からは山本元学長、佐藤総務部長、同窓会本部からは陰下会長、水納事務局長に大変ご多忙の中ご臨席頂きました。

総会は小谷支部長のご挨拶で開会し、懇親会では全員参加のゲームで盛り上がりました。また諸先輩方の各方面でのご活躍を拝聴し有意義な時を過ごすことができました。閉会の際には平沼副支部長の力強い万歳三唱と、全員で肩を組んでの学歌の合唱を行い、来年度の開催を約束してお開きとなりました。

松本孝治（61）

神戸支部総会だより

神戸支部

戦後未曾有の経済不況に加えて、風雲急を告げる国際情勢と明るい兆しの見えない平成13年の暮れを迎えるにあたって、同窓諸氏が互いの健闘を誓い合う神戸支部総会を10月26日夜に開催しました。経済不況渦中から例年になく参加状況が思わしくない総会でしたが会場はいつも通り元気あふれる談笑に終始しました。

大学からは佐藤総務部長様、陰下同窓会長様そして近隣支部から明石、西宮両支部のご代表にご出席いただき、大学創立70周年事業への協力を中心に全体確認をしたあとは思い思いに近況報告と懐かしい学生時代の思い出話に花を咲かせていました。

鳥越武一（31）

「頑張る明石支部」

明石支部

9月13日（木）にホテルキャッスルプラザで恒例の支部総会を開催しました。本年は33名の参加があり、大学からは3名の御出席をいただきました。

関支部長の挨拶の後、佐藤総務部長、陰下同窓会長の御祝辞をいただき、来年の70周年に向けての新学部、新学科、新学舎の誕生に着々と準備が進んでいること等の報告がありました。

また、支部としても、70周年に向けて、大いに協力をしていこうとの支部長の力強い言葉に、一同、改めて決意を新たにしました。

佐藤副支部長の乾杯の音頭の後、食事、歓談、ビンゴゲームに一喜一憂し、最後に学歌、逍遥歌を熱唱して来年の70周年の同窓会での再開を祝して散会しました。

幹事長　市原孝志（40）

年々活気あふれる支部総会に!!

姫路支部

姫路支部総会を9月21日（金）「ホテルサンガーデン姫路」で開催する。

毎年出席されている方、何年か振りにお会いする懐かしいお顔、また今年初めて参加された会員等女性2名を含め42名と同窓会本部より陰下、福田氏、学校から田淵

教授・志水氏を迎え開催する。

本年度は、5回卒の柳内氏から46回卒の長澤君まで40歳以上の開きも全然感じず、就任当初はお互い話もどこかぎこちなかったが、今では自己紹介やカラオケよりも和気あいあいとした話題に夢中になり明るい雰囲気で、年々活気があふれてきて、時間の過ぎ去るのも忘れる程の懇親会となる。

終わりには、70周年記念事業の成功と来年逢えるのを楽しみにして解散する。

支部長　三木庸義（26）

「定年後の有意義な過ごし方」をテーマに講演会を開催

丹有支部

本年は秋も深まった10月21日（日）当地丹有地区、三田市の市民会館をお借りして開催しました。今回は梶村大先輩から新役員に引き継ぎ第1回目の総会となりました。

当日は快晴とは言えず午後から雨になるとの予報でした。しかし我々の精進が良かったのか本当に清々しい天気で来ていただいた方々にも喜んでいただいた事と思います。

今回の総会は21世紀最初の記念すべき総会で新役員一同緊張の中での開催でありました。その上に前年度も催しました様に、当丹有支部の活動の一環として同窓以外の一般の方々の参加も募り、今年もまた各界のスペシャリストによる講演会の行事を行う事にしました。役員一同色々協議の結果、今回は我々同窓にも身近な問題である定年後の有意義な過ごし方と、その中でいかに地域社会に貢献しながら明るく生きて行くか?の点についての何かヒントになる講演をして欲しいなとの意見でまとまりました。

今年は朝日新聞の論説委員の石井晃氏により約1時間半にわたり内容の濃い講演を行い参加の皆さんから（一般参加者11名同窓併せて36名）も多くの意見、質問が出て（陰下同窓会長からも質問有り）、時間がオーバーしそうになり途中でうち切る程の皆さんの興味の深さに、我々タイムリーな講演であったと感じました。

反省として参加者が思っているほど集まらなかった点について今後徹底的に問題点の改善を図り、次回にはもっと多くの人に情報を発信したい、そして、今後もこの様な身近な問題について同窓の皆様、地域市民の方々に参考になる情報の発信基地としての丹有支部でありたいとの思いで役員一同頑張っていきます。

終わりになりましたが、学校側から田淵経営情報学部部長、波根総務課長、陰下同窓会会長、津秋副会長、水納事務局長殿にもご多忙中にもかかわらず遠路ご出席願い、ご援助、ご協力いただきました事に心より再度紙面を借り御礼申し上げますと共に、今後も引き続き当丹有支部を宜しくお願いします。

支部長　廣野義直（34）

新しい卒業生の参加目指して!

淡路島支部

新世紀初の第11回淡路島支部総会は、9月8日、国道28号線沿いの緑町・松葉寿司にて、大学よりの

中尾教務委員長、同窓会本部より白井副会長、水納事務局長のご臨席を仰いで、24名の地元会員が参加のもと盛大に開催。

総会では、創設70周年を機に大学や同窓会本部の実情を卒業生に知らせる努力を目指すとともに、大学飛躍への大事な記念事業の成功に向けた積極的な支援と協力を参加者一同が確認しあったあと親睦会。

厳しい経済状況の中、仕事の近況や地域での課題など語り合いながら、初秋のひとときを参加者相互が久々に親交を温める総会となりました。

支部長　宝川雅嗣（23）

津山会の開催報告

岡山支部津山会

9月1日陰下同窓会長、福田副会長、香積大学理事長の各ご来賓を始め、岡山県支部より小野副支部長、塩尻常任幹事そして陰下会長に同伴して奈良支部の松原博巳様にもご出席をいただき、盛会裏に会を終えることができました。

金川の16期荒木毅先輩もわざわざ津山まで足を運んでいただき感激しております。

今年は久しぶりに6人でゴルフコンペも開催し、好評を博しましたが、来年はすでに12人が予約とうれしい限りです。

津山会への初参加の会員も毎年数人あり、幹事としても力強く、お世話する苦労も忘れてしまいます。

来年も多くの参加を期待しております。

竹本　巧（37）

愛媛支部420万円のプレッシャー

愛媛県支部

雅子さまのご懐妊、えひめ丸の事故、凄惨なテロ事件、野依さんのノーベル賞受賞。悲喜こもごもの中、21世紀の幕が開きました。

そんな21世紀最初の愛媛支部総会を、松山市にて開催致しました。松山市では、先日50年ぶりに坊ちゃん列車が開通し、マラソンの高橋尚子さんがマドンナ、小出監督が山嵐役で式典に華を添えました。また、大経大の21世紀は、70周年記念事業プロジェクトのスタートで幕開けです。愛媛支部は、420万円の募金目標を設定し、物心両面の協力を致したく、募金活動に邁進中です。愛媛支部同窓生皆様のご配慮、ご協力、重ねてお願い申し上げます。

今年も残りあとわずか。皆様は、お体、十分ご自愛下さい。

事務局長　宮崎　望（37）

大分支部発足にあたり

大分支部

本年5月に別府の「亀の井ホテル」にて、母校から陰下会長、水納事務局長にご出席をいただき大分支部の発会式を開催しました。大分県在住の卒業生約90名宛の案内に対し、返事をいただいた方は38名でした。ご友人の消息をご存知の方は是非お知らせ下さい。

今後は会員数を増やし支部の組織づくりと会員同士の交流を広めたいと考えております。まだまだ手さぐりの状態ですから同窓諸兄姉のご指導ご協力をお願い致します。

なお副支部長は阿南正俊氏(40卒)です。

支部長　寒田　陽（40）

和気あいあいと開催

和歌山支部

当日は、好天に恵まれ、新しく支部に来られた方が8名、和歌山県知事（代理安居氏）や旅田和歌山市長もかけつけて盛会になりました。渡邉学長、硬式野球部名誉会長志水氏、陰下同窓会長、大門常任理事、朝倉泉南支部長の御来席をいただき、厳粛な中にも和気あいあいとした雰囲気でした。

支部長　宇藤博文（28）

アットホームな会を目指して

熊本支部

大阪経済大学創立70周年おめでとうございます。我々熊本支部も結成12年になります。支部会員は、あまり増えておりませんが、毎年15~20名の参加で支部総会を開催しております。開催時期も秋から春に変えたり、開催地も、熊本県内、天草や阿蘇、北は荒尾市、南は水俣市等毎年変化を持たせてやっております。少人数ということもありますが、アットホーム的な雰囲気で賑やかに仲良くやっています。誰もが参加しやすい会だと思っていますので、是非多くの人の参加をお待ちしております。

森田敏也（42）

訃報

北九州支部初代支部長、荒牧様を偲んで

北九州支部長　植田　達三（52）

大阪経済大学第六回生卒業の荒牧博之先輩は、西日本新聞社に入社され第二次世界大戦中、中国にて、新聞記者として戦火を体験されました。のちの小説「人間の条件」の主人公の題材モデルになった方と聞いております。

生還後昭和20年8月6日広島に原子爆弾が投下された直後、当時山口支局員であった荒牧先輩は会社からの「すぐ行け」の指示で同日夕方現地に到着し取材されました。すさまじい地獄のような惨状を報告するものの、特高警察や憲兵隊の厳しい検閲を受けていた当時「新型爆弾による広島の被害は大きいに違いないが、これくらいで我々が倒れるものか」で始まる明るく勇ましい記事に書き換えられているのを読んで、「14万人以上が死んだのに真実なる記事に出来なかった広島が不本意に今でも心深く刻まれている」と先輩宅にて酒をいただきながら私に話された事を思い出します。

私、昭和61年大学卒業を控え、大阪から九州へと、Uターン就職活動に四苦八苦していた時、ご尽力いただきまして、地元にて就職する事が出来ました。また結婚する時も仲人をお願いし、大変お世話になっておりました。年に数回御自宅に伺い奥様の暖かい御料理と、奥様のみぞ真実を知る武勇伝を聞く事が出来、その時間を共有させていただき大変幸せでした。大変お酒が好きで正義感あふれ、情熱的で何より人思いの暖かな先輩であったと感じます。

北九州支部長として追悼の文章を書かせていただきました。本来ならば数多くのもっと深く思い出多い先輩方に追悼のお言葉を頂くべきでございますが、叶いませぬ事お許しください。残念ながら荒牧先輩と酒を頂く事はもう出来ません。偉大なる荒牧先輩の残してこられました功績を継承していく所存です。荒牧先輩とその時を過ごせた事を幸せに思い、ここに追悼の言葉といたします。

奥山 正美氏（21）

奥山正美氏（21）が、中国の雑誌「世紀中國」に紹介されました。ここでは、その日本語訳を掲載します。

はるかなり 奥山岳風先生の書

奥山正美先生（雅号は岳風）は、日本の有名な書家である。先生の書は、筆づかいがとても力強く、字そのものに旺盛な息吹きが感じられる。しかし、残念ながら私は書道には疎く、先生の書を真似ることなど到底できない。このように先生の書について、良き理解者とは言えない私が、これまで永年にわたって先生とお付き合いをさせていただき、先生の人となりを多少とも存知上げるようになったのは以下のいきさつからである。

ここにその経緯と今も先生の書とそのお人柄をいかにご尊敬申し上げているかをおこがましいのを承知で書かせていただくことにする。

5年前、私の友人陳謙が日本で書道について学んで来た。その折、ある一人の日本人書家に大変感銘し、後ろ髪を引かれる思いで中国に戻った。その感銘を受けた書家というのが、奥山岳風先生であった。もともと陳謙とは旧知の仲であった私が、先生と親しくさせていただくのに、それほど時間は要さなかった。先生が書で有名な長安へお越しになった時のことは忘れられない想い出だ。直接先生にお会いし、先生の温和なお人柄に触れ、初めてお目にかかるのに、書の大家とはまさにこのような方を言うのではという感慨を持ったのを今もなお鮮明に覚えている。お互い言葉は通じず、陳謙の通訳だけを頼りの対話だったが、先生は笑顔で頷いては、握手をしてくださった。あの時の感動は今も忘れられない。

その後、毎月発刊の都度お送りいただいている『書法芸術教育専門誌』のおもて表紙に、私の拙い絵画を掲載させていただいてから、徐々に先生の作品の持つ品位や、先生ご自身のお人柄が分かり始め、多くのことを学ぶことが出来た。

先生の作品は、基本に忠実でありながら、書体は変化に富み、かつ自由自在に表現されている。日本人の書道の練習方法や決まりごとは知らないが、先生の作品を拝見し、基本的な知識や技術が非常に豊かであることはすぐ理解できた。中国書道界の方々にも是非見ていただきたいと思う。

また先生は、日中友好芸術交流事業にとっても、とても重要な人物である。今もなお、さまざまな行事に積極的に参加され、またその旺盛な実行力で企画運営をもされている。このように永年にわたり、日中文化芸術事業に力を尽くされ、年1度開催される日中書画交流展覧会も主催されている。この展覧会は、日本文化芸術界に多大な影響を及ぼしていると言われている。先生はこの展覧会の開催および出品作品の印刷の業務を、毎年黙々とこなしておられるが、この業務がいかに大変であるか、そして先生がどれほどこの業務に心血を注ぎ込んでおられるか、私は十分に存じ上げている。先生をご尊敬申し上げる所以はここにある。また先生の作品に感動を覚えるのは、その美しさは言うに及ばず、作品から滲み出る先生のお人柄に魂を揺さぶられるからだ。それはとりもなおさず、一つの作品を完成させるまでの、先生のご苦労を私なりに理解しているからだと思う。

21世紀を迎え、先生は今日も日中書画交流展覧会に余念がない。今後もこの展覧会が大いに成功すること、先生がいつまでもご健康でいらっしゃること、そして書道界のますますのご発展を祈念して止まない。（周 旭）

2000年 年末 北平にて

同窓会支部長一覧

支部名	氏名	卒回	現住所	電話	E-mailアドレス
北海道	田中 喜三郎	10			
東京	松谷 嘉隆	22			
富山	重松 尚	23			
石川	柚木 繁	21			
福井	吉田 叡	20			
岐阜	長崎 和夫	29			
静岡	磯田 郷一郎	26			
愛知	阿部 淑子	13			
三重	中尾 大輔	5			
滋賀	正村 公一	27			
京都	南 和男	35			
大阪市	太田 一澄	17			
大阪市役所	福地 利仁	39			
北摂	石川 裕	28			
豊中	三原 健太郎	29			
池田	渡辺 泰敏	21			
泉南	朝倉 進平	25			
○尼崎	小谷 芳男	24			
西宮	中山 隆	15			
☆神戸	木村 正人	24			
丹有	廣野 義直	34			
明石	関 清永	22			
東播磨	永井 宏	19			
姫路	三木 庸義	26			
◎淡路島	宝川 雅嗣	23			
奈良	西本 集一	23			
和歌山	宇藤 博文	28			
鳥取	西山 林一	35			
島根	浅原 宏	22			
岡山	村上 一夫	12			
後備	小池 勝章	32			
広島	佐々木 一義	9			
山口	小林 真人	32			
徳島	田中 良昌	26			
香川	岡野 敦	31			
愛媛	小野 茂樹	26			
高知	野崎 邦男	32			
北九州	植田 達三	52			
大分	寒田 陽	40			
熊本	濱 忍	35			
南九州	伊伏 彰	23			

◎…全国支部長会代表幹事　○…副幹事　☆…同幹事

平成13年中に開催された支部総会一覧

開催月日	支部名	開催場所
2月24日（土）	北九州支部	セントラルホテルフクオカ
3月 3日（土）	岐阜支部	岐阜キャッスルホテル
3月 4日（日）	南九州支部	ホテル吹上荘
4月19日（木）	尼崎支部	ホテルニューアルカイック
4月21日（土）	西宮支部	甲子園都ホテル
4月28日（土）	熊本支部	ホテルニューオータニ熊本
5月 6日（日）	泉南支部	関西エアポートワシントンホテル
5月26日（土）	大分支部	亀の井ホテル
6月15日（金）	大阪市支部	多幸梅
6月16日（土）	福井支部	福井厚生年金会館
7月 1日（日）	愛媛支部	南海放送本町会館
7月 7日（土）	広島支部	ホテルセンチュリー21広島
7月20日（金）	富山支部	ホテルニューオータニ高岡
7月20日（金）	香川支部	全日空ホテルクレメント高松
9月 1日（土）	岡山支部津山会	桐生
9月 8日（土）	石川支部	金沢スカイホテル
9月 8日（土）	静岡支部	ホテルアソシア静岡ターミナル
9月 8日（土）	淡路島支部	松葉寿司
9月 9日（日）	池田支部	池田市民文化会館
9月13日（木）	明石支部	ホテルキャッスルプラザ
9月21日（金）	姫路支部	ホテルサンガーデン姫路
9月21日（金）	京都支部	京都ホテル
10月10日（水）	東京支部	八重洲富士屋ホテル
10月13日（土）	豊中支部	千里阪急ホテル
10月19日（金）	北海道支部	札幌第一ホテル
10月21日（日）	丹有支部	三田市民会館
10月26日（金）	神戸支部	神戸東急イン
10月28日（日）	奈良支部	奈良交通本社ビル
11月 4日（日）	三重支部	和田金
11月 9日（金）	高知支部	サンライズホテル
11月11日（日）	和歌山支部	華月殿
11月16日（金）	大阪市役所支部	ヴィアーレ大阪
11月17日（土）	山口支部	山口グランドホテル
11月17日（土）	島根支部	仁万屋
11月30日（金）	愛知支部	名古屋国際ホテル

OB NETWORK

OBネットワーク

イベント

税理士大樟会創立10周年記念事業

公開シンポジウム

さる10月1日（月）五十周年記念館（E館）において大阪経済大学税理士大樟会主催の現役学生に向けての『君も税理士・公認会計士になろう』をテーマとするシンポジウムが開催され、130名を超える参加者で会場は熱気につつまれた。

現役学生へのOB税理士による熱きメッセージ

『君も税理士・公認会計士になろう』

さる10月1日、五十周年記念館において大阪経済大学税理士大樟会の創立10周年記念イベントが開催された。「君も税理士・公認会計士になろう」と題する第1部のシンポジウムに引き続いて、第2部は税理士として活躍するOBと本学の学生によるパネルディスカッションが行われた。

当日は、福元輝雄会長（37）から「本学卒業の公認会計士、税理士はおよそ200名、このうち大樟会への入会者は約百名となっておりますが、この七月で創立十周年を迎え、これを記念してこのフォーラムを開催致しました。これを通じて学生諸君に、公認会計士、税理士の職務内容を理解していただき、我々と同じ道を歩んでくださることを期待している次第です。とくに税理士は中小企業に深くかかわりを持つ職業であります。幅広い学問と人間性が問われます。それだけに学生時代の学問が大切であることはいうまでもありません。学生諸君、厳しい就職難の時代です。本学でしっかりと勉強し、公認会計士、税理士試験に挑戦してください」との挨拶があり、フォーラムに入った。

公正な納税のための社会的使命を担って…

市原講師

司会役の市原孝志さん（40）から「それでは第一部の基調講演『税理士への道』の講師市原幸惠さん（42）を紹介させていただきますが、実は私の家内でして…」に会場大笑い。

演壇に立った市原講師「困っている人がいたら放って置けないタイプでして、その頃私の周辺で一番困っていた人が今司会をしている人でして…」と、まずは自己紹介。そして「我々の時代もそうでしたが、国が租税教育を怠ってきたから、一般市民の方々は、税金は取られるものだという認識を持っておられる。税金は納めるものです。我々の生命、財産を守ってくれているのは国家なんです。これを維持していくにはコストが掛かります。これを力に応じて均等に負担する。この均等、公平さを保つのが税法なんですが、現在の複雑な社会で公平さを保つためには、どうしても税法そのものが複雑にならざるを得ません。そうした中で一般の方が正しい納税の仕方をするというのは困難です。そこで我々が納税行為を代行し、税務書類の作成、税務相談、会計業務などをお手伝いするわけです。この内、税務代行、税務書類の作成、税務相談の三つの行為は有償無償を問わず税理士法によって税理士しかできないことになっているのです。このように税理士と言う職業が特異な規定を持っているのも、それだけ重要な社会的使命を持っているからだと思います。」と、税理士の社会的使命を強調。

科目合格制度を活かして、飽くなき挑戦を…

「では税理士になるには如何に勉強したら良いのかと言うことになるわけですが、会計科目の『簿記論』『財務諸表論』の2科目が必須で、国税の『所得税法』『法人税法』『相続税法』『酒税法』『消費税法』地方税の『事業税法』『住民税法』から3科目を選択、合格した科目は生涯有効ですから、それぞれに受験計画を立てて最終合格を狙ってください」

「私の場合、どうであったかと申しますと、この税理士試験は敗者復活戦だと思っています。この税理士法の特徴であります科目合格制度というものがあったからこそ、私のような者でも税理士になれたんだと思います。学生時代に3科目を合格し、あと2科目というところで苦労しました。結婚し、家庭を持って、子育てをしながら勉強するというのは、どれほど大変かということを体験しました」

「最後に申し上げたいことは、2025年には4人に1人が65歳以上の高齢化社会を迎えます。そうした社会を支えるのは一人一人の税金であり、その納税に納得してもらわなければなりません。憲法三十条の規定により我々国民は納税の義務を負っており、その適正な実現を図るため税理士がなくてはならない存在なんです。社会、経済は益々複雑化し、そうしたなかで税制だけが簡素化するわけがありません。複雑化する税制の中で、公平さを保つため税理士の存在が欠かせないのは当然です。学生の皆さん頑張って税理士試験に挑戦してください」と、集まった学生に熱きメッセージを送られた。

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター
三木　泰
（税理士、35回）

パネリスト
市原幸惠
（税理士、42回）
倉田　収
（税理士、44回）
氏原知郷
（経営学部4年生）
下地　円
（経営学部4年生）

資格取得の動機付けを願って…　三木　泰さん

三木　泰さん

三木　本日のコーディネーターを勤めます三木ですが、昭和44年本学を卒業し、51年開業、5人の職員と27年ほど税理士をやっております。ところで本日お集まりの学生諸君は、税理士がどのような仕事をしているのか、よくわからない方が多いと思います。氏原さん、税理士にどんなイメージをお持ちですか。

氏原 知郷さん

氏原　私も税理士を目指して勉強中ですが、税理士といえば、税務のスペシャリストという言葉のイメージしかなく、は

つきりとどういう業務をしておられるのか理解しておりません。

下地　私も同様です。

三木　倉田さん、仕事の具体的な内容を…

倉田　収さん

倉田　法人と個人とありますが、法人とは顧問契約として毎月の試算表に基づき経理処理をし、年一回の決算期に税務申告の内容をトップの方に提出、年間50～100万円程度の顧問料をもらうという仕組みです。個人の場合、確定申告の代行をするのが主な業務ですが、そのほか相続の相談やら弁護士さんからの依頼を受けて会社の倒産、和議、和解の書類作成などいろいろあります。

三木　そのように税理士は中小企業の会計業務から税務申告まで細部にかかわっております。一方、公認会計士は監査業務が主体で、税理士とは全く違う業務です。ただ、公認会計士の資格を取りますと税理士資格ももらえるというものですが、年1回の試験で7科目をパスしなければなりません。その後の本試験に合格してはじめて資格を取得できるというものですから、大変難しいものです。下地さん、税理士を目指しては如何ですか。

下地　円さん

下地　申し訳ありません。一応、就職内定をもらっておりまして…

三木　市原さん、受験するのにどんな勉強をすればいいのでしょう。

市原　勉強の仕方はいろいろあると思うんですが、税法というのも法律なんです。だから参考書を読むより法律を読む、それが将来役に立ちます。

三木　倉田さんはどうですか。

倉田　私の場合、就職活動をやりだして、サラリーマンはやりたくないしということで、簿記をはじめたのが4年生になってからだったんです。今から思えば、法律から入るのが、遠いようでそれが近道だったと思います。

氏原　市原さんにお伺いしますが一番苦労した科目はなんですか、それから資格取得まで何年かかりましたか。

市原 幸恵さん

市原　47年に本学に入学し、48年からスタートし、62年まで、途中専業主婦で5～6年中断がありましたので、述べ14年かかっています。一番苦労したのは最後に合格した所得税法で3年もかかりました。

下地　税理士はよろず相談所みたいなものだといわれましたが、どんな仕事でも受けられるんですか。

市原　中小企業は人が不足しているから、従業員を採用するといえば社会保険の仕組みだとかいろんなことを聞いてこられます。そういう意味からするとまさに何でも相談を受けます。そしてお客さんに感謝される時、税理士としての喜びを感じています。

三木　本日先輩の方もお見えです。一言伺ってみましょう。佐藤さんから…

佐藤吉春（30）　市原さんも言っておられたが、クライアントの方に喜んでもらえた時、この仕事を選んで良かったなあとつくづく思います。

大城戸武子（13）　昭和22年に卒業し10年ほど会計事務所に勤務し、33年開業しました。企業の方の良き相談相手になろうと努力してきました。いま75歳の高齢ですが、生涯現役で仕事をしようと頑張っています。

松浦圭子（13）　私は会計士の道を歩んできましたが、それを志した時はもう結婚もし、子育ても終えておりましたので、幸い1年に7科目の試験に合格、その時の先生が松下電産の監査をしておられたので、監査法人の制度ができました後も、松下電産の監査の仕事をやらせていただきました。今日は会計士の話はあまり出ませんでしたが、大いにチャレンジしていただければと思います。

三木　いろいろとご意見有り難う御座いました。これが学生諸君の税理士、公認会計士への挑戦の動機付けになればと願ってこのフォーラムを終わります。

シンポジウム終了後、学生を交えた懇親会が行われ、これに参加した男子学生は「多くの先輩が勉強して税理士の資格を取得しておられるのを聞いていい刺激になりました。ただ私はもう4回生です。もっと早くこうした話を聞いていたらと思いました」とし、女子学生も「市原さんのように結婚して、子育てを終えてからでも、仕事をできるような資格を取得しておくということは、大変参考になりました」と、それぞれ感想を述べていたが、大樟会の存在感を高めると同時に、学生達に将来に向けた大きな指針とインパクトを与えたシンポジウムであったといえよう。

（25回、森川記）

第2回 イベント 大樟教育研究会

2001年7月25日

教育現場で活躍するOBと、本学の教員が一堂に会して教育を考える集い「大樟教育研究会」が、7月25日に開催された。母校のさらなる発展のためさまざまな意見が交され、入試や教育内容に関する要望や提言も数多く出されるなど、実り多い研究会となった。

プログラム

全体会　司会　真鍋一美（32）今治北高等学校教諭
　　本多三郎 入試委員長
　開会挨拶　山田達夫 学長
　主催者挨拶　陰下嘉典 同窓会会長
　報告1　高橋　努（34）富山第一高等学校教諭
　　「高校・大学の連携　～大阪経済大学に望むこと」
　2　滝内大三 新学部新学科設置準備委員長・教養部長
　　「新生大阪経済大学がめざすもの」
　報告内容確認質疑

分科会
　第一会場
　　司　会　真鍋一美（32）今治北高等学校教諭
　　山本恒人 経済学部長
　　報告者　滝内大三 新学部新学科設置準備委員長・教養部長
　第二会場
　　司　会　宮本　勝（44）兵庫県立姫路商業高等学校教諭
　　本多三郎 入試委員長
　　報告者　高橋　努（34）富山第一高等学校教諭

マルチメディア教室で行われた全体会では、高橋努富山第一高等学校教諭より「高校・大学の連携～大阪経済大学に望むこと」、滝内大三新学部新学科設置準備委員長・教養部長より「新生大阪経済大学のめざすもの」という2つの報告が行われた。

高橋教諭は、急速な少子化が進む中、高校と大学の連携、入試制度と教育内容に対する要望、就職指導体制などについて高校側からの提案を行った。

滝内教養部長は、新設の人間科学部と経済学部・地域政策学科について説明を行い、「受験生の思いに応えられるような人間味のある授業を作っていきたい」と意気込みを述べた。

午後からは2つの分科会に分かれて、OB教員の自己紹介の後、本学の入学選抜試験や広報活動、大学教育の内容などについて、活発な意見交換が行われた。

「どういう教育を行い、どういう出口が用意されているかについて、しっかり広報活動をして欲しい」「地方にも積極的に情報を送って欲しい」といった広報活動への要望が多く、「現代的学問分野を追究していく新学部に期待する」「他大学の人間科学部との差別化を」といった新設学部に対する意見も相次いだ。この他、「入試制度を甘くして、簡単に入学できるようになると、生徒は行かなくなる」「特別推薦枠を広げてもらいたい」といった入学者選抜に関する提言や要望も目立った。

最後に、400名を超えるOB教師の名簿が完成したという報告とともに、「大学と高校の力強い連携を進めていきたい」という山田達夫学長の挨拶で閉会した。

OB NETWORK
OBネットワーク
投稿原稿特集

同期会総会開催予定のお知らせ
第7期生会

7期生の同期会を開催したいと思い、世話人で準備を進めています。来春に開催を予定していますが、詳しいこと（日時、場所等）は詳細決定次第お知らせします。

今回で第7期生会総会も最後になるかもわかりません。一人でも多くの皆さんに参加いただきたいと思いますので、前もってお知らせいたします。

カラオケで自慢のノドを競う
九友会（第9期生会）

今年の九友会は、平成13年4月10日・11日三河湾を間近に遠く渥美・知多の両半島の眺望を愛でながら、蒲郡温泉にて開催いたしました。

当日は、快晴に恵まれ、竹島を背景に、記念写真を撮り、宴会には芸妓の長寿を祝う踊りに続き、カラオケで自慢のノドを競いました。その後は、夜のふけるのも忘れ、若き時代の思い出話しに花を咲かせました。

当初、16名の出席通知を頂きましたが、南部君をはじめ、急な発病やら、入院治療、さらには、広島方面の地震の影響など、様々な理由で取り消しの止むなきに至った方がおられ、9名の参加に過ぎなかったのは、残念でありました。

西澤敏夫（9）

みんなでたのしく
ひとみ会（第13期生会）

今世紀最初のクラス会をホテル「ザ・リッツカールトン大阪」のクリスタルルームで4月26日開催いたしました。

東京、四国と遠い所、38名お集まりいただきました。75歳を忘れにぎやかにおしゃべりいたしました。

OB NETWORK
OBネットワーク
投稿原稿特集

次回は京都の予定です。（5月末）
飯田好子（13）　岩崎寿美子（13）
吉田　慶（13）

一期一会の心境で
第16・18期生会

毎年5月の第2日・月曜日に場所を変えて実施している同期会を5月13・14日の両日和気鵜飼谷温泉（岡山）に集いました。遠路東京から鮫島氏（体連協会長）愛知から西丸氏を含め18名が参加されました。午後3時現地に参集。懇親会の前に、ゆっくりと大浴場と露天風呂を備えた天然温泉に各自入浴し、午後6時より宴会場に集合、若いコンパニオン3名を呼び、リフレッシュ。全員70歳を超えており、毎年の同期会が一期一会の心境になります。1年1度の同期会に久し振りに顔を合わせれば「オー元気だったカー」とお互いに若い時を思い出しながら、労りの言葉をかけ合うリラックスした雰囲気は何物にも代えられない楽しさです。懇親会ではお互いの情報交換をして、各自の健康、陰下氏より、新世紀70周年記念事業を迎えて、大学の現況と将来、また鮫島氏より運動部の強化活動状況などが、報告されました。閉宴後は、カラオケ、麻雀、雑談会等の2次会組に分かれ、深夜まで楽しく過ごしました。翌朝、朝食後、明年の再開を約して自由解散。ゴルフ組（6名）は「赤坂カントリークラブ」へ先発しました。

今年も約150通の案内状を出して出欠の返信率は約60％、88通でした。卒業以来50年を超えて、各自も年齢的、体力的にも無理は禁物。不参加の中で体調不良の報告があった方が21名もおられます。「健康第一」で、喜寿・傘寿・米寿・白寿を目指して、生涯現役で頑張りましょう！

福田　耕（16）

（写真）（　）は旧姓
（前列左より）
荒内（浜田）・戸部（中水）・連（むらじ）
（中列左より）酒井・鮫島・松原・中里・守屋・藤原・福田
（後列左より）陰下・荒木（鷹取）・西丸・
斎藤・山本（吉本）・加藤・牧野・渡辺

23期生の集い
第23期生会

今年も17回目の集いが陰下会長と水納事務局長をお迎えして、経大同窓会ホールで開かれました。参加者は26名、初参加も2名、今回から会場と開催日が変わりました。今まで16年間お世話になった冨久屋ホテルの玉岡様、永い間本当にありがとうございました。開催日は2月の第3日曜日です。まず会長より70周年を迎えての同窓会についてお話があり、事務局長よりは同窓会の近況についてのお話でした。次に全員の自己紹介と現況を話してもらい、楽しいひとときを過ごしました。来年は2月17日です。創立70周年を迎える母校の見学とこれからの人生を有意義に過ごすためにも是非多数のご参加をお待ちしております。

酒井弘光（23）

平成13年度総会を開催

経稜会（山岳部ＯＢ会）

昨年9月、白馬ヒュッテ40周年行事を無事に完遂し、次の新活動を目指す経稜会（山岳部ＯＢ会）の平成13年度総会が5月27日に京都三井ビルで開催されました。当日は名誉顧問の大槻（前名誉教授）先生を迎え、活動報告／計画、他の定番議題に加え、大学70周年記念募金や記念史資料、体連協等タイムリーな話題を取り上げ、新役員スタートで会議を終了しました。それに引き続き別席で懇親会に移り、久し振りの交流を楽しく過ごせた一日でした。

磯田郷一郎（26）

落語研究会ＯＢ総会開催

落語研究会ＯＢ会

去る平成13年3月18日（日）、大阪駅北側の大阪弥生会館におきまして、創部以来初のＯＢ総会が50人を超える参加を得て大々的に挙行されました。遠くは、はるか中国の寧波から緊急帰国された先輩もおられました。総会は、落語研究会創始者である初代真面目家勘当氏の挨拶に始まり、乾杯に続いて、現役当時に立ち返り、演芸大会となりました。大先輩、若手入り交じっての大喜利バトルロイヤルに会場は歓声と怒号の飛び交う異常な盛り上がりを見せました。楽しい時間は瞬く間に過ぎ、部歌の大合唱で最高潮を迎えました。最後に次回幹事に落語家小丸氏を選出し、再会を約して、散会となりました。

板鼻俊幸（43）

丹後半島に集う

寄多郎会（柔道部ＯＢ会）

平成12年11月17、18日の両日、京都府丹後町間人「炭平」において、第16回寄多郎会を開催いたしました。

地名の間人は、蘇我氏物部氏合戦の時代、戦渦を避け、間人皇后がこの地に疎開され名付けられた古代ロマンただよう土地柄です。

地名はともかく、今年は日本海のカニという約束で、解禁待ち、「炭平」しかないと豪語する車野君推薦の宿、宴会場は新鮮なカニでうめつくされ、それは豪華の一言。

西君の乾杯発声で開宴、とろける様なカニを賞味しながら話がはずみ、結成以来15年間全員元気でそれぞれ活躍中である事をたたえ合いました。

翌日は、琴引浜の泣き砂で遊び、成相寺、元伊勢神社に参拝、天の橋立で昼食後、来年も元気で参加する事を約し解散致しました。

梅垣皖洋（27）

関西学生柔道連盟ＯＢ親睦ゴルフ大会に大経大柔道部ＯＢ経柔会が、準優勝

柔道部ＯＢ経柔会

去る9月7日（金）雨の中を富田林市新にある『聖丘カントリークラブ』において各大学のＯＢ79名が参加して盛大に行われた。我が経柔会は一昨年、昨年に引き続き3年連続優勝を狙ったが残念ながら準優勝に終わる。

競技方法はダブルペリアで行われ、団体戦は各大学の上位5名の成績で決める。

団体戦

優勝　立命館大学
準優勝　大阪経済大学
3位　天理大学生

ハンドボール部台湾遠征合宿

ハンドボールＯＢ会

平成13年3月中旬、日本から大経大（近畿）・筑波大（関東）・中京大（東海）・福岡大（九州）の4大学ハンドボールチームが、台湾台中市へ遠征しました。大経大は、

団長　鮫島　圭
ＯＢ会会長（18）
監督　福井孝明　部長・教授
コーチ　下田浩児
ＯＢ（54）
現役　20名

が参加しました。

現地では、国立台湾体育学院他3大学と国際対抗戦並びに合同合宿を行いました。台湾の大学チームは平均身長180㎝・体力抜群で、日本の各チームも他国のハイレベルを体験することが出来、有意義な8泊9日でした。

鮫島　圭（18）

個人戦

優勝　安田　剛（大経大）
準優勝　和泉頌二（立命）
3位　火箱保之（天理大）

来年度平成14年の大会は関西学院大学が当番幹事で、千刈Ｃ・Ｃにおいて実施と決まりました。

来年度は必ず優勝奪回を目指して頑張ります。

吉田文雄（24）

ハンドボール部1部リーグで優勝！

ハンドボールＯＢ会

首記の如く、ハンドボール部は関西学生1部の秋季リーグ戦最終日に常勝大阪体育大学を破り、7戦全勝で優勝しました。10年ぶり6度目の快挙であります。この10年間ほとんどのシーズンが2位であり、はがゆい思いをして来ましたが、久しぶりに胸のつかえが下り喜んでおります。本年3月に台湾遠征合宿を行った効果もあったと考えられます。

今後は関西リーグでの優勝の継続と、全日本学生選手杯での優勝（過去3位1回、4位数回）を目標に努力して参りますので、同窓会諸兄姉の一層のご支援をお願い致します。

鮫島　圭（18）

大経大試合結果

点数	チーム名
○24-19	大体大
○31-22	桃山大
○34-23	関学大
○30-20	同　大
○32-16	近　大
○32-16	天理大
○33-11	龍谷大

「体育会連絡協議会」発足！

体育会連絡協議会

平成13年2月24日同窓会本部に「体育会連絡協議会」略称「体連協」が結成されました。

大学のスポーツ強化策に則り、低迷気味の運動部が飛躍し得る環境を作り、その活躍により大学活性化の起爆剤となり、大経大の知名度向上に寄与することが目的であります。

33運動部のＯＢ会会長あるいは監督等で会員を構成し、互選により左記役員を選出しました。

会　長
鮫島　圭
ハンドボール部ＯＢ会会長（18）
副会長
加藤　宏
バスケットボール部ＯＢ会会長（18）
藪田忠生
ラグビー部ＯＢ会会長（25）
佐藤武司
空手部ＯＢ会会長（30）
顧　問
西山昭吾
サッカー部ＯＢ（16）
事務局
志水利通
硬式野球部ＯＢ（23）
水納敏也
同窓会本部事務局長（25）
国西良昌
周年事務室（29）

すでに大学事務局と数回協議を行っております。今後も各運動部が活躍出来得る環境作りに取り組んで行く心積もりであり、同窓会員各位のご声援・ご協力をお願い致します。

鮫島　圭（18）

松村ゼミ同窓会

松村幸一ゼミOB会

今年も6月16日（土）、13名の参加で松村ゼミ同窓会が開催されました。先生がお誘いくださって、先輩にも参加していただき、賑やかな同窓会となりました。

いつもなら仕事の話、思い出話などですが、こどもさんが結婚された方もおられ、お孫さんの写真も見せていただき、卒業してからの27年の歳月を改めて感じさせられました。

いつもお元気な松村先生を囲んで年一回先生のお話をうかがいながら、時の経つのを忘れて旧交を温めることのできる楽しい同窓会です。

来年も先生のご都合のよい6月の土曜日に同窓会を開催する予定です。いまだ、ご参加いただいていない同窓生の皆さまもぜひご参加ください。お待ちしております。

仲（森）美知子（40）

渡辺泉教授の「白水会」誕生

白水会

今年の1月27日に本学の50周年記念館（E館）において、本学の経営情報学部教授渡辺泉先生に関わりのある者が集まって、「白水会」を結成し、その創立総会並びに懇親会を開催しました。当日は、48名の参加がありました。

会員としての資格は、別段なく、渡辺泉先生に何らかの影響を受けた教え子が時折集まって、旧交を温めようというのが趣旨です。とはいえ、やはり中心になるのは、渡辺泉ゼミのOBと着任以来ずっと顧問をして頂いている税理研究会のOBの2つですので、渡辺泉先生の「泉」を2つに分けて「白水」として命名したような次第です。もちろん、それ以外でも、その他先生と関係があった方が参加してくださるなら大歓迎です（いずれも現役可）。

先生が本学に赴任され、27年が経ちます。ゼミ生OBと税理研究会OBを加えますと、総勢500名を超えるのではないかと思います。大所帯です。

最初は固かった雰囲気も懇親会に入り全員が自己紹介、アルコールも手伝って最後は爆笑の渦の中、名残を惜しみながら、2年後の再開を約して解散しました。なお、会費については当日会費のみで、これから2年に1回程度の開催を考えています。

今回出席できなかった方は、次回是非御参加下さい。

また、この白水会についてのお問い合わせは、渡辺先生か、私か、または同期の会員にご照会下さい。宜しくお願いします。

市原孝志（40）

『高城ゼミ40期同期会』

第40期同期会

平成13年11月3日　卒業以来初めて、27年ぶりの再会を果たし、出席者一同大いに盛り上がりました。各各　立派な「オッサン？」「オバサン？」になっていましたが、会が始まると、歳も忘れて？もっぱら話題は現役時代の思い出話しで、大いに盛り上がり、楽しい一時を過ごしました。

さて、高城先生は3月で退官されるそうです。ゼミの教え子も1500名を超えているそうです。

そこで！！高城先生に感謝の念を込めて平成14年3月17日（日）『高城ゼミ同窓会』を開催致したく思っております。皆様のご協力よろしくお願い致します。

連絡先は☎・FAX 086-477-7018

尾崎秀一（40）

井上ゼミ清壽会・文化サロン

清壽会

春は2001年4月21日に、秋は10月6日、井上清先生をはじめ、久しぶりに旧友たちが集まりました。

秋の文化サロンは、来年先生が84歳になられるのと、先生ご夫婦の結婚60周年にあたるので、その祝賀会の打ち合わせも兼ねました。

祝賀会は、2002年2月10日（日曜日）午後1時から、大阪梅田阪急ターミナルビル17階のレストラン〝ル・シェル〟で、卒業生の大坪支配人のご協力で開催します。井上ゼミの皆さんは奮って参加して下さい。

連絡先

〒553-0005
大阪市福島区野田5-2-8
酒井亮介（15）
☎06-6462-5979
〒636-0341
奈良県磯城郡田原本町薬王寺
200-107
苦木　哲（29）
☎07443-3-1423

中村九一郎先生がこよなく愛された京料理と紅葉狩り

九一会

平成13年11月23日に、中村九一郎先生がこよなく愛された京料理と紅葉狩りを京都南禅寺近くの「瓢亭」で、九一会総会を兼ねて開催致しました。この11月23日は平成7年11月23日に開催された、「九一傘寿記念会」から数えてまる6年がたち、平成10年11月2日に亡くなられてから3年がたちました。生前のお約束通り、先生の教えをもとに相集い親睦を深めております。

当日は、京都・蹴上にある「都ホテル　1階ロビー」に12時30分に集合して、蹴上や南禅寺・永観堂の紅葉狩りの散策をしながら、開宴場所の京料理の老舗「瓢亭」に集まり、総会及び近況報告を行いました。参加された皆さんとは、この九一会で知り合いになり、お互い九一郎先生にまつわるエピソードで、更に親睦を深め、2時間あまりの短い時間でしたが楽しい一時を過ごしました。次回にも、元気で相集う約束をして総会を終了しました。

その後、時間のあるかたは恒例の二次会で、カラオケで歳を忘れて、京都の夜も満喫いたしました。

九一会は中村九一郎ゼミOBを中心に、先生を恩師と仰ぐ方々を交えた、ご夫婦で気軽に参加できる愉快な同窓会です。いまだ、ご参加いただいていない同窓生の方々もぜひご参加ください。左記宛に連絡いただければ、ご案内のはがきを送付いたします。

〒660-0893
尼崎市西難波町3丁目4の14
九一会事務局　中村惠信（40）

創立70周年「記念募金のお願い」

昭和7年以降、同窓会の皆さん方の手作りで発展してまいりました大阪経済大学は、来年創立70周年を迎えます。

この伝統を背景に、さらに飛躍させるため2000年4月より「記念事業委員会」を発足させ諸事業を展開中です。来年4月開設予定の人間科学部〔設置認可申請中〕（70周年記念館）、地域政策学科（経済学部）、国際交流会館、記念野球場、奨学金の充実、文化講演会、社会人向け各種講座、高校生からのメッセージ募集、同窓会主催ＩＴ講習会、地域周辺写真展・フリーマーケットなど、多彩な企画を大隅の地で開催しています。募金実行委員会はこれら諸事業を遂行させるため募金活動を展開中でございます。同窓会員の皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げる次第です。

（お問い合わせ先）
大阪経済大学　総務部　周年事務室
☎06-6328-2431（代）

SEMINER REPORT
[先生方からのメッセージ]

ゼミ短信

頑張れ、大経大

飯尾　要先生

本年度で、いよいよ大阪経大を辞することになります。和歌山大学を定年退官のあと、73歳にいたるまで8年間お世話になりました。私にとって、最後の勤務先になりました。毎年、私の「情報システム論」をきわめて多数の学生諸君が受講してくれたのが最大の喜びです。ゼミもいつも楽しく過ごせました。学生諸君も、職員、教員の方もみなよい人ばかりで充実した8年でした。

いよいよ21世紀になり、大経大もいろいろと新しい姿で、羽ばたこうとしています。大経大のさらなる発展を祈っています。頑張れ、大経大！

私の夏休み

家近　良樹先生

私の夏は、ここ7、8年、原稿書きに追われ、それだけで終わります。したがって、家族旅行も、個人の旅行もなしえません。幸いなことに、子供も大きくなり、下の娘に少しブーブー言われる位で済んでおります。ということで、今年の夏も原稿書きに始まり終わりました。もっとも、今回のは、一般読者向けに書いた原稿で、つい最近書き上げました。出版社から話があった時は少し悩んだのですが、自分のやっていることを多少なりとも知ってもらうのも教員の義務かもしれないと思い直して書きました。来年の2月か3月に『孝明天皇と一会桑勢力―幕末史の新しい見方―』（文春新書）という題名で出版されます。暇な折りに、手にとってもらえれば幸いです。

一緒に読みませんか？

池野　重男先生

暑い8月に、39度を超える熱を出して3日間寝込みました。そんな時にもらう卒業生からの手紙はなによりのお見舞いです。でも、気になるのは卒業生のものすごい働きぶりです。このところゼミでは、大手の電機会社の工場閉鎖に納得いかないとハンストしたりして反対しているひとりの労働者の闘いのパンフを読んでもらっています。しんどい会社情況に黙ってばかりいては何も変わらないこと、一人でも頑張っている人が周りにいればどんな形にしろ仲間になってみること、そこから今まで見えなかったものが見えてくるのではないか、との思いからです。一緒に読んでみませんか？そして、あなたの情況を書き送って下さい。

吹田市山田西3-52-C-721

新展開模索中

稲葉　紀久雄先生

「学ぶことが楽しい、と思えるようにするには、どうすれば良いか」とかねがね考えて来ました。学問の醍醐味は、自分が学び考えたことが社会に役立っていると感じられる時に味わえるのではないでしょうか。ただ学ぶために学ぶのでは意味が無いと思えます。

私は、こういう視点から、ゼミの在り方を巡って試行錯誤を繰り返して来ました。教養演習の一環として大樟祭の期間中に環境劇場やリサイクル・オークションを催して来たのもこのためです。

あるOBは、「ゼミの経験が仕事を進める上での大切な財産」と言ってくれました。光栄です。人間科学部発足を前に、これまでの試行錯誤の成果をどう活かし発展に

つなぐか、目下模索中です。

2度目の組合執行委員

大槻　裕子先生

今年度は組合前年度執行委員に拝み倒されて遂に執行委員を引き受ける羽目となった。5月1日のメーデー初参加、団交、そのための予備折衝、組合旅行への取り組み、総会（2回）、最低週1回の集会等々多忙のうちに前期はあっという間に過ぎ去った。集会は大抵午後6時から開かれたが、この時開帯になるとメンバー全員も妙に落ち着き、その結果議論もはずむこととなり、時間を気にしつつも時を忘れて10時前後に大学を出ることは常習となった。時には講義のない日にも夕方から経大の門をくぐることもあり、また講義に行く途中メンバーに出会うことがあるとニタッとし合うが、このニタッの中に「ああ忙しい！」という言葉がアウンのうち響きあっていた。その間をぬって2002年の新学部開設に向けての高校訪問等々、その他あまりにも忙しい日々ではあった。とに角それは私が経大赴任以来初めてと言う程の忙しさで、この夏休みは心底ほっと息をついているところである。

リストラに負けるな

大橋　範雄先生

卒業生の皆さん元気ですか？私は今夏も5週間ほどドイツで過ごし先日帰国しました。ドイツも不況で全体の失業率が9％を超え、東独部では約20％にまで至っています。日本でも5％になり、企業もリストラを盛んに行っていますが、リストラされそうになったとき、大学で学んだ労働法を思い出して、すんなりとリストラに応じないよう頑張って下さい。私は99年の単著に続き、今年5月愛知大学国際問題研究叢書として二人で『激動期・終焉期のドイツ民生共和国労働法』（創土社）を出版しました。このように私の方は忙しさで研究時間がなかなかとれませんが、何とかマイペースで研究を続けています。皆さんも各々の分野で元気で頑張って下さい。

恥をしのんで発言？

片山　麻美子先生

卒業生の皆さん、お元気ですか。最近やっと私は英語の授業で少し心のゆとりがもてるようになりました。居眠りをせず、おしゃべりをせず、いかに集中するか、を相変わらず学生の皆に求めています。しかし、発言型の英語は自分も苦手。さらに日本語での発言そのものも訓練が必要と痛感しています。卒業生の皆さんなら職場で質問や意見を言うことの大切さや難しさはわかって下さるでしょう。失敗や臆病にめげずやってみましょう。これを英語で少しでもできたらと願っています。今夏はイギリスのウェールズの学会を聞きに行きます。ロンドンから6時間かかる田舎ですが、どれだけ理解できるか、質問もできたらいいなと思っています。

来年に向けて

久保田　諄先生

来年度から新学部と新学科の発足、そしてセメスター制の導入で学校の雰囲気も大きく変わるでしょう。とにかく、それぞれの講義を半年間で完結しなければならず、また、年に2回の試験なので、夏休み前の7月にも試験があり、夏休みは採点で明け暮れることになるでしょう。せめて今年限りののんびりした夏休みを骨休めしておきましょう。

半年で完結となると講義の内容も大幅に変えなければなりません。どうしても基礎的な考え方の説明を短縮せざるを得ないので、1回1回の授業が講演会のような性格になるのではないかと思います。自然科学系の教育は雑多な知識を詰めこむ方法では成り立たないので、これから試行の連続でしょう。

最近の会計の現況

鯉田　勝巳先生

ゼミ卒業生の皆様、御元気の事と推察します。最近の日本の会計実務は、国際会計基準に合わせるべく急激な変化をみせています。連結財務諸表とキャッシュフローの重視、金融商品・税効果・外貨建取引・研究開発費・固定資産の減損等の会計など時価会計の大幅な導入、そしてまた、企業の再編をねらった会社分割を容易にする商法の改正、電子情報による開示制度、税理士法の改正による税理士の法人認可、同法試験制度改正による影響等は戦後の改正に次ぐもので、まだ改正案が色々と続いています。大会社は続々と人員整理を始めています。ぜひもう一度勉強し直して、厳しい現実に対応してくれる事を祈っています。本学設立70周年に会いたいものです。

SEMINER REPORT
[先生方からのメッセージ]

私の教育

瀬岡　吉彦先生

国公私立の3種類の大学教育を経験した結果、まず基本的に必要な教育は「正しく日本語を読むこと、書くこと」であると考えます。

私は、毎授業の最初に、前回の講義の内容を、前もって指定しておいた2～5名の学生に200字程度で要約して黒板に書かせ、漢字や文法上の間違いを含めて修正して、受講者全員に示しています。私はこれは単に経済学を教えるのではなく、日本語を教える課程の一環であると考えています。

そのことを踏まえた上で、現在の社会で「役に立つ学生」を養成するために、特に「英語を重視した教育を行うこと」を目指しています。今後学生諸君がどのような職業に就くにしても、世界語としての英語を知っていなければなりません。そして特に大切なことは英語を通じて生きた経済を教えることです。

禁煙よりもつらいこと

高寺　貞男先生

夏休みに入る直前から、ともに半世紀以上も続けてきた喫煙生活と研究生活から退出する作業を始めました。すでに4週間を経過しましたが、私の場合、煙草をすわないと、頭が回転しない状況にあったので、煙草をやめるには、とりあえず、研究を中断せざるをえませんでした。

その結果、煙草をやめるよりも研究を中断することの難しさを痛感していますが、当面の心配事は現在中断している研究が煙草なしで復活するかどうかという問題です。つらいことですが、元のレヴェルに戻れないと覚悟しています。

個性的な人間科学部の開設

滝内　大三先生

滝内ゼミも専門ゼミの方はしばらくお休みにしているので、ゼミ活動のご報告ができません。しかし卒業生の皆さんの動向は『仲間』という通信紙を毎年1回発行してお知らせしています。今年は第23号を出しました。私は今、新学部づくりに全力投球しています。心理と行動、文化と社会という2領域をベースに、人間的実学教育を掲げる大阪経済大学にふさわしい個性的な人間科学部が4月に開設される予定です。どんな1期生が来てくれるのか、期待はふくらむばかりです。母校を愛する同窓生の方々は、すばらしいお子様やご兄弟、教え子を送って下さることでしょう。私は人間科学部の専門ゼミを担当して、よき後輩を育てたいと思っています。

大淀と長江

谷　行博先生

皆さんお元気ですか。私は研究室が以前のB館から新しいG館に移りました。窓から生駒山と大淀の堤が見えます。

中国語教育の面では、経験を重ねれば重ねる程に新たな課題に直面するという状態です。

研究面では、従来からの魯迅研究に加えて、フィールドの場を江南地方全体に広げて、中国近代文学生成の諸相を明らかにしようと試みています。大淀と長江。これが現状です。右、近況報告まで。

大学改革について思うこと

田野　大輔先生

大学改革をめぐる論議のなかで、しきりに強調されるのが「第三者評価による競争原理の導入」であるが、これには危惧を覚えないわけにはいかない。「競争原理」によって教育・研究の活性化をはかるという趣旨は理解できるのだが、「競争原理」になじみやすい分野とそうでない分野があり、人文科学などは衰退を余儀なくされると思われるからである。また「第三者評価」を導入するにしても、よほど慎重にやらないと「第三者評価」への迎合を生むだけであり、かえって教育・研究の質を低下させることになろう。「競争原理の導入」によって効率のみを重んじるようになった大学からは真の「文化」は生まれない、といったらいいすぎだろうか。

母校のために働く

徳永　光俊先生

ゼミの1期生たち（1987年度卒）も、30代半ばとなり、各々の分野で活躍している。仕事を通じて、母校とのつながりが再び生まれている。

教員となったAさんは、70周年記念の17歳からのメッセージに協力してくれた。文房具や施設工事のB君C君は、70周年記念館の仕事に食い込もうと努力している。母校のために働けることは、他の仕事とは一味違うようだ。

最近のゼミ生ほどつながりは薄くなっているが、彼らもまた10年20年たてば、母校への愛着が湧いてくることだろう。80周年、100周年の時である。

100周年の2032年には、わたしゃ80才。はたして生きてるか？

ゼミ短信

「こんにちは」

中川　操先生

中川ゼミ卒業生のみなさんお元気ですか。2000年は1年間米国スポーケン市に滞在していましたのでゼミはありませんでした。アメリカ人から「ティーチングをミスしましたか」とよく尋ねられました。ミスとは「教えられなくて淋しいでしょう」という意味ですが私は「学生をミスしている」と答えていました。現在スポーケンの大学院では杉岡武優君と雲田貴之君ががんばっています。2人の在学しているウイットワース大学と本学とは本年6月に提携を結びました。アメリカでのはじめての提携です。

しばらく夙川のマンションに住んでいますので便利な場所ですから遊びに来て下さい。

〒662-0036　西宮市
大井手町5-21-103
TEL　0798-73-2388
Eメール　tokio@gold.ocn.ne.jp

講義に音楽

永野　仁先生

私は講義のはじめ10分間音楽を聴かせる。ヴィバルディ、バッハ、ベートーベンなどのクラシックはもちろん、ジャズ、シャンソン、さてはロックのようなポピュラー。

音楽を聴かせたあと、学生たちは講義に集中し、私語はしない。

元来私の趣味の延長で、学生の音楽趣味が狭くかたよっているのを、広げてやりたいというのが当初の願いであった。

ところが、このような効果があった。

思うに、音楽を聴くと人の気分が一新し、落ちつくのであろう。脳波によい影響を与えるのかも知れない。

アンケートを取ってみると、賛成は九割八分であった。

さあ情報交換しよう

樋口　克次先生

卒業生の皆さんいかがお過ごしですか。来年3月末で経大生活20年になります。その間多くの皆さんと親しくなれたことに改めて感謝いたします。私自身も参加していますが、経営学部では2000年度から起業論という新しい領域を開拓しました。ビジネスプランを創ったり、経営者ゲームをおこなったり、プレゼンテーションやビジネス法務もあります。さらに実践的なマーケティング論も始まりました。これからは卒業生の皆さんにも満足していただけるような、役に立つ科目を提供していきたいと考えています。そこでお願いです。皆さんの住所とメールアドレスを教えてください。新しい情報をどんどん提供いたします。皆さんのご活躍を祈っています。

大学教員一年生

藤本　高志先生

今年4月に採用され、半年が過ぎました。農家の長男として生まれ、今も日曜百姓に励んでいます。これまでは、県庁で、農業・農村経済の研究を仕事としてきました。そして、大経大では、農業経済論を担当しています。

教員1年目の私にとって、今、最も怖いのは学生さんです。魅力的な授業ができているか？と自問しながら、講義の準備に、研究にと多忙な日々です。来年度からは、新設の地域政策学科に配属されます。環境問題に代表されるように、20世紀の経済システムは、グローバルからローカルへ、効率性から持続性へと大転換を迫られています。地域で仕事をしてきた経験を生かし、この問題を、学生さんと共に考えていきたいと思います。

みんな元気ですか？

藤本　寿良先生

卒業生のみなさん元気でやっていますか。私も学部の授業とゼミに加えて、大学院生も増えて（今年は研究生を含めて6人の外国留学生がいます）、いそがしくしています。その合間にカナダ、オランダ、トルコと3回の海外学会に参加してきました。昨年度のゼミの卒業生がタイムカプセルを作り、10年後の自分に宛てた手紙を同封し、10年後の経大での再会を誓い合いました。その時に何人集まれるかはわかりませんが、卒業してもまた会おうというゼミ生の熱意をうれしく感じました。最近の学生はドライだと言われていますがまだまだ捨てたものではありませ

ん。みなさんも時々経大の時のことを思い出して下さい。それぞれの分野で御活躍を祈ります。

近況

古宮　昇先生

経大の講師に赴任して2年目になります。初年度よりも良い授業をしよう、と新しい試みなどを取り入れ、学生のみなさんと楽しくやらせていただいています。また研究活動にも活発に取り組んでいます。

来年には、新しい人間科学部が発足する予定です。今後も経大をよろしくお願いします。

楽しくて充実したゼミを目標に

朴　泰勲先生

今年から経営管理論を担当することになりました朴と申します。7年前来日し、ずっと東京で暮らしてきた私にとって、大阪での新しい生活は日本を再発見できる貴重な機会であると考えております。現在、関心のある分野は機械産業における企業間の生産システムの比較です。企業マネジメントに関する諸理論に詳しく、企業で認められる有能な人材を育成することを教育の目標としています。そのためゼミでは企業経営においてホットなイッシューとなっているさまざまな課題を取り上げ、ゼミ生自身による自主的な討議と発表を進めております。そして卒業した後でもゼミ生同士がネットワークを作って連絡しあう活発なゼミにしたいと考えております。

ドイツ留学を終えて

本田　良巳先生

パッサウ大学（ドイツ）での1年間の留学を終え、3月末、日本へ戻ってきました。パッサウ大学は経済学方面で有名な大学であり、学生も生き生きと輝いてみえました。パッサウ大学では金融商品の時価評価論を中心に勉強してきましたが、国際会計論だけでなく、学生の勉強に向かう姿勢、先生と学生との関係なども講義や演習指導を通して経大の学生に伝えていきたいと思っています。

新幹線評論家

松村　文武先生

OG・OBの皆さんお元気ですか。周知のように東京への転任と転居をかかえているこの1年は予想以上に多忙です。授業も両校で担当してますので、最近では人と会うと目下の職業は新幹線評論家ですと軽口をたたく有り様です。とにかく体調の維持を第一に心がける毎日です。そんな中の首相靖国参拝問題は、ストレスを募らすばかりです。すでに日本経済は多国籍企業立国の段階にあり諸外国と友好を育み世界分業をすすめる以外に未来はないのに、日本の保守派は何を考えているのでしょう。なお、84年卒（第6期ゼミ生）の段上秀貴君が今年5月に三井物産にヘッドハンティングされました。本学卒業生としては初めての快挙ではないかと思います。努力に拍手。

「IT は死語?」

松本　良治先生

IT不況などと言われる最近の経済状況ですが、どうも企業等が本気になってIT（情報のディジタル化技術）に取り組まないうちに一時の流行語に終わってしまうのではと心配になります。

情報のディジタル化がいろんな意味で情報処理の効率向上に寄与することは明らかだと思うのですが、単に効率面だけでなく、新しい価値の発見や創造がインターネットなどの情報共有空間で生まれる可能性に注目したい、ITは益々重要なキーワードになる、とゼミでも議論しています。

人生を自由に優雅に

間野　嘉津子先生

経済大学卒業生の皆さん、その後いかがお過ごしですか?先行き不安なこのごろですから、社会の荒波をうまく乗り越えることは、至難の業かもしれません。だからといって、人生は一度しか無いもの。これだけは誰にも絶対に負けない・譲れないと言えるものを一つ見つけて、それを大切に育てていってくださいね。ところで、この原稿の締め切り直前に、世界を揺るがすニューヨーク同時爆破事件が起こりました。はじめはテレビの画面を見て頭の中が混乱していましたが、しばらくすると、はたして日本の自衛隊はこの事件に対してどう対処するのか、すごく気になり出しました。というのも、

ゼミ短信

私のゼミの卒業生が男女二人自衛隊に入っているからです。今は世界の動きがすぐに私たちの身の周りに影響を与える時代です。これから先もどうか、人間関係を大切にして、人生を自由に優雅に送ってもらいたいと改めて願うこのごろです。ではまた嬉しいお便りを待っています。

はじめまして

山野　紘一先生

平成13年4月に経営情報学部に着任し、3年生とゼミを始めました。世の中はIT（情報技術）に関してさまざまな議論がされていますが、益々過剰となる情報量に対して、どのように対処して行くかはこれからの大きな問題です。ゼミでは、学生自身で課題を設定し、コンピュータを通してその解決を考えてみるというシミュレーションの演習に取り組んでいます。自分の考えやグループの方針などを活発に議論し、試行錯誤を繰り返しながら進めています。ゼミ生には、このような体験から、実社会における問題を自立して考え、解決していく力を身に付けてもらいたいと期待しています。

ゼミの目標は何か

吉井　康雄先生

今年の「吉井ゼミ」の前期は学生の就職相談に終始した。ゼミ生を3年次よりグループわけし、プロジェクト指導してきたので、「ゼミでは何をしているか」との就職時の質問にはゼミ生諸君は無難に対応していたようである。私の当面しているゼミに対する課題は、「ゼミの目標は何か」である。「学部を卒業するゼミ生が学士として評価されるに値する自律的専門的能力を養成する場」、それがゼミであるべきであろう。就職に強い大学である前に、ソーシャル・ニーズに応えられるソーシャル・エンジニアリング能力を力強く支援する場、それが学部の使命であり、ゼミではなかろうか、と強く思っている。数年後、私達の大学が社会から力強い期待をもたれるために。

「強い経大生」復活

吉垣　実先生

今年4月から、経大でお世話になっております。経大の建学の精神および教学理念を理解し、一生懸命頑張ろうと思っております。わたしくの担当科目は「会社法」、「民事訴訟法」、「ビジネス法務」といったビジネスに関連する法律科目なので、伝統的な法理論をお話するだけでなく、新聞紙上を賑わしている会社訴訟を多く取り上げた授業を心がけております。経大の学生は真面目で明るい人が多いので、毎日楽しくやらせていただいております。微力ですが、基礎学力を有し、社会に通用する資格を取得しているような「強い経大生」を育てられるように頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

台北の書店にて

六浦　英文先生

台北「SOGO百貨店」の最上階にある「誠品書店」にて、蔡静加訳の托瑪斯・曼（トーマス・マン）の『魂断威尼斯』（『ヴェニスに死す』）に遭遇し、購入。トーマス・マンの作品で中国語になっているのを見たのは初めてであったから驚いた。『魔の山』や『ファウストゥス博士』などの中国語訳があれば、ぜひ買いたいのだが、はたして翻訳されているのだろうか。

さらに、歌徳（ゲーテ）の『少年維特的煩悩』（『若きヴェルターの悩み』）を、郭沫若訳のものと候浚吉訳のものを購入。郭訳は書面語に近く、候訳は口語文に近い。両訳を比較してみるとなかなか面白そうだが、小生の語学力では、歯が立ちそうにもない。つくづく中国語は難しいと思った。

同窓会（白水会）ができました

渡邉　泉先生

卒業生の皆さん、お変わりありませんか?それぞれの分野で活躍されていることと思います。2002年で大経大も70歳、古希のお祝いです。私も大経大にお世話になって今年で27年、あっという間の年月でした。今夏は、新しい教科書の執筆や先輩の記念論文集への寄稿依頼等でてんてこ舞いでした。

今年の1月、私のゼミと就職以来ずっと顧問をしてきた税理研究会の卒業生が集まり、「白水会」という同窓の有志の会を立ち上げてくれました。2―3年に一度ということになり、とりあえず次回は、2003年に集まる予定です。詳しいことは、あらためてご連絡しますが、皆さんとまたお会いできるのを楽しみにしています。

先生の近況

少しエラくなったかな？

伊豫田　隆俊先生

伊豫田ゼミ卒業生の皆さん、お元気ですか？個人的なことで恐縮ですが、今春以来、うれしいことが2つありました。ひとつは、昨年出版した拙著に対して、日本公認会計士協会から学術賞が授与されたことであり、もうひとつは、大阪大学から博士（経済学）の学位が授与されたことです。研究書の出版と学位取得という大きな目的を果たすことができて本当に嬉しい限りですが、これからも地道に研究を続けていきたいと思っています。ところで、この2～3年、女子OB生の結婚が続いており、これまたメデタイ限りです。9月にはKさんが結婚されるとのことで、私も楽しみにしています。メールアドレスを書いておきますので、また色んな話をお聞かせ下さい。

iyodat@bj8.so-net.ne.jp
iyoda@center.konan-u.ac.jp

近況報告

杉山　襄先生

80歳を半年ほど過ぎましたが、医者知らずに元気です。US$での投資も次第に増大し、good-returnを得ています。

最近はIT技術もブームから、バブルに急変し、Coasting（坂すべり）と表現されています。インターナショナルにそうなる予測です。

老人の肺炎から甦るという思いもよらない命運に大喜び。5月には信州で種々の小さな草花を愛でて来ました。そしてこの夏にはゆっくり避暑と温泉に逗留のつもりが何と7月下旬までも肺炎で再入院となってしまいました。今はまだこの一文を綴れますが、これからどうなることか…。ともあれ年寄の病気、どうぞご放念下さい。（9月初旬退院）

ただいま闘病中

木村　敏男先生

みなさんお元気でしょうね。私はただいま闘病中です。

「せっかく覗いた21世紀をもうしばらく眺めていたい」と年賀状を出したばかりの正月早々、肺炎に罹って入院。1カ月余は正気を失って妄想の世界をさまよい、その後も1カ月程療養を続けてやっと3月中旬退院しました。

それにしても死の危険性が高いだけ罹らずにすまさねばならないと思うからです。また寒い季節にはどこか温かい所に避難せねばということで今年は3月に小笠原へのクルーズに参加いたしました。

余生のすごし方

井手　經三先生

右下肢の機能障害で歩行困難ですが関西寮歌振興会合唱団での活動は続けており、1巻に20曲を収めた寮歌のカセットテープを現在10巻目に取り組んでいます。

その他には近海のクルーズにも機会があれば参加することとし、只今にっぽん丸の『横浜花火大会と東北夏祭りクルーズ』の最中です。

あとは時間の許す限り寝てすごすことに努めています。何しろ高齢者死因の中でも肺炎の占める割合が馬鹿にならないので、できるだけ罹らずにすまさねばならないと思うからです。また寒い季節にはどこか温かい所に避難せねばということで今年は3月に小笠原へのクルーズに参加いたしました。

最近思うこと

井上　清先生

80歳半ばまで生きて、この頃時々思うことは、女性の平均寿命（約84歳）に元気に追いつくという70歳台の時の目標に到達できそうだということです。これはやはり三大生活習慣病や肺炎の大病に罹らなかった好運に恵まれたことが大きな原因でしょう。しかし近年加齢化と共に軽い脳梗塞の後遺症（目まい・ふらつき）になやまされるようになってきましたので、ゼミOBが設定してくれた次の目標＝米寿へ到着できるかどうか定かでなくなり、「米寿への挑戦」という皆さんの激励を果すことに自信を喪失してきましたので、それまでにいわば「途中下車」して、2002年中に皆さんとまたお合いできる機会をもちたいと願っています。宜しく。

訃報

長谷川拓三先生を偲ぶ

経営学部　渡辺大介

9月14日、経営学部の長谷川拓三先生が亡くなられました。享年53歳。祭壇の白い花に包まれた長谷川先生の遺影を見ながら、一輪の赤い花を供えるべきだったと思いました。彼の学生に対する熱き想いに敬意を表するためです。卒業生も含め多数のゼミ生諸君が献花する姿を目の当たりに見て、良き師弟関係が偲ばれ、改めて教育の原点を教えられた次第です。

2年半ほど前、長谷川先生は突然に大腸の手術をされました。経過は良好のように見受けられましたが、転移があり、治療を受けながら、それでも元気にこの7月まで講義を続けておられたのです。ことのほか暑い夏を乗り切ってほしいと願っておりましたが、8月半ばに体調を崩されて入院、その後、再びお会いすることができませんでした。

入院される前に、長谷川先生のご自宅に伺いました折、積み上げられた研究ノートを前にして、「10年予定が狂ってしまった」と言われるのを聞いて、それに答える言葉がありませんでした。アメリカとドイツそして日本の管理会計を幅広く研究していた彼の頭脳の中に、どのような管理会計の理論が構想されていたのか、知ることはできませんが、個別の企業の枠を超えて、人間の生活全体を考えながら、コツコツと研究を積み重ねていた彼の努力に相応しい成果が生まれたに違いなく、残念でなりません。

術後から、彼と私の間で、「生」を見つめながらの会話が始まりましたが、それは難しく、とぎれとぎれの、互いの想いも力も及ばぬままに終わってしまいました。こうして書いておりますと、彼の笑顔が浮んできて、寂しい気持ちになりますが、再開の日までのしばしの別れと受けとめております。

旅立ちぬ　君を偲ぶや　曼珠沙華。

一文不知

6月10日（日）明石市鍛冶屋町の光明寺（通称＝浜の寺）において、久野収先生の納骨式が近親者で行われました。『一文不知』―法然上人の言葉―が磨かれた徳山ミカゲ石に行書体で刻まれ、自分が無知であることを自覚する、とは市民哲学者らしい先生の墓碑銘。

〝久野収とゆかりの人々の墓として、宗派によらない記念碑の形を取りました〟と、芳子未亡人は語る。ちなみに6月10日は先生誕生の日でした。

（前田悦子）

『中堅・中小企業の海外事業活動』

石川勝径・大西昭生　著
徳山大学総合経済研究所（叢書21）
2001（平成13）年3月10日発行

著者たちは徳山大学総合経済研究所の共同研究事業の中で、「山口県内企業の国際事業活動の展開」をテーマとして、平成9年度から平成11年度の3年間にわたって共同研究を実施されてきた。その膨大な調査・研究の成果が具体的な事例を踏まえて、明快に解説されているところが本書の特徴と言えよう。

本書は序章、本章（第1章～第9章）、資料編から構成されている。まず、わが国企業の海外投資動向が概観され、山口県内企業の海外事業活動の現状が明らかにされており、さらに、中国へ進出した企業の経緯、現状、課題などが具体的に報告されている。また、海外事業からの撤退（その背景、原因、特徴）や海外進出上の留意点がまとめられている。

著者の石川勝径氏は本学の卒業生で、本書の序章～第8章と資料編を執筆されている。海外事業部門に携わる方には是非一読をお勧めしたい。

（文責　川崎　章）

『マルクス再生産論研究』

伊藤　武　著
大月書店　6500円

筆者は、現代経済学が混迷している中で資本主義分析としてマルクス『資本論』は有効であると考えている。しかし、マルクスの資本主義分析を生かして現代資本主義を分析するためには、マルクス『資本論』を正しく理解することが前提である。筆者が取り上げたマルクスの再生産論は、ケネーの分析を継承し発展させたマルクスの功績をなすものであるが、これまで正確に理解されてきたとはいえない。それゆえ、本書では、マルクス再生産論が正しく理解されなかった諸原因を明らかにするとともに、マルクスの正しい読み方を提示し、これまでの誤った理解を批判的に考察したものである。

（文責　伊藤　武）

『社会経済史学の誕生と黒正巖』

山田達夫、徳永光俊共編
思文閣出版　2500円

経済史家の黒正巖は、1927年に「社会経済史原論」を翻訳出版し、マックス・ウェーバーの理論をいち早く紹介した。また、百姓一揆についての戦前の代表的な研究者としても知られる。日本の社会経済史学の開拓に大きな役割を果たしたが、49年に54歳の若さで急逝した。

本書は、山田達夫・大阪経済大学学長ら15人の専門家が、当時の国内外の社会経済史学の状況を考察し、彼が果たした歴史的役割を考察する。漢文に通じた教養や誠実な人柄が映し出される。

『四万十川の今昔とあすへの展望』

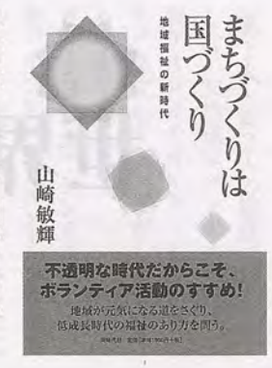
小松千秋　著

地域の時代。地域から取り組めるいろいろなことがある。「四万十川の今昔とあすへの展望」は、現代人が自然のすばらしさを忘れ、自分勝手な人間の生活スタイルへ注意を促しているのではないだろうか。地球環境の悪化が進んでいる今、〝地球という規模〟で環境のことを考えるのはなかなか実感として捉えにくいが、地域、もっと言うと身の周りのことから環境問題として捉え人々が環境について考え、自分たちのできることをしていけば、その小さな積み重ねがやがて大きなモノへとなっていく、そういったことを考えさせられ、自分たちの環境への意識の低さを気づかせてくれる。「四万十川の今昔とあすへの展望」は、そんなすばらしい本だ。

（文責　三井規裕）

以上は、「日本経済新聞」2001年5月6日付の読書欄に掲載された内容です。おかげさまで、大きな反響があり売行きも好調です。2002年9月30日の70周年記念式典には、『黒正巖著作集』全7巻が一挙刊行される予定です。御期待下さい。

（徳永光俊）



『まちづくりは、国づくり』

山崎敏輝　著
同時代社　1500円

社会は今、難しい時期に来ています。競争原理がいろいろな分野に導入され、活性化を図ろうと懸命になっています。しかし大切なものであっても、弱いものやもろいものは成り立つのが難しいこともあります。ボランティアなどの地域活動もまたその一つになり得るでしょう。

この筆者はもともとボランティアのような地域活動には関わりがありませんでした。ところが、降って沸いた住宅地近隣へのゴルフ場開発から、地域活動に関わるようになりました。本文では助け合いの歴史を振りかえり、日本における民間主導の社会福祉を推進する二大団体の紹介があります。そして、社会変化や近年の低成長下における社会福祉を解説しています。地域に根付いている活動を余所にしては、よいまちづくりはできないと訴えています。国は地域を真剣に考え、活動するものから真摯に学び、その熱意を助けてこそ、国づくりにつながっていきます。小さなコミュニティを大切にしたり、それができる環境こそが今日日本に不足している要素なのではないでしょうか。

（文責　伊藤和人）

『経大70周年資料集（第1集）』

大阪経済大学「経大70年史」編纂委員会

「経大70年史資料集（第1集）」は、浪華高商当時から、大阪経済専門学校までの「学制関係」に関わる公文書を収録した。これらは原則原資料を忠実に収録した。浪華高商が昭和高商に引き継ぐ課程では、資料の「承諾書」の押印のされ方一つ見ても、当時の状況が生々しく伝わってくる。昭和15、16年以降は就業年限が自在に短縮され「戦争」による学園荒廃が年々進む状況がうかがえる。また認可申請に関わる官庁からの「指示」文書（一部収録）の丁寧さは、昭和高商が発展していく様子が伝わってくる。

法人昭和学園を創り上げた全構成員、特に同窓生の皆さん方のご努力に感謝しつつ、「学園の資料保存（50周年を担当された方が基礎を創っておられた）と100周年につなげるため」この資料を作成した。第2集以降も順次刊行する。

『源義経―永遠のアイドル、謎の生涯に迫る―』

梶村文弥（8）著
あいわ書房　1500円（消費税込み）
A5判　280頁

「青春とは、人生のある期間をいうのではなく心の状態をいうのだ。優れた創造力、たくましい意志、燃える情熱、勇ましく強い心、何事にも挑戦する冒険心、こういう心の状態を青春というのだ」（サミュエル・ウルマン『青春』より）

この言葉がピッタリの我等が大先輩・梶村文弥氏（前同窓会丹有支部長、81歳）が、本年も標記出版物を刊行された。氏は県立高等学校長退任後『情熱の歌人　和泉式部』をはじめ著書、新聞連載等、数多くの文筆活動・郷土PRに取り組まれる、自他ともに認める郷土史家である。

今回の著作も、平成9年から12年にかけて兵庫歴史研究会機関誌に連載したものに、新たに書き下ろし、補足を行って発刊したものである。氏の心意気と歴史・ロマンに共鳴、関心がおありの同窓生諸氏は、是非、左記に御連絡下さい。

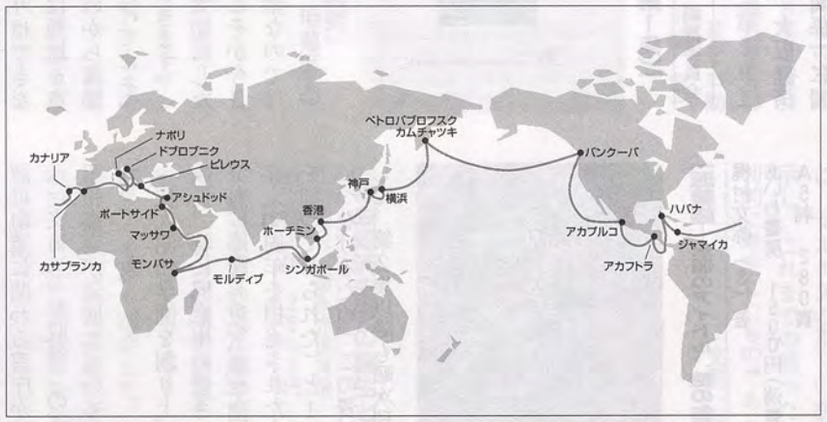
梶村文弥　〒669-2333
兵庫県篠山市南新町327
TEL0795-52-1065
あいわ書房
TEL0795-52-6090
FAX0795-52-4050

（文責　波根伸俊）

世界一周クルーズに参加して

三木　薫（4）

ピース・ボートがチャーターしたウクライナ船籍、外航客船、オリビヤ号（1万5000トン）に乗船して、13年5月23日に神戸を出航して、8月26日まで、95日間の世界一周のクルージングに参加しました。



航路は東シナ海・南シナ海・マラッカ海峡・インド洋・バベルマンデル海峡・スエズ運河・地中海・ジブラルタル海峡・大西洋・カリブ海・パナマ運河・太平洋・ベーリング海を経由して19ヶ国をまわりました。そのうち香港（中国）ホーチミン（ベトナム）、シンガポール・ポートサイド（エジプト）、ピレウス（ギリシャ）、ナポリ（イタリア）、バンクーバー（カナダ）の7ヶ国は以前に行っています。

5月27日（日）香港入港、オプショナルツアー「学生たちとトラム交流」では香港大学女子大生と一緒にスタンレイ・マーケットを散策し、レストランにて中華料理の夕食後、貸切トラムツアー、（2階建ての路面電車）に乗って香港の夜の町を見学、その後バスでビクトリア・ピークスへ行き、百万ドルの夜景を満喫。

5月30日（水）ホーチミン入港、オプショナルツアー「ホーチミンシティ悠々」では岸壁よりバスに乗車して出発、市内観光後、レストランにてベトナム料理の夕食でした。食後、ベトナム音楽の演奏（男1人・女2人の編成）がありました。女性達はベトナムの民族衣装アオサイをオーダーしていました。採寸してシンガポールで届けるそうです。

6月2日（土）シンガポールに入港。オプショナルツアー、「多民族ストリート散策」。レストランにて食後、オーチャーロードを経由してアラブ・ストリートを散策。モスクにて祈りを捧げる敬虔なマレー人、イスラム教徒のコーランの声が聞え、華人・マレー人・インド人たちが多様な文化をいかしながら共生する300万都市シンガポールのいぶきを感じました。

6月8日（金）マレー（モルディブ）入港、オプショナルツアー「インド洋のビーチで海水浴」。スピードボートにてタバ・バンドス島へ、暑いので日焼けに注意して海水パンツの上にシャツを着て海に入ってくれといわれ、で珍妙な格好で海水浴をしました。

6月14日（木）モンバサ（ケニア）入港。オプショナルツアー、「1日サファリ体験」。ツアボ国立公園（野生の王国）を7人乗りのワゴンで3時間半かけてゲーム・ドライブしました。60種類を超える哺乳類、野生のアフリカ象は5、000頭といわれているそうです。

6月21日（木）マッサワ（エリトリア）入港。オプショナルツアー「荒野の温泉体験」。世界一暑い場所のひとつ、気温50度でした。アフリカ大陸の温泉は「自然の河が温泉になって蛇行する水溜り」が温泉になっていました。

6月25日（月）ポートサイド（エジプト）入港。オプショナルツアー、「カイロの裏町散策」。10台のバスに分乗して、前後の2台のパトカー護衛付きで出発、ハッキム・モスク入場見学後、フールカクルーズ約1時間でした。ハン・ハリーリ市場、見学に約2時間、それから街をうろうろしているうちに、方角がわからなくなり往生しました。

とにかくモスクを目標に探がして漸く集合場所に来ましたが、その間、約2キロ、歩いていました。

6月27日（水）アシュドッド（イスラエル・パレスチナ）入港。オプショナルツアー「エルサレム・死海満喫コース」。エルサレム旧市街・オリーブの丘見学、ヨルダンとイスラエルにまたがる塩水湖、死海で泳いで初めて身体が浮くのを体験しました。

7月9日（月）カサブランカ（モロッコ）入港。オプショナルツアー、「モロッコの人たちの日常にふれる」。モロッコの一般家庭を訪問、北海道のバター・チーズを土産に渡して喜ばれました。交流が大いにもり上がり母親と娘のモロッコの踊りを見せてもらいました。

7月12日（火）ラスパルマス（スペイン）入港。オプショナルツアー「キューバの魅力をまるごと体験」。バス4台に分乗して出発、モロ要塞を見学、モヒマル村訪問、革命博物館、民芸品市場、ヘミングウェイ博物館へ入場。

7月25日（水）モンテゴベイ（ジャマイカ）入港。バス2台に分乗して出発。モンテゴベイ1日観光。ラム酒はジャマイカ名産品のひとつです。

7月27日（金）パナマ運河通過には一日かかりました。

8月2日（木）アカプルコ（メキシコ）入港。市内半日観光。マルサス湾を展望後、民芸品マーケット見学、午後ラ・ケプダにてダイビングショーを鑑賞。

8月8日（水）33回、世界一周クルーズの「ご長寿クイズ」に80歳以上の男子5名に参加する。年齢は89・87・85・83・82でした。小生は85歳です。

8月10日（金）バンクーバー（カナダ）入港。オプショナルツアー「バンクーバーとグラウス・マウンテン」に参加、昼食は日本料理店、おかだにて寿司定食でした。久し振りの日本食で、とてもおいしかったです。

8月20日（月）ベトロ・バブロスクカムチャツキ（ロシア）入港。オプショナルツアー、「カムチャッカの人たちと大交流」ではロシアン・ショーを鑑賞、ロシアの舞踏と音楽を堪能しました。

8月22日（水）から3日間、終日クルージングで、8月25日（土）横浜に入港して、8月26日（日）神戸に帰港しました。

主なクラブ戦績　2001. CIRCLE

体　育　会

クラブ名	成績
アメリカンフットボール部	5／27　vs神戸流通科学大　7対0（勝） 8／5　vs大阪府立大　17対7（勝）
空手道部	7／1　全日本学生空手道選手権大会　3回戦敗退　田村淳一 7／15　泉北空手道選手権大会　有段個人　ベスト8　田村淳一 7／29　修交会全国大会　団体　優勝 〃　有段個人　軽量級　優勝　田村淳一 〃　3位　山崎史靖
剣道部	第46回西日本学生剣道大会　団体3位　優秀選手　竹村賢司 第49回関西学生剣道大会　団体ベスト16（全日本出場）
ゴルフ部	9／3　関西学生男子　秋季4.5.6部　学校対抗戦　6位 7／19　関西学生男子　7月度月例杯　2位　川合敏之
硬式野球部	春季リーグ戦（関西六大学野球連盟） 平古場賞：増田雄紀 6／2.3.4　平成13年度関西六大学野球春季新人戦 一　回　戦vs大院大4－7 敗者復活戦vs龍谷大6－3 三位決定戦vs大商大7－7
サッカー部	春季リーグ2部Aブロック　5位 秋季リーグ2部Aブロック　6位
柔道部	全日本ジュニア大阪予選　100kg級　優勝　中谷公彦→近畿大会へ 90kg級　準優勝　栗巣顕著→近畿大会へ 関西学生柔道優勝大会：全日本学生柔道優勝大会　出場
少林寺拳法部	6／3（日）　少林寺拳法関西学生大会 男子　単独演武（有段者の部）ベスト12　石原英樹 〃　ベスト12　岡田泰典 男子　単独演武（段　外の部）ベスト12　藤善亮平
日本拳法部	西日本学生個人選手権大会　準優勝　佐竹　守
バスケットボール部	西日本学生バスケットボール選手権大会　ベスト32 関西学生バスケットボール新人戦 大阪学生バスケットボール選手権大会　準優勝 大阪総合バスケットボール選手権大会　ベスト8

主なクラブ戦績　2001. CIRCLE

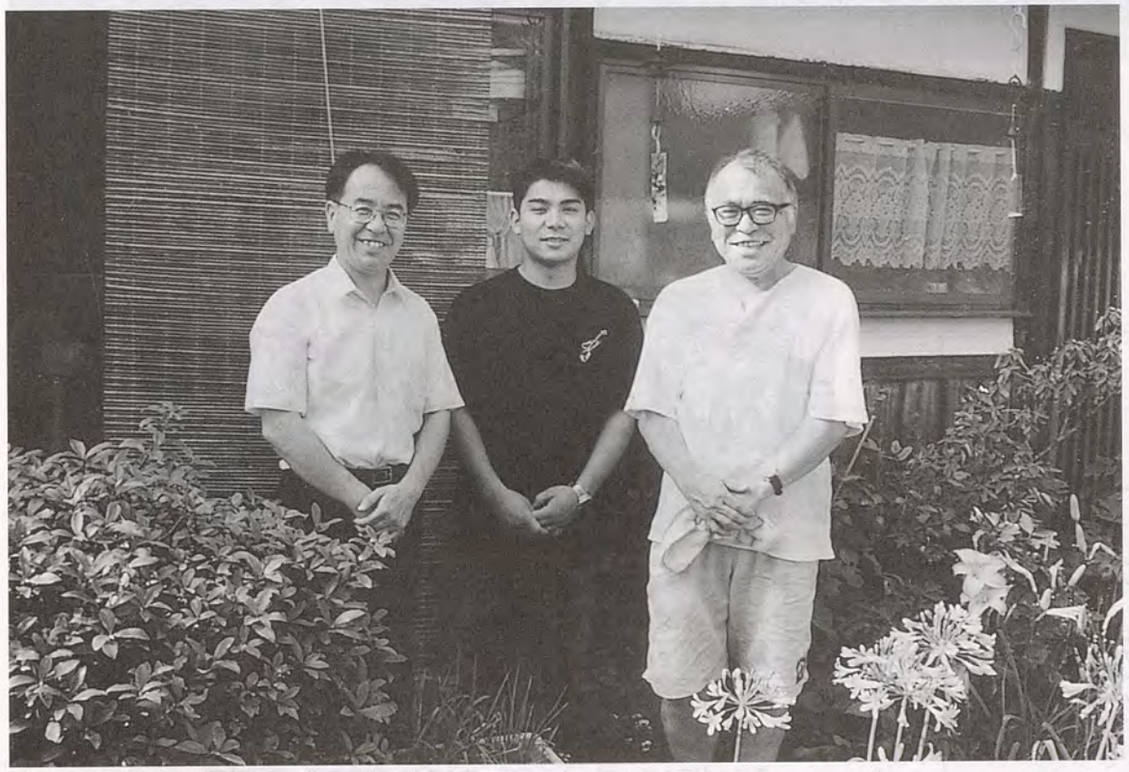
ハンドボール部	関西学生ハンドボール　春季リーグ戦　1部　2位 ベスト7　阪　昭博、坂井正治、新名秀彦 西日本学生選手権大会（福岡市民体育館）準優勝 関西学生ハンドボール秋季リーグ戦　優勝　vs大体大　24対19（勝） 最優秀選手：阪　昭彦　得点王：村上秀行 優秀選手：植田智道、服部和真、新名秀彦 全日本学生ハンドボール選手権大会出場　1回戦（勝）　2回戦（負）
バレーボール部	春季リーグ戦　第2部　6位 〃　サーブ賞　西久保　太
ラグビー部	関西大学ラグビーAリーグ　8位（昭和41年以来Aリーグ在籍）
ヨット部	9／23（日）　スコードロンカップ　スナイプ級　第6位（堂坂健一、中村　洋） 〃　スコードロンカップ　スナイプ級　第7位（鈴木健太郎、鷲尾賢一） 〃　スコードロンカップ　470級　第10位（松下義裕、南井国昭）
洋弓部	関西個人選手権大会　新人の部　30m　女子2位　岩嵜順子 関西個人選手権大会　新人の部　30m　女子3位　前田頼依
陸上競技部	大阪選手権　三段跳　2位　川幡俊行→近畿選手権出場 京都選手権100m　6位　野畑大樹→近畿選手権出場 京都選手権　円盤投げ　7位　藤井友樹→近畿選手権出場 日本ジュニア選手権　三段跳　2位　川幡俊行→アジアジュニア選手権日本代表 アジア選手権　三段跳　6位　川幡　俊行

芸　術　会

クラブ名	日時、催し物、研究会、演奏会、場所
演劇研究部	ごくつぶしのタベ
ギター部	5／17（木）　JOINTコンサート
吟詠部	7月　学内吟詠発表大会
写真部	鉄道ファン（9／21発売号）に掲載される→森本裕之
将棋部	6／17.24　関西学生将棋連盟主催二軍戦　準優勝
証券研究部	6／24（日）　関西証券連盟春期セミナー参加
簿記会計研究部	6／2　第27回全国大学対抗簿記大会 6／10　第98回日商簿記検定試験

ともに経大で育った親子・兄弟・夫婦を特集します。

経大ファミリー



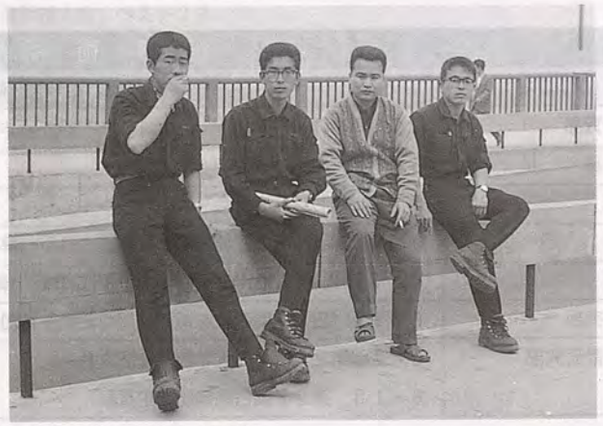
左から健さん、暁さん、章さん

お兄さんと同じ教職の道へ――健さん

冨士本章さんと弟の健さん、そして平成10年に卒業された章さんの長男の暁さんと、兄弟、父子3人が経大OBという冨士本さんご一家。

「正直なところ、キャンパスの狭いのには驚きましたが、ワンゲル部に入部して、よい先輩、仲間たちに恵まれて楽しい学生時代を過ごしました」と当時を懐かしまれる章さん。クラブの仲間とともに夏は山に、そして春は十津川村などの寒村に出向いて、民家に宿泊しながら村人たちと交流を図るというユニークな活動が、全国的にも話題になったという。

8歳年下の健さん。「早くに父を亡くしていたので、兄には父親代わりのようなところがあって、なにかと影響を受けた」とおっしゃるように、卒業後は同じ教職の道を歩まれることになった。



友人と一緒に、章さん（右端）

冨士本　章（31）
昭和40年卒　兵庫県立姫路北高等学校（定時制）教員

冨士本　健（38）
昭和47年卒　姫路市立広嶺中学校教員

冨士本　暁（64）
平成10年卒　有限会社ケイエス商事勤務

働きながら学んだ実り多い日々――暁さん

2部に入学して、昼間は大学の近くの企業で働きながら卒業された暁さん。お父さんが、夜間定時制高校の教育に情熱をそそいでおられる姿をずっと見ながら育ってこられたことが大きかったようだ。

「昼間働いてから、ほんとうに勉強したい学生だけが来ているので、むしろ昼より勉強のできる環境だったと思います」と言う暁さんは、3年間でほとんど卒業に必要な単位を修得してしまい、単位を取ったにもかかわらず興味のある講義を2年続けて受講したり、サッカーのサークル「ドミンゴ」に所属して、土日は練習に精を出すなど、実り多い学生時代を過ごされた。

章さんは、ゼミでは大槻弘先生の「日本経済史」を専攻したものの、つねにワンゲル活動のことが頭にあって、合宿の文化活動に関わって、現地の人の生活実態にどう迫るのかで大牟羅良の「ものいわぬ農民」などをゼミとは別に勉強された。卒論のテーマは「幕末の下級武士の史的役割」とういうもの。

ゼミでは伊藤武先生の「金融論」を選んだ健さん。卒論のテーマは当時はまだめずらしい「南北問題」で、文献が少なくて苦労されましたが、ちょうどドルショックが起こった時期だったため、教職試験の面接の話題がもっぱら国際金融にかかわる問題で、大いに役に立ったという。

暁さんは山田文明先生のゼミで、「学校教育におけるコンピュータについて」というテーマで卒論を書かれた。

「もともと文学部志望だったのですが、入学してから初めて経済のおもしろさに気付きました」と言う健さん。大学紛争の激しい時代でしたが、唯物論研究会というサークルに所属して、先輩から勧められた本を夢中で読むような毎日で、ポケットにはいつも哲学者の文庫本が入っていたと当時を振り返られる。

教師として1日1日を精一杯大切に――章さん

「阪神大震災の後、ワンゲル部のOB合宿が白馬の経大山小屋で行われた時に、久しぶりにみんなが集まりました。その時に、今まではとにかく前ばかり見てがむしゃらに進んできたけれど、年齢的なこともありますが、これからは後ろも振り返るゆとりをと、思うようになりました」と章さん。休日に出かけることをなによりも楽しみにされていて、数年前から「てくてく」という手書きの通信をほぼ1月に1回発行して、旅先のできごと、OB会仲間・学校のことなどを綴ってワンゲル部のOBなどに発信しておられる。

歴史好きが高じて、学校で地歴部を組織したり、姫路城のボランティアガイドを引き受けたりしておられる健さん。本業の社会科教育の本の著者としても活躍されていますが、将来は趣味の郷土史の本を出版したいという夢をもっておられる。

商事会社に勤務されている暁さんは、「今は仕事のことで頭がいっぱい、立ち上がったばかりの部門が早く軌道に乗るようにがんばりたい」と、今後の抱負を語ってくださった。

70周年を向かえる経大の歴史のちょうど真ん中で大学時代を送られたことになる章さんは、「卒業して35年経った現在、あの狭いキャンパスを最大限にうまく活用して、よくここまでいい大学になったと思う」とメッセージを送られた。

健さんは、「今年、同窓生からもらった年賀状に、社会人講座に出るため久しぶりに母校を訪れて、たいへん懐かしい思いで胸がいっぱいになったということが書いてありました。それを読んで、卒業してから1度も訪ねたことのない大学に行ってみたいと思いました」と感慨深げに経大への思いを語ってくださった。

来年3月に定年を向かえられる章さんは、最後まで「生徒のために良い教師とは」ということを、自分自身に厳しく問いかけながら、1日1日を大切にがんばっていきたいということばで締めくくられた。

本校にて、市原ご夫妻

市原　孝志（40）
昭和49年卒　市原会計事務所所長

市原　幸恵（42）
昭和51年卒　同副所長

JR西明石駅に近い閑静な住宅街の一角に洋館風の事務所がある。所長以下13名の陣容で、約180社の顧客を預かる「市原会計事務所」。これが市原夫妻が二人で築き上げた汗と涙の結晶でもある。

「めざせ！税理士、公認会計士」に発奮―孝志さん

そんな会計事務所の所長、孝志さんがどうしてこの税理士の道を選ぶことになったのか。経大に入学した直後のある日、新入生歓迎のオリエンテーションの会場で見かけた「めざせ！税理士、公認会計士」の立て看板の文字が孝志さんの運命を決定づけた。

昭和45年春、兵庫県立洲本高校を卒業、経大には合格したものの、目指す国公立大学に失敗、浪人はできない事情もあった。公務員試験の税務職にパスしていたので、一時は大学進学をあきらめた時もあった。

そんな時に、彼の目に焼きついたのが「税理研究会」の新入部員募集の立て看板であった。「社会に出たら公式に認可された資格を取って社会に役立つ人間になろう」こう思った孝志さんは、当時まだ同好会であった「税理研究会」の門をくぐった。

入部して驚いたことに、6月にいまでは将来の税理士を目指す若手の従業員が、コンピュータ機能をフルに活用し、税務、会計業務はもちろんのこと、とくに中小企業の事業継承のための資産対策など、詳細なデータ分析に基づいた経営指導を行い、お客の信頼を高め、事務所は活気に溢れている。

二人三脚の会計事務所

行われる日本商工会議所簿記検定の2級に、毎年全員が合格しているという。「高校時代普通科で簿記など無縁の僕にとって、わずか2ヶ月で勉強しろってとても無理、正直大変なことになったと思いました」と苦笑い。

それから先輩の指導のもと、1日15～20ページの量を消化するスパルタ教育が始まった。当時同部の顧問であった泉谷教授から「簿記は慣れろ」と教わったそうだが、その言葉通り試験の1週間前は全員で合宿。「この時、先輩から勉強のことはもちろんのこと、食事のことから健康管理のことまで、すべての面で面倒みてもらった。まさに体育会顔負けの一体感がありました」と当時を振り返る。

「私が2年生の時でした。6月の簿記試験2級に初めて不合格者が出た。その責任を取って、指導に当たられた先輩の方が全員丸坊主になられたんです。それほど部員の連帯感がありましたね」と幸恵さん。そんな努力の甲斐あって新入部員40名全員合格し、その後孝志さんは2年生の6月に日商の簿記一級を、3年生の時に税理士資格試験科目の「簿記論」を合格するなど、着々と勉学の成果を挙げていった。

大和ハウス工業を退社し、独立を決意

その彼が卒業後入社した大和ハウス工業本社経理部を1年で退社、昭和50年6月会計事務所に勤務しながら税理士試験に挑戦する事になる。「税理士」と一口に言うが、そう簡単に取れる資格ではない。「簿記論」「財務諸表論」「所得税法」「法人税法」「相続税法」など、会計科目2科目、税法科目3科目の5科目の合格が必要だ。

「所得税法だけでも700時間の学習時間が必要と言われています。1日1時間としても2年は掛かります。苦節10年、努力の甲斐あってようやく一人歩きできるようになりました」としみじみと自らの軌跡を述懐しておられた。

優等生だった幸恵夫人も苦労の連続

一方幸恵さんは「母からは銀行にでも就職し、早くお嫁さんにと言われていましたが、私としてはもう少し上の学校へ行ってみたいと経大を受験したのです。ただ、入学してあまりにも女の子が少なかったので、間違ったところへ来てしまったと正直思いましたね」と入学当時を振り返る。

夫、孝志さんと違って兵庫県立神戸商業高等学校で簿記の3級と2級を取得していたこともあって、1年生で簿記1級を、2年生で「簿記論」を、3年生で「財務諸表論」を、4年生の時「相続税法」をクリヤー、税理士資格に必要な5科目の内3科目を在学中にゲットするという優等生。

「税理研究会は先輩が後輩に教えるというのが慣わしとなっていたが、2年後に入部してきた彼女には何も教えることがなくて…」と、おっしゃる孝志さん。それではと愛の手ほどきをご教授。その甲斐あって孝志さん26歳、幸恵さん24歳の時、見事結婚にゴールイン。

経大卒業後、渡邉泉教授（現学長）の進めもあって吉川弘治税理士事務所に勤めていたが、その後二児を出産、育児のため専業主婦となり、結局税理士試験に合格したのは夫・孝志さんより1年遅れの62年12月だった。「在学中に3科目を取得していたので簡単に考えていましたが、最後の所得税法を合格するのに3年もかかりました。夫が独立、開業したのがその年の5月だったので、税理士試験に合格した時は、これで二人三脚でやっていけるなあと正直安堵いたしました。なにせこの業界は広告宣伝をしてはいけないということになっていますので、あらゆる機会を捕らえてお客さんの身になって相談に乗っていくということをやりました。そのうち中小企業のオーナーさんから息子の仲人を頼まれるという具合に、中小企業の方の良き相談相手にもなりました。今後とも中小企業の人達と地域の発展に寄与することが、税理士の社会的使命と思って頑張ります」と今後の抱負を語っておられた。

（25回卒、森川記）

左から貞文さん、哲弘さん、美笑子さん

齋　貞文（30）
昭和39年卒

齋　美笑子（33）
昭和42年卒

齋　哲弘（58）
平成4年卒

初代体育会本部長として活躍――貞文さん

ご夫婦と長男の哲弘さんの3人が、経済学部卒という齋様ご一家。

貞文さんは準硬式野球部のマネジャーとして、体育会本部の設立に取り組み、初代本部長を務められた。体育会本部の設立に際しては、他大学の会則を参考にしながら会則の草案を作ったり、それまではなかった体育会の推薦入学制度を実現するために奔走され、その甲斐あって経大の体育会はその後めざましい躍進を遂げることに

初代体育会本部長の貞文さん

友人とともに美笑子さん（右端）

なった。「体育会の運営に熱心に取り組んでいるというので、ゼミにはあまり出ていなかったのにちゃんと単位をいただきました」と当時を振り返られる。

3年後輩の美笑子さんとの出会いは、大学のイベントがきっかけになったとか。当時は女子学生がとても少なくて、1学年に10名ほどだったそうだが、生協の奥にあったいつも女子学生が集まる部屋に、貞文さんが「イベントに参加しませんか」と声をかけに行かれたという。

のびのびと過ごした学生時代――哲弘さん

流通・販売管理の藤本ゼミで、ウォールマートを取り上げて「ディスカウントショップ」を卒論のテーマに選ばれた哲弘さんは、書店やデパートなどの流通業でアルバイトをしながら、ソフトボールサークルに所属したり、他大学とのコンパにも参加するというのびのびとした学生時代を過ごされ、現在は上新電機千里中央店に勤務しておられる。

「主人と3年違うだけでもギャップがあるくらいだから、学園紛争が激しかった私たちの学生時代とは隔世の感がありました」と美笑子さん。「あの頃は、大学生活を送るということは勉強だけでない何かプラスアルファがあったけれど、今の学生さんはたいへんだと思います。就職のこと、将来のことを考えるとのんびりしていられないようですね。一生懸命勉強するのは当然のことなのでしょうが・・」

貞文さんは同窓会豊中支部の設立に発起人として尽力されただけあって、総会には毎年必ずご夫妻で出席されている。「昨年、同窓会総会で母校を訪ねましたが、道路と正門くらいしか学生だった頃の面影がないのに驚きました。上新庄の駅周辺もすっかり変わってしまいましたね」

趣味の域を超えた易学研究――美笑子さん

結婚してすぐ家庭に入られた美笑子さん。「女性でも社会に出て活躍できるようにと経済学部を選んだのですが・・」と苦笑される。10年ほど前から易学の学校に通われるようになって、今では趣味の域を超えて、日本の歴史や神社仏閣の成り立ちまで専門的に研究されるまでになった。

そんな美笑子さんは「受験する学生は多いのに、実際に入学するとなると総合大学に負けてしまう、どうしても地味な印象がある。歴史があるのに際立ったカラーがない、実力があるのに出しきれていない」と母校を厳しく評される。そのうえで、貞文さん、哲弘さんとともに『一歩前に』出るくらいの気持ちで、もっと積極的にアピールしていってほしい」「卒業生で知名度のある人、各方面で活躍する人が出てくると、もっとたくさんの学生が集まるようになると思う」「第一志望で経大を選ぶ学生を増やすことが、大学のレベルを上げることになる」「卒業生が自分の子どもを入学させたいと思う大学になってほしい」と、さまざまな大学への提言を寄せてくださった。

哲弘さんの在学時にはまだあったA館、B館もなくなって今は更地になっているということからも、ここ数年で経大がたいへんな変革を遂げていることがうかがえる。

貞文さんは卒業後、大阪日産自動車で営業マンとして23年間活躍され、今は大阪市内にあるビルメンテナンスの会社に勤務しておられる。「枚方市にある松下電器の教育センターのフロントで、外国人向けの案内担当が必要になった時に、同窓会豊中支部の前田さんを通じて、経大の中川先生にお願いして学生のアルバイトを派遣してもらったことがあります。あの時はほんとうに助かりました」と貞文さん。

「学生のみなさんは4年間で自分をしっかり見つめて、何がやりたいのかを探してほしい。そして大学は70周年を機に合格した時、心から喜べるような大学になってほしい」と哲弘さん。

「人間は1人で生きているのではない、先輩、後輩、職員などさまざまな人の縁があるということを忘れないでいてほしい。OBは後輩のために何ができるかを考えていかなければならないし、学生のみなさんには人とのつながりを大切にして生きていけるようになってほしい」という美笑子さんのことばが、強く印象に残った。

がんばっています!

さまざまな分野で活躍する同窓生から元気なメッセージが届きました。

国家・民族・宗教

岩谷宣治（11）

今までに携って来た仕事の関係で世界中に友人が出来た。多い時には500枚近い年末年始のカードを送っていた。

若い頃パキスタンで私が世話になった人の孫が訪ねて来たり、アルゼンチンの友人の知り合いと言う人がやって来たりした。

現役の時に同僚が「世界中に居る友人があなたの最大の財産ですなぁ」と言ってくれた。

民族、宗教を超えたおつき合いが、個人には出来るのに、国対国、民族対民族では、何故摩擦が起きるのであろう。

自宅　大阪市東住吉区山坂1-17-1

経大校舎での同窓会に想うこと

鷹野（大山）静子（14）

今年6月9日、14・15期生合同同窓会が経大の同窓会館でありました。私は昭和23年卒業以来一度も学校へ足を運んでいなかったのでこの機会に学校を見学に行くのもいいかと思い、出席させて頂きました。私は結婚して来年は金婚式を迎えますが振り返ってみればアッという間の人生だったように思われますが、学校へ行って通学路といい校舎といいあまりの変わり様に卒業してから長い年月が経っているのだなあーと感慨一入でした。特に私は陸上競技部におりましたので運動場がなくなっているのもびっくりでした。

当時はトラックもないただの広場でしたが、冬寒い日にあの時代ろくな運動靴しかなかったので靴下のまま走り高跳びやランニングをしていたのが懐かしく思い出されます。またガラスの割れた窓に紙を貼り冬は先生も生徒もオーバーを着たまま授業を受けておりましたが、今日の立派な校舎をみて経大も発展したものだとつくづく嬉しく感無量でした。これからも益々経大が発展されますようにお祈り申し上げます。

自宅　大阪市東住吉区杭全8-3-3

生涯現役をめざそう

岡本良夫（17）

「日本崩壊」という単行本がベストセラーになった。日本企業の70・5％が赤字経営だ。我が国にとっては初めてのことである。

小生71歳。JA全農から王子製紙関連企業そして7年前からオリックス㈱本社営業部で現役生活を継続中である。

他方、10年前から異業種交流会を組織化し、120回の定例会新規事業研究に130数社が集まっている。また地域においては60歳を機に中高年の社会参加を考える会をスタートさせ、首都圏下22カ所3千数百名に達した。少子化社会、生涯現役をお互い目指しましょう。

自宅　清瀬市上清戸1-16-16

勤務先　オリックス㈱東京営業本部

学生時代の私、現在の私

小澤松太郎（19）

昭和26年4月に経済学部3年に編入学し、公立中学の教諭として倉辻ゼミのみ出席、他の科目は旧制高商で学んでいたので試験だけ受け、体育は夜間の授業を受けて学生先生として2年間を過ごしましたので、友人と言えばゼミの人達だけでした。28年3月に無事卒業し、その後他大学の大学院に進学し、以来ずっと中学、公立高校勤務を経て、定年退職後、私立女子短大に勤め、本年3月末で現役を引退。現在は名前だけ名誉教授の称号を受け、第3の人生を歩むべく、充電中です。考えてみれば教育界に50年在職したことになりますが、これは妻や家族のお蔭と感謝しています。

自宅　豊中市待兼山町11-26

第一線を退いて

福本幹夫（10）

清酒業界のきびしい生存競争の中、幸いにして生き残り280年近い（創業享保10年）清酒醸造業を6年前に息子に引き継ぎ第一線を退きました。今は業界関係はもとより、その他の公職も離れて、時折、旅行を楽しんでおります。

唯一、指呼の間に在る大乗寺（応挙寺）の責任役員だけは続けており、過日応挙一門の襖絵などの絵画（国の重要文化財）を保存する収蔵庫が完成いたしました。3、4年のうちにそこに収納いたしますのでまだの方は一度、香住の地へ御来遊下さいますようお待ちいたしております。その際は弊社にもどうぞお立ち寄り下さい。

自宅　兵庫県城崎郡香住御崎646-1

勤務先　香住鶴株式会社（会長）

議会制民主主義はこれでよいか

中嶋一民（21）

三重県名張市の市議会議員を7期27年にわたって続けている。卒業後、商工中金で労働組合に関わったことから、共産党から議員出馬を要請されたのが始まり。のち無所属市民派として『がんばっています』。若年時、いくらバカでも議員だけはなりたくない、と思っていたのが狂ってしまった。

長い議員活動を通じて切実に意識せざるをえないのは、議会制民主主義はこれでよいのか、ということだ。議会という所は全くの形式主義で、かつ、単純多数決の世界だ。議員は住民の意見に直接には拘束されないので、ほとんどの者が独善的にふるまう。ほとんどの議会が住民投票を拒否していることが、これを端的に物語っている。議論によって政策を練り上げるという民主主義のエッセンスが全く機能しない。

そもそも、人に頭を下げまわって、金を使って（私は使わない）選挙に出ようとする者に、そんなに立派な人が多くいるわけがない。私は、日本の民主主義を本物にするには、住民投票を制度化するしかないと考えている。

自宅　名張市鍛冶町72

（無職）名張市議会議員

私の社会感

大沢小吉郎（22）

私は1956年（S31・22回）卒業です。どういう訳か学校だけは、夏・冬の休みに関係無く登校しておりました。別に勉強するでも無くですから不思議な青春時代でした。卒業後一度サラリーマン生活を半年余り経験しましたが現職に従事し、本年7月創業45年目を迎えました。取引関係で母校御出身の岩谷産業㈱（牧野社長）、石原薬品㈱（竹森社長）には永年多大の御引き立てを賜っております。私は「微風」をモットーに歩んで参りました。人生成るようにしか成らないと思いつつ。

自宅　大阪市中央区森ノ宮中央2-9-12

勤務先　泉ケミカル株式会社

母校の今昔と私

飛田正夫（23）

卒業後、40数年住友倉庫での企業人生を続け、平成8年出向中の子会社の役員を辞し、63歳目前当時流行りの「政策科学」専攻の思いに駆られ再度京都の大学に編入・卒業したのち、大阪の大学院で特定科目を2年間履修し、現在専門学校で午後から勤務をしている。

時々、母校で実施されるAFP資格試験の監督官のため、訪れる都度、新装の校舎を見るにつけ、かつて学んだ老校舎を懐かしく思い出す。そして学生の資質もどうなったかとも。

少子化で大学経営の難しさが問われるとき、〝大経大〟ならではの特質を十分発揮され、いつまでも我らが母校として限りなき発展と繁栄を心から願う次第です。

自宅　大阪市城東区放出西1-2-51-1404

勤務先　学校法人行岡学園　近畿医療技術専門学校

62歳の好きな手習い

田口　昌（24）

小生は空手道部のOBです。後輩は空手の道一筋、草野氏、興世田氏は宗家として、また学連産業界関連に従事している諸氏は経大空手道の生え抜きまで武道精神スポーツマンシップの真髄を後輩はもとより、老若男女にお教えを伝承し立派に歩んでいる。

小生はサラリーマンを卒業しシルバー属。諸氏に負けじと62歳にして再び空手の道を一から練磨して3年間。体力の限界を思うこのごろ。初代田中先輩の教え、倉知、漆原同僚とともに励んだ昔を思い、シルバー有段者を目標に地域の若者と一緒に汗を流し再挑戦中。年2～3回、OB会で仲間と学舎を訪ね、現役と練習、懇談する事が唯一の楽しみです。

自宅　奈良市法蓮町1007-4

「教育の道」に歩む

上田良彦（26）

銀行勤務を30有余年送り、以前より希望しておりました「教育の道」を歩んでおります。

現在は羽衣学園短期大学・就職進路指導センターで学生の就職と四大3年編入の指導を担当しております。就職においては氷河期が続いており、企業は個性のある優秀な学生を少数精鋭主義で採用されております。また少子化により各大学への入学が緩和され、各大学の学生確保が大変な時代となっております。

本学においても平成14年4月男女共学による四年制大学・「羽衣国際大学」を開学し、新たな一歩を目指します。

自宅　高石市西取石8-7-7

勤務先　羽衣学園短期大学

就職・進路指導センター

第2の人生 いま初心者マーク

中﨑敏雄（26）

2000年末にて中外製薬を退職、約41年間にわたるビジネスライフに一応の終止符をうった。今年から在職中は何かと忙しくて没頭できなかった趣味の道＝囲碁・ゴルフ・写真をさらに深める第2の人生がスタートしたばかりである。

そのためには、まず基礎体力の向上が肝要とウォーキングを始め、半年間で約4kgをしぼりこんだ。そのかいもあって、ゴルフも80台前半のスコアが時々でるようになった。また囲碁は、現在その大半を費やし、免状は六段ということだが、実力的にはアマチュアのトップクラスには遥かに及ばないのが現状である。写真はフルパノラマ写真に注目しその素材探しに明け暮れている。

いずれにしても自分の体力・気力・能力とどこで折り合いをつけるか悩みながらの毎日である。

自宅　横浜市旭区中尾1-7-3

脱サラ30年に思う

苦木　哲（29）

脱サラ後約30年間、諸外国（アメリカ、アルゼンチン、シンガポール、パキスタン、イラク、オマーン、台湾等々）との貿易輸出、輸入の取引に専念してきた。私の商売の原点は、約8年間のアメリカの貿易商社でのサラリーマン時代であり、特に当時の上司ユダヤ系アメリカ人ジョセフ・ベッシャー氏から教えられたことは、大きな財産となっている。また、約20年前、インテックス大阪の国際見本市会場で、アルゼンチンの素材メーカーの社長カルロス氏と偶然出会ったことも忘れられない出来事である。

振り返ってみれば、未熟な私が、今日まで貿易という商売を継続できたのは、多くの人々との出会いと、相互の強い信頼関係に支えられてきたからだと感謝している。最近の経済不況は深刻だが、独立30年を目前にした今こそ真価を問われる時かもしれない。

自宅　奈良県磯城郡田原本町
薬王寺200-107

勤務先　ニガキ産業株式会社

リタイア後の人生を考えて

荒木不二夫（32）

卒業して35年を過ぎました。そろそろリタイア後の人生を考える頃となり、その時になって慌てないように、今から準備という訳で目下、油絵の教室に通っています。

今一つは健康のためにと50歳代半ばから始めたゴルフも誘いがあれば出来る限りの参加を心掛けています。

自宅　高岡市石瀬中町264-4

勤務先　高岡市役所

私のオフタイム

山脇宣明（35）

私のオフタイムは、やり始めて20年近くなる高校野球の審判です。今年は県大会の決勝戦の球審を担当しました。最後のゲームということは母校が敗れているので審判ができるのであって、複雑な気持です。暑さ、寒さ、しんどさとたたかいながら毎週日曜日・休日と練習試合の審判にと母校へ通っています。

このボランティアも年齢的にあと何年出来るかなあと思いながらグラウンドに立っているこの頃です。気になるのは母校の硬式野球部の成績です。新聞を見ながら郷土の選手の活躍を気にしております。最近の成績はかんばしくなく、監督以下後輩達の一層の奮起を願う。頑張れ経大!

自宅　高知市南万々20-64

勤務先　㈲高知映機センター

こんな時こそ学んだことを役立てよう

坂上正彦（36）

昭和45年3月、学園紛争の嵐の中で卒業しました。後期試験は機動隊に守られ受験、卒業式は3月30日という、まさに本学最大の危機時代をすりぬけてきました。一方、世間では景気も右肩上がりが続き、この時催された万国博は戦後っ子といわれた我々団塊の世代が、華々しく世に繰り出されるオープニングセレモニーであったと言えるでしょう。

しかし、一時代を謳歌した世代も今や50代半ば。すさまじいリストラの嵐に吹きさらされています。私は今宝塚市立病院の事務局長をしておりますが、こんな時代こそ大学で培われた根性を前面に押し出し、この荒波を乗り越えて行きたいと考えています。

自宅　神戸市北区道場町
日下部697-8

勤務先　宝塚市役所

生きていますよ!

福島克也（41）

謹啓、同窓の皆様お変わりありませんか?思い出多き母校をあとにして島根に帰り20余星霜が過ぎました。以来、3度程学舎を訪ねましたが、ここのところ10年は閉居したままです。仕事は貴金属製品の加工や修理販売をしております。昨今の不況は私共の様なぜいたく品を扱う者にはダイレクトに響いていますが、何とか頑張っております。

オフでは、ある団体でいわばライフワークとも言える活動で少なからぬ責任を全うすべく奮闘中!まだまだ人生これからですよ!ゼミではお優しかった倉辻先生に学びましたが、先般の御訃報に接し、残念でたまりませんでした。山陰は良いところです。自然を愛でながら、日々感謝です。皆様の御多幸、御活躍をお祈りしております。

自宅　島根県浜田市錦町2
勤務先　福島金細工店（自営）

発見や出会いを楽しむ日々

石村（咲花）登志江（42）

母校の発展と繁栄また同窓の方々の活躍を毎号「澱江」で拝見しています。私は結婚25年、専業主婦として家事育児に多忙な日々を過ごしていましたが、やっと子供たちも大学5年生と大学2年生になりそれぞれの道を歩んでいます。

現在の私は時間的ゆとりも生まれ、乗馬で馬場に出て障害飛越で汗を流したり、庭の草花を茶室に生け季節を感じ、お茶会やお茶事で新しい発見やさまざまな出会いを楽しんでいる毎日です。

これからもいろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。

自宅　千葉市緑区あすみが丘
6-29-5

福祉の職場から

黒川利明（42）

社会福祉の仕事に従事して四半世紀がたちました。

この間社会福祉を取り巻く環境は目まぐるしく変化し、介護保険が導入された平成12年からは社会福祉の枠組みが変わるなどそのスピードは一段と加速されました。そんな中時折仕事で東淀川区に出張する時は自然と足が大経大に向き、「トンバラそば」はどうなったんだろうかとか、よく行った雀荘はまだあるんだろうかなど、当時を思い出し、ついつい感傷的になってしまうものです。私も卒業してもう25年、若くはありませんが、これからは福祉の分野をとおして、何か社会に役立つことができればと考えております。同窓会のますますのご発展をお祈りいたします。

自宅　松原市立部1-213-1

勤務先　（社福）大阪市社会福祉協議会

私のオフタイム

田中（坂本）ヒロ子（42）

卒業して早や25年、その後大学を訪れる機会は一度も無かったのですが、阪急淡路駅で乗り換え待ちの時、京都方面から来る普通電車の学生達を見かけると「経大生かな?頑張ってね!」と思ってしまうのは元経大生の証でしょうか。大学の様子もだいぶ変わったようですね。

さて私も人生の折り返し点を過ぎ、また阪神淡路大震災を経験し身近な人の死に接する機会が多くなると後半生を充実したいと考える様になりました。それにはまずは「健康」と季節の風を感じつつ毎日ウォーキングに汗を流しています。大経大の発展と同窓諸兄姉の健康を祈ります。

自宅　宝塚市中州1-12-4

心はいつも「青春」

湯谷重彦（43）

いつも「澱江」を送っていただき、ありがとうございます。これを見るたびに学生時代のことを思い出すとともに、経大もこんなに変わってきたんだなあと思います。卒業してもう24年が経ちました。それなりに年もとり、家族もでき、仕事もそこそこできるようになりました。でも、気持はいつも学生時代の20歳前後のつもりです。

気持は常に「青春時代」でいたいものです。夢と希望が持てるから。一度、今の経大キャンパスに行ってみたいと思います。

自宅　姫路市大塩町487-6

勤務先　郵便局

大樟教育研究会に参加して

加藤博康（47）

2001年夏、大樟教育研究会に参加しました。本学が単科大学であるにもかかわらず、教員になっている卒業生が多いのに、いまさら驚きます。本学の特徴のひとつではないでしょうか。また、本学が近畿の教育を支えているという実感を強くもちました。おそらく、本学が従来より、教育内容を中心とした学校づくりをしてきたことに由来すると思います。

スピードと変化の時代といわれますが、教育は社会・歴史の大きなうねりのなかで、長期的な視野と展望をもって取り組まねばならないことだと思います。目の前の

小さな動向にふりまわされることなく、本学の理念・原点から大学教育に取り組んでいくことが、重要かと思います。

自宅　三田市すずかけ台
4-6-4-604
勤務先　兵庫県立北摂三田高等学校

あゆあゆ様々?

吉岡愼一（49）

浜崎あゆみがはいているヒップハンガージーンズをご存知でしょうか?はきこみが異常に浅く、へそ下5cm位にベルトがくるというGパンです。普通のショーツをはくとパンツ丸見え状態になってしまうので娘っこはこぞって浅いはきこみのヒップハンガーショーツも買いに走りました。慢性的供給過剰状態の我が婦人下着業界には全く珍しい現象で私も協力工場の生産をすべてそれにあてましたが、不足状態が続いています。以来、「今時の若者は…!!」から「君たちの動向がおじさんの生活、いやさ日本経済を支えているんだよ!!」に変化したことは言うまでもありません。

自宅　宝塚市花屋敷荘園1-5-1
勤務先　カウハウス（自営）

今思うこと

徳本雅彦（55）

もう大学を卒業してから10年以上たってしまいました。今思えばもうそんなになるのかという気がします。最近忙しい日が続き、自由気ままだった学生の頃に戻りたいと思ったりします。また学生のうちにもっと色々なことをやっておけばよかったという思いもあります。（勉強も含めて）

自宅　大阪市淀川区宮原
1-13-1-701
勤務先　豊中市役所

医療・福祉を通じ社会に貢献

友納伸治郎（55）

現在私は㈱アズウェルという医薬品卸にて医薬品の販売等をしています。医療をとりまく環境は高齢化、少子化に向かい急激な変化の時代に突入しており、我々医薬品業界の未来もまさに国の行政次第という危機に立たされております。しかしながら、医療、福祉を通じ社会に貢献できる職種ということで十分やりがいのある仕事ですので、毎日充実した仕事をこなしています。私は根っからのクラシック音楽ファンでして、休日にはマイオーディオルームで音楽ざんまいの生活を楽しんでおります。

自宅　大阪府南河内郡河南町
寛弘寺903-14
勤務先　㈱アズウェル

子育て奮闘中

山本　直（58）

平成11年3月に結婚し、平成12年5月1日に長男「創大」が誕生しました。親になって初めて大変さがわかりました。これから次の世代に私達は大人として親として何を伝えていけばいいのだろうか。子育てをしながら、自分のこれからの生き方をじっくりと考えています。11月には第2子誕生予定です。

自宅　津山市堀坂60
勤務先　医療法人蘭和会

様々な着こなしをされるお客様

小坂智雄（59）

私はジーンズやTシャツといったカジュアルウェアの販売に携っています。お客様は好みが様々でそれぞれが個性のある着こなしをされるものだということを日々感じています。例えば、今の季節アロハシャツにベージュ色のショートパンツを組み合わせて明るくまとめたり、チェックシャツのインナーにプリントもののTシャツを合わせるのかと思うと、無地ものTシャツを合わせて全体におとなしい感じにまとめるお客様もおられます。これからも1人でも多くのお客様に買っていただくために、ディスプレイの演出や接客を通して、カジュアルウェアの販売に頑張っていきます。

自宅　大津市唐崎1-15-2
勤務先　株式会社　平和堂

めざせ山女!

小林千栄（59）

大学に入学したばかりの頃は、低山とはいえ毎週のように山に登っていました。しかし、大学生活も充実しサークル活動も楽しくなってくると、すっかり山から遠ざかってしまいました。

そして就職して7年。ふと山を想い、いてもたってもいられなくなって、また山に登り始めました。女性の1人登山は何かと不安のため、登山サークルを立ち上げ現在約90名で活動中。まだ1000m以下の山がせいぜいですが、「目指せアルピニスト!」とメンバーと冗談（?）を言いながら、立派な山女めざしてがんばっています。

自宅　大阪市大正区泉尾4-20-12
勤務先　北日本防食㈱

経大とケータイ

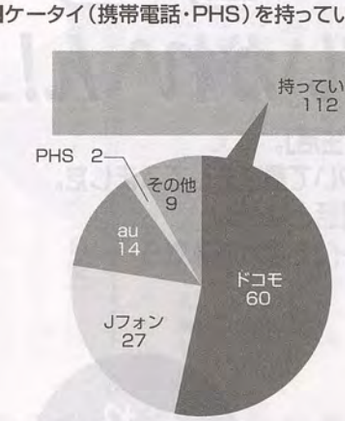
「ってゆーか、無かったら生きていかれへん!」

というくらい普及・浸透した「ケータイある生活」。
今回、大経大学生の生活における携帯電話の存在と利用形態について調査をしてみました。
イマドキな使い方、連絡方法、自分にとって携帯電話とはetc。
彼・彼女たちが抱えている生活と人とのつながりを「ケータイ」で探ってみたら…

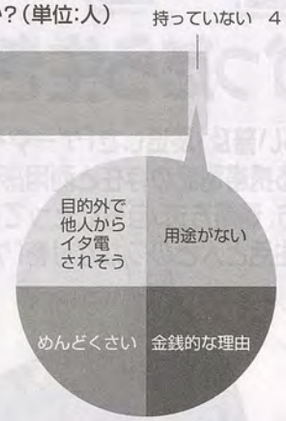
経大とケータイ

まず、ケータイを持っているか否かの質問では圧倒的に「持っている」。携帯電話無くして大学生活を過ごせず、というところでしょう。利用機種はやはり「NTTドコモ」が1位に。使用目的や料金プランから優位に立ったと思われます。

■ケータイ（携帯電話・PHS）を持っていますか？（単位：人）



■今現在使っているケータイの機種は？

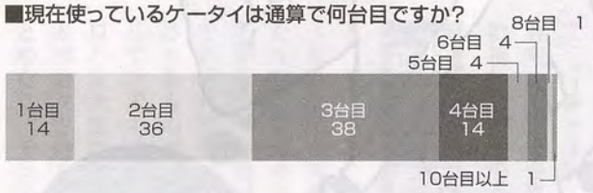


■持ってない理由は？

現在使用している携帯電話は通算で何台目という質問では、高校生の時から利用しているだけあって、2台目以上と答えた人も約半数。電話機自体が段々と軽く薄くなっていく過程を手の中で確かめながら、個性的なストラップを付けて愛着を持って利用しているようです。

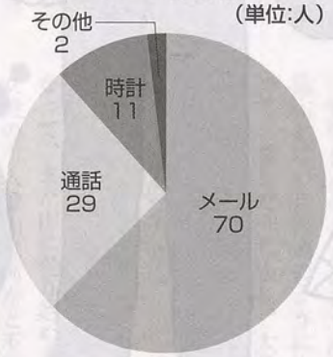
■いつ頃からケータイを持っていますか？（単位：人）

■現在使っているケータイは通算で何台目ですか？



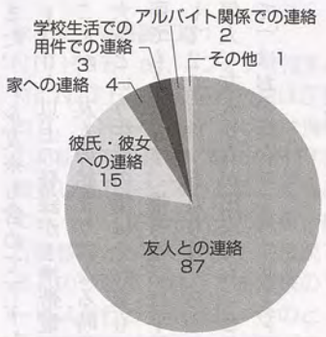
利用する機能としては、やはりメールが多いようです。内容はともかく、現代の国語はここから生まれていると言っても過言ではないでしょう。親指一本で簡潔に要点をまとめ上げる作業は今後の社会生活でも生きてくる!?彼・彼女らは絵文字※を巧みに利用して、気持ちの通じる文章のやり取りも得意なのだそうです。また、物をあまり持ちたくないという学生には、ポケットに時計代わりにもなる携帯と財布だけを突っ込んで歩くという人も若干いましたが、最近の学生は腕時計をしていませんが、ここに理由の一つがあるようです。

■よく利用する機能は何ですか？（単位：人）



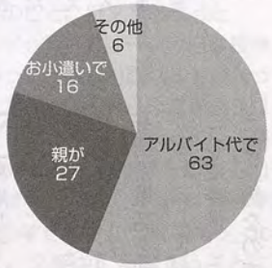
目的としては友人との連絡、もしくは彼女、彼氏への連絡が主なものになっています。確かに、ケータイは人と人のつながりを容易にしました。時間や場所を選ばず、話したいことを、伝えたいことを今すぐ出来る環境になって、コミュニケーションの唯一のツールになってしまった…という事態も生み出しました。でも、友人や彼氏、彼女がいるということは、携帯も「道具」でしかないから、まだまだ安心！

■よく利用する目的は？

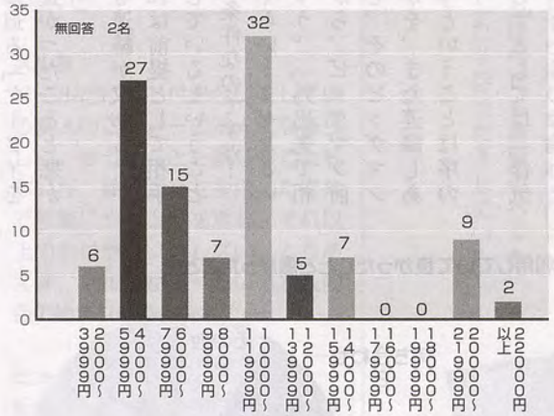


さて、携帯を持つにあたって最大の（？）悩み、使用料金についてですが、アルバイト料で支払っても、親が支払っても、毎月ケッコウな額を使っています。平均すると9、108円。授業を終える↓アルバイト、で自分がすべて負担しているのか、はたまた「学生は勉学に励むべし!?」で、親が、アルバイトもできないくらい勉学に・大学生活にいそしむ我が子を全面的にフォローする意味で家計を割いているのか…理由は分かりませんが、この年代が携帯電話を持つことはかなり肯定的だと…いや、一般的だと思われる結果になりました。それにしても毎月2万円も使用料金を支払って、かつ、お小遣いを与えるとすれば…太っ腹なのか仕方がないのか、大学生とは非常におカネのかかる人種です!?

■使用料はどのように支払っていますか？

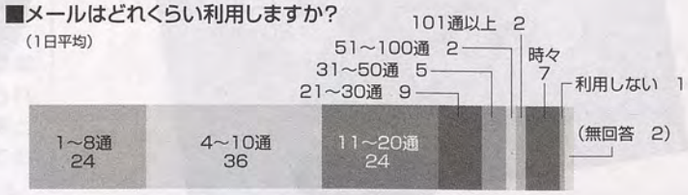


■使用料は平均していくらですか？



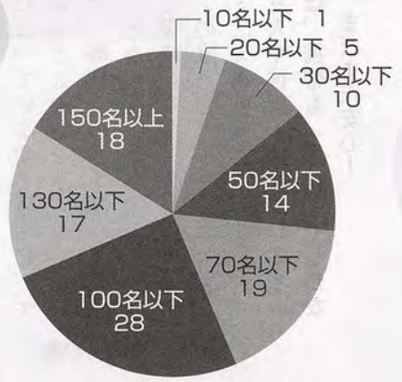
そして携帯の一番ベンリかつ楽しい（？）ところ、メール機能についてお尋ねしました。結構してます、いや頻繁に。しかし、これは…どういう時間帯にどういう用件で利用しているのか。まさか…音が出ないから、「授業中」っていうのは…（うん、ある。との学生の返事。♪さっきの手紙のご用はなあに…）

■メールはどれくらい利用しますか？



また、メル友※も含めてアドレス帳には常に100人以上の登録が！携帯電話の番号を交換することが、友人の始まりになる時代になりましたが、大学という生活の場はそれをもっと手軽に行える場所でもあります。携帯電話は平均的にアドレス帳として200件～500件くらいの空きがあります。何人、友人知人が出来ても「とりあえず、番号教えて」はお手軽なコミュニケーションなのです。

■アドレス帳には何人くらい登録していますか？

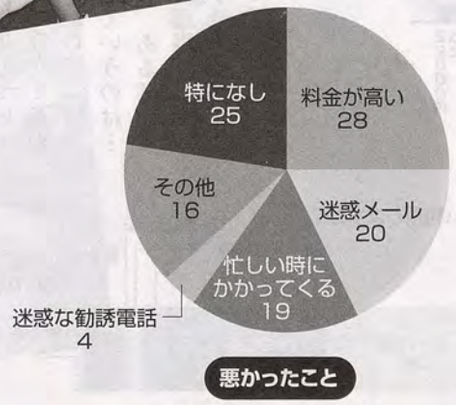


いよいよ本音に迫る「ケータイを利用していて良かったことと悪かったこと」。

「いつでもどこでも連絡が取れる」が大多数でした。これは前提として相手も携帯電話を利用しているということが唯一にして最大の条件なのですが…このご時世、これぐらいトーゼンといえば当然なのでしょう。「外出先で相手と連絡を取りながら、ビッグマン前※で待ち合わせをし、そのビッグマンのどの付近にいるかを、また連絡しあいながら、出会う」ということは序の口になりました。

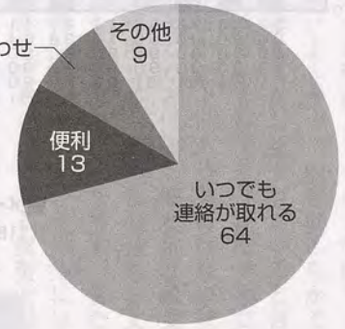
また「悪かったこと」としては「浮気がバレそうになる」というのは論外として、「維持費がかかる（使用料が負担）、思い当たることのないメールや電話がくる」というのが多数でした。しかし、涙が出そうになったのは「マナーの問題で違反してしまうこと。例えば電車内で」との意見。道徳心を持った常識的な学生もちゃんといるのです。「最近の学生は…」とは一概に言わないで下さいね。

■ケータイを利用していて良かったことと悪かったことを



悪かったこと

（有効回答数　112名）



良かったこと

（有効回答数　94名）

用　語　説　明

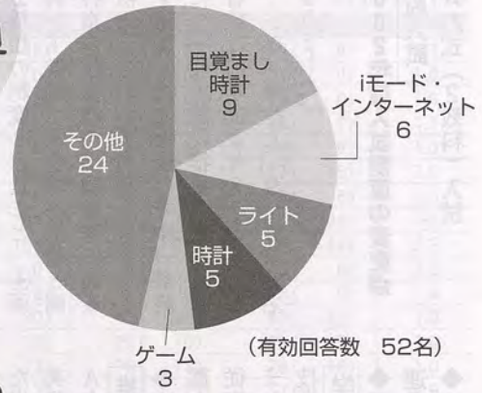
ケイタイ機種御三家：
NTTドコモ、au、Jフォンを指す。特にNTTドコモの契約台数は圧倒的で、「iモード、iアプリ」は携帯の可能性を飛躍的に高めたNTTが開発したサービスである。ちなみにiモードでは電子メール交換、銀行振替等インターネットに接続できるのが特徴。他社でも同様のサービスを行っているが、今のところ対応の幅が広いのがNTTドコモだと言われている。

絵文字：
記号を使って書いた（描いた？）文字のこと。例文をあげると「＼(^o^)／おはー。今日は授業を終わったらφ(..)即バイトが入ってるんだ(T_T)。明日の南港のフリマ（注：フリーマーケット）、楽しみだね♪あたしは張り切ってコート探すよ(￣曲￣;)／。じゃあ今晩は飲みすぎないように□□o(>_<)o」など。文章中に多用することによって、気持ちがより表現されやすいという。

メル友：
メールだけのお付き合いをしている友人のこと。一応友人になるらしい。会ったことも話したこともないが、絵文字等を多用した文章で頻繁にやりとりを重ね、それ以上のお付き合いはしない。とりあえず、メル友から…という友人関係の始まりもある。

ビッグマン：
阪急梅田駅2階、紀伊国屋書店経済書売場入り口付近の上部に取り付けてあるハイビジョン画面のこと。「BIGMAN」と書かれていることから、そう呼ばれる。阪急沿線に住む人、経大人ならおなじみの有名な待ち合わせ場所として知られている。しかし、金曜日の夕刻ともなると大変な混雑で、目当ての人物を探し当てるのはかなり難しい。

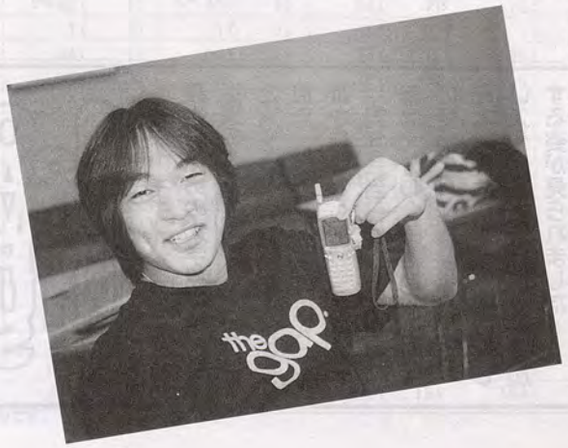
■こんな使い方してます!!



（有効回答数　52名）

最後に一言、ケーダイ生活とケータイの関係について一言でいうならば、との質問には「モチロン、切っても切れない関係！」。講義の出席確認を連絡しあい、テスト前には情報を回し、友達の輪を広げ、結局これがないことには周りに迷惑すら掛けてしまう、という結論になりました。

無いと生きていけない！なんて思わず言ってしまう、ケータイという物体は、単なる道具を越えてかなり密着した生活の一部になってしまっているようです。しかし、こればかりが全てではないこともやはり知っています。ケータイと自分のイイ関係・イイ距離を少しずつ測りながら、彼ら・彼女らは今日も着信のベルを鳴らしたり待ったりしているのです。



入試

2001年度入試を振り返って

18歳人口の減少、長引く日本経済の低迷。経済系学部の不人気がやや回復したとはいえ、依然として続く厳しい環境の下、2001年度の入学試験を実施しました。

2001年度の主な入試制度の変更点は、①公募推薦入学において、試験日を2日間設け試験日自由選択制を導入し、募集人員を増やしたこと（第1部120→160名、第2部40名新設）②A方式（英語1教科）入試において、第2部（経済学部・経営学部）の募集を開始したこと ③特技（スポーツ）推薦入学を特技（スポーツ）AO入試と特技（スポーツ）推薦入学の2種類の制度としたこと ④商業科・工業科・総合学科推薦と商業科指定校推薦の出願資格に通産省初級システムアドミニストレータを追加したことなどです。最終的には一般入試と推薦入学の総志願者数は前年度より875名（△8・5%）減少し、9、378名となりました。

2002年度入試制度の変更点

一般入試

◆A方式（2教科）入試
①2教科入試として実施（従来は英語1教科）
1時限（英語、国語から1科目選択）2時限（英語、日本史B、世界史B、数学Ⅰ・Aから1科目選択）
1・2時限とも英語を選択することが可能

②試験日が2日間に増えました
2月1、2日（試験日自由選択制）2日間併願可

③地方試験場を増設
高松・大阪南会場を新設

◆B方式（3教科）入試
試験日を変更
2月12、13、14日（試験日自由選択制）（前年度10、11、12日）

◆C方式入試
基礎学力テストとして実施
公募推薦（基礎素養検査）に準じた出題形式
英語、国語、日本史B、数学Ⅰ・Aから試験場で2科目選択

推薦入学

◆商業科・工業科・総合学科推薦と商業科指定校推薦
従来よりも出願できる資格が増えました。（「全商コンピュータ利用技術検定2級以上」を追加）

学部独自入試

◆経済学部経済学科 「高―大連携」入試を導入

◆経済学部第一部地域政策学科 公開セミナー入試を導入

◆経営情報学部 IT入試を導入

2002年度指定校説明会日程

以下のとおり指定校説明会を実施しました。

《普通科指定校》

◆6月18日（月）高松市
リーガホテルゼスト高松
徳島・香川・愛媛各県の高等学校対象（18校）

◆6月19日（火）岡山市
ホテルニューオカヤマ
岡山・広島・島根・鳥取各県の高等学校対象（25校）

◆6月29日（金）京都市
ホテル京阪京都
京都・滋賀・福井・石川各府県の高等学校対象（51校）

◆7月2日（月）神戸市
神戸東急イン
兵庫県の高等学校対象（76校）

◆7月10日（火）大阪市
東洋ホテル
大阪・奈良・和歌山・三重各府県の高等学校対象（100校）

《女子高等学校指定校》

◆7月3日（火）大阪市
東洋ホテル
富山・石川・福井・静岡・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・岡山・広島・山口・愛媛各府県の女子高等学校対象（47校）

《商業科指定校》

◆7月5日（木）大阪市
東洋ホテル
福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・島根・岡山・香川・愛媛各府県の商業高等学校対象（44校）

KIDAI CAMPUS 2001 キャンパス見学会

今年のキャンパス見学会（受験生のための大学見学会）は、従来のActⅠ（7月24日（火））とActⅡ（9月22日（土））に加え、11月3日（祝）にActⅢを行いました。

見学会当日は、北は北海道、南は大分の全国各地から多くの受験生や保護者が来学し、ミニ講義に始まる一連の楽しいスケジュールに熱心に参加する姿が見られました。

ActⅠ・Ⅱ・Ⅲの参加者はトータルで1902名を数えました。

◆2001年度入試結果（一般入試・推薦入学）

（ ）内は女子内数

第1部

種類	学部	試験区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
推薦入学	経済学部	公募	70	1,061(50)	1,050(49)	170(9)	118(8)	5.1
		特技AO（競技A）	19	21(0)	21(0)	21(0)	21(0)	1.0
		特技スポーツ（競技B）	16	21(0)	21(0)	13(0)	13(0)	1.6
		商業・工業・総合	15	25(8)	25(8)	22(7)	22(7)	1.1
		商業科（指定数）	10	12(6)	12(6)	12(6)	12(6)	1.0
		普通科（指定数）	125	157(16)	157(16)	157(16)	157(16)	1.0
		女子校（指定数）	15	8(8)	8(8)	8(8)	8(8)	1.0
		合計	270	13,058(88)	1,294(87)	403(46)	351(45)	−
	経営学部	公募	60	998(130)	987(128)	149(28)	107(18)	5.2
		特技AO（競技A）	11	15(0)	15(0)	15(0)	15(0)	1.0
		特技スポーツ（競技B）	9	13(0)	13(0)	9(0)	9(0)	1.4
		商業・工業・総合	40	45(20)	43(20)	43(20)	43(20)	1.0
		商業科（指定数）	10	22(10)	22(10)	22(10)	21(9)	1.0
		普通科（指定数）	60	76(13)	76(13)	76(13)	76(13)	1.0
		女子校（指定数）	10	7(7)	7(7)	7(7)	7(7)	1.0
		合計	200	1,176(180)	1,163(178)	321(78)	278(67)	−
	経営情報学部	公募	30	416(76)	411(76)	79(14)	57(11)	4.0
		特技AO（競技A）	8	2(0)	2(0)	2(0)	2(0)	1.0
		特技スポーツ（競技B）	7	8(0)	8(0)	5(0)	5(0)	1.6
		商業・工業・総合	20	42(12)	40(12)	35(12)	35(12)	1.1
		商業科（指定数）	10	27(13)	27(13)	27(13)	27(13)	1.0
		普通科（指定数）	35	54(11)	54(11)	54(11)	54(11)	1.0
		女子校（指定数）	10	8(8)	8(8)	8(8)	8(8)	1.0
		合計	120	557(120)	550(120)	210(58)	188(55)	−
推薦入学総合計			590	3,038(388)	3,007(385)	934(182)	817(167)	−
一般入試	経済学部	A方式	40	257(20)	254(20)	109(8)	65(5)	2.3
		B方式	230	2,090(98)	1,958(86)	694(37)	363(13)	2.8
		C方式	40	391(29)	382(29)	43(4)	24(2)	8.9
		センター	30	281(22)	281(22)	140(13)	27(0)	2.0
		合計	340	3,019(169)	2,875(157)	986(62)	479(20)	−
	経営学部	A方式	30	168(22)	167(21)	62(12)	36(7)	2.7
		B方式	165	1,277(154)	1,195(141)	466(71)	245(31)	2.6
		C方式	30	276(27)	272(27)	33(4)	25(3)	8.2
		センター	25	208(30)	208(30)	106(18)	16(3)	2.0
		合計	250	1,929(233)	1,842(219)	667(105)	322(44)	−
	経営情報学部	A方式	20	84(14)	84(14)	41(5)	27(1)	2.0
		B方式	125	721(96)	660(88)	294(45)	183(26)	2.2
		C方式	20	124(14)	122(14)	21(1)	18(1)	5.8
		センター	15	150(18)	150(18)	73(10)	17(2)	2.1
		合計	180	1,079(142)	1,016(134)	429(61)	245(30)	−
一般入試総合計			770	6,027(544)	5,733(510)	2,082(228)	1,046(94)	−
推薦・一般合計			1,360	9,065(932)	8,740(895)	3,016(410)	1,863(261)	−

第2部

種類	学部	試験区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
推薦	経済学部	公募	20	43(1)	43(1)	34(1)	19(1)	1.1
		商業・工業・総合	10	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1.0
		合計	30	44(1)	44(1)	35(1)	20(1)	−
	経営学部	公募	20	53(2)	52(1)	36(1)	29(1)	1.1
		商業・工業・総合	10	5(2)	5(2)	5(2)	5(2)	1.0
		合計	30	58(4)	57(3)	41(3)	34(3)	−
推薦入学総合計			60	102(5)	101(4)	76(4)	54(4)	−
一般	経済学部	A方式	10	11(0)	11(0)	10(0)	8(0)	1.1
		B方式	45	77(7)	65(7)	53(5)	29(1)	1.1
		C方式	15	21(3)	20(3)	19(3)	16(3)	1.1
		合計	70	109(10)	96(10)	82(8)	53(4)	−
	経営学部	A方式	10	12(1)	12(1)	10(1)	9(1)	1.2
		B方式	45	65(5)	56(4)	46(4)	32(2)	1.1
		C方式	15	25(1)	25(1)	21(1)	16(0)	1.2
		合計	70	102(7)	93(6)	77(6)	57(3)	−
一般入試総合計			140	211(17)	189(16)	159(14)	110(7)	−
推薦・一般合計			200	313(22)	290(20)	235(18)	164(11)	−

※公募推薦の倍率は受験者数（実員数）を合格者数で割ったものです。

◆2002年度入学試験概要

入学試験の種類		募集学部・学科	募集人員	試験日	願書受付期間
推薦入学	特技（スポーツ）AO（競技種目A）	経済学部　第1部　経済学科	19名	2001年10月22日(月)	2001年10月9日(火)〜10月15日(月)締切日消印有効
		経営学部　第1部　経営学科	11名		
		経営情報学部　経営情報学科	8名		
	特技（スポーツ）推薦（特技種目B）	経済学部　第1部　経済学科	16名	2001年11月11日(日)	2001年10月24日(水)〜11月1日(木)締切日消印有効
		経営学部　第1部　経営学科	9名		
		経営情報学部　経営情報学科	7名		
	公募推薦	経済学部　第1部　経済学科	40名	2001年11月23日(祝) 11月24日(土) 選考日自由選択制	2001年11月1日(木)〜11月12日(月)締切日消印有効
		経済学部　第1部　地域政策学科	15名		
		経営学部　第1部　経営学科	50名		
		経営情報学部　経営情報学科	30名		
		経済学部　第2部　経済学科	20名		
		経営学部　第2部　経営学科	20名		
	商業科 工業科 総合学科	経済学部　第1部　経済学科	10名	2001年12月9日(日)	2001年11月19日(月)〜11月27日(火)締切日消印有効
		経営学部　第1部　経営学科	30名		
		経営情報学部　経営情報学科	20名		
		経済学部　第2部　経済学科	10名		
		経営学部　第2部　経営学科	10名		
	商業科（指定校）	経済学部　第1部　経済学科	5名	2001年12月9日(日)	2001年11月19日(月)〜11月27日(火)締切日消印有効
		経営学部　第1部　経営学科	10名		
		経営情報学部　経営情報学科	10名		
	普通科（指定校）	経済学部　第1部　経済学科	60名	2001年12月9日(日)	2001年11月19日(月)〜11月27日(火)締切日消印有効
		経済学部　第1部　地域政策学科	40名		
		経営学部　第1部　経営学科	50名		
		経営情報学部　経営情報学科	30名		
	女子校（指定校）	経済学部　第1部　経済学科	5名	2001年12月9日(日)	2001年11月19日(月)〜11月27日(火)締切日消印有効
		経済学部　第1部　地域政策学科	5名		
		経営学部　第1部　経営学科	10名		
		経営情報学部　経営情報学科	5名		
	経済情報学部 IT入試	経営情報学部　経営情報学科	10名	2001年11月11日(日)	2001年10月24日(水)〜11月1日(木)締切日消印有効
	地域政策学科 公開セミナー入試	経済学部　第1部　地域政策学科	5名	2001年11月11日(日)	2001年10月24日(水)〜11月1日(木)締切日消印有効
	経済学科 高-大連携入試	経済学部　第1部　経済学科	5名	2001年10月19日(金)	2001年10月5日(金)〜10月11日(木)締切日消印有効
	人間科学部 公募推薦	人間科学部　人間科学科	50名	2002年1月23日(水) 1月24日(木) 選考日自由選択制	2002年1月7日(月)〜1月16日(水)締切日消印有効
	推薦入学合計　625名（第1部565名　第2部60名）				
一般入試	A方式（2教科）入試	経済学部　第1部　経済学科	50名	2002年2月1日(金) 2日(土) 試験日自由選択制	2002年1月7日(月)〜1月22日(火)締切日消印有効
		経済学部　第1部　地域政策学科	30名		
		経営学部　第1部　経営学科	60名		
		経営情報学部　経営情報学科	40名		
		人間科学部　人間科学科	50名		
		経済学部　第2部　経済学科	20名		
		経営学部　第2部　経営学科	20名		
	B方式（3教科）入試	経済学部　第1部　経済学科	100名	2002年2月12日(火) 2月13日(水) 2月14日(木) 試験日自由選択制	2002年1月7日(月)〜1月28日(月)締切日消印有効
		経済学部　第1部　地域政策学科	45名		
		経営学部　第1部　経営学科	100名		
		経営情報学部　経営情報学科	80名		
		人間科学部　人間科学科	60名		
		経済学部　第2部　経済学科	40名		
		経営学部　第2部　経営学科	40名		
	C方式入試	経済学部　第1部　経済学科	20名	2002年3月6日(水)	2002年2月13日(水)〜2月25日(月)締切日消印有効
		経済学部　第1部　地域政策学科	10名		
		経営学部　第1部　経営学科	25名		
		経営情報学部　経営情報学科	15名		
		人間科学部　人間科学科	15名		
		経済学部　第2部　経済学科	10名		
		経営学部　第2部　経営学科	10名		
	大学入試センター試験利用	経済学部　第1部　経済学科	20名	2002年1月19日(土) 1月20日(日) （個別学力検査等は課さない）	2002年1月7日(月)〜1月28日(月)締切日消印有効
		経営学部　第1部　経営学科	20名		
		経営情報学部　経営情報学科	10名		
	一般入試合計　890名（第1部750名　第2部140名）				
	推薦・一般入試合計　1,515名（第1部1,315名　第2部200名）				

※2002年4月の開設予定で「人間科学部　人間科学科」の設置認可を申請しています。「経済学部 第1部 地域政策学科」は2002年4月開設されます。

就職

□**2001年卒業就職状況**

景気に明るさがみえ、企業の採用意欲は、「やや回復」の中で始まった就職戦線であったが、米国景気の減速と日米同時株安などの影響を受け、新卒採用に関しては依然として、厳選採用基調は変わらず、学生にとっては昨年同様に厳しい就職戦線を余儀なくされました。

この厳しい就職戦線の中で就職決定率92・6%はよく健闘したと言えます。就職者は1100名でした。因みに、近畿圏の4年生大学の就職状況は91・2%です。

規模別就職状況は、大企業32・5%（昨年度28・6%）中堅企業26・1%（同25・5%）となり、若干ながら昨年度を上回りました。

□**進路・就職指導**

企業の就職活動は、将来性に富む優秀な学生を早期に確保したいとの意向から、早期化・厳選化の傾向にあります。厳しい就職戦線を勝ち残るために、1・2年の低学年から徹底した進路指導プログラムを組み、学生自ら主体的に就職活動に取り組めるよう万全の対策を講じています。

【おもな就職先】　（2001年4月1日現在）

建設業	機動建設工業	製造業	トステム	卸売業	荏原商事	金融・保険業	コーナン商事
	穴吹工務店		前澤給装工業		ジーネット		大創産業
	積水ハウス		三菱マテリアルシリコン		杉本商事		ニトリ
	大和ハウス工業		リンナイ		トラスコ中山		ヤマダ電機
製造業	伊藤園		新日本工機		NaITO		愛眼
	紀文食品		ニチダイ		山善		ヨドバシカメラ
	神戸屋		京セラミタ		ベネフィットジャパン		阿波銀行
	サンヨー食品		グローリー工業		黒田電気		岐阜銀行
	ドトールコーヒー		タカラベルモント		ダイトエレクトロン		西京銀行
	日清シスコ		大和冷機工業		都築電気		島根銀行
	日本盛		帝国ピストンリング		日本電気機器		大和銀行
	日本食研		ナムコ		富士通パーソナルズ		中国銀行
	明治製菓		三浦工業		富士通ビジネスシステム		鳥取銀行
	六甲バター		新電元工業		大塚商会		南都銀行
	川本産業		富士通テン		日興商会		福邦銀行
	ジャヴァグループ		北陸電気工業		明光商会		北國銀行
	クリナップ		指月電機製作所		シャディ		和歌山銀行
	タカラスタンダード		エクセディ		ダイワラクダ工業		尼崎信用金庫
	ホギメディカル		島津製作所		本間ゴルフ		大阪市信用金庫
	亜細亜証券印刷		北川工業	小売業	イズミヤ		京都中央信用金庫
	シェリング・プラウ		スターライト工業		関西スーパーマーケット		近畿労働金庫
	ゼリア新薬工業		前澤化成工業		コメリ		国際証券
	ツムラ		ヨネックス		ジャスコ		さくらフレンド証券
	資生堂	卸売業	エコートレーディング		セブン・イレブン・ジャパン		新光証券
	寺岡製作所		加藤産業		阪神百貨店		大和証券グループ本社
	東京インキ		高瀬物産		平和堂		野村證券
	トウペ		トーホー		ポプラ		みずほインベスターズ証券
	東洋化学		日本酒類販売		マックスバリュ西日本		日本生命保険
	北興化学工業		ヤマエ久野		西松屋チェーン		富士火災海上保険
	バンドー化学		雪印アクセス		ファーストリテイリング		安田生命保険
	三協アルミニュウム工業		青山商事		すかいらーく		イオンクレジットサービス
	立山アルミニュウム工業		大西衣料		テンアライド		大阪府中小企業信用保証協会
	AIHO		はるやま商事		デニーズジャパン		オリエントコーポレーション
	三和シャッター工業		江守商事		日本ケンタッキー・フライド・チキン		京都信用保証協会
	THK		高圧ガス工業		ワタミフードサービス		ジャックス

金融・保険業	全国共済農業協同組合連合会
	松下クレジット
運輸・通信業	岡山県貨物運送
	上組
	神姫バス
	濃飛倉庫運輸
	福山通運
	丸全昭和運輸
	名鉄運輸
サービス業	エフアンドエム
	船井総合研究所
	(学)大阪経済大学
	NOVAグループ
	インテック
	コンピュータシステムエンジニアリング
	四国日本電気ソフトウェア
	ジャステック
	ジャパンシステム
	ダイワボウ情報システム
	都築通信技術
	トランス・コスモス
	ニッセイ情報テクノロジー
	日立ソフトウェアエンジニアリング
	富士通アドバンストソリューションズ
	ユー・エス・ジェイ
	サンテレホン
	住銀リース
	綜合警備保障
	ニチイ学館
公務	国家公務員(6)
	地方公務員(30)

井手口茂美先生とのお別れ

（二〇〇一年二月三日告別式にて）

波根伸俊（32）

井手口茂美先生。先生とお会いしたのは40年前でしたね。親元を離れ大阪に進学してきた我々寮生を、我が子のようにお世話下さいましたね。全国から集まった個性あふれる学生と寝食をともにし、それぞれの個性を伸ばし、悩みの相談にものって下さいましたね。だから、私達は先生のことを「おやじ」と呼んでいましたね。それは、学生寮を巣立ち、大学を卒業してからも今日まで続きましたね。今日は、そんな先生とのお別れのためにたくさんの仲間が集まっています。今日集まれなかったもっとたくさんの仲間が、全国各地で先生とのお別れを惜しんでいます。今後も、私達は折に触れ先生の遺徳を偲んで集うことでしょう。

私は先生とお会いしたことにより、「人との出会い」と「男子としての志」を大切に生きることを学んだと思います。利害得失を超え、ある意味ではわたくしを犠牲にしてまで、人を育て、人と付き合うことを大切にされた先生は「真の教育者」だったと思います。夜を徹して酒を酌み交わしながら人生を語り、天下国家を論じた学生時代が昨日のことのように懐かしく思い出されます。

また、先生は温和な顔立ちをしておられますが、人一倍負けん気の強い努力家だったと推察いたします。学生寮時代には、我々のために卓球台を用意されましたが、いつの間にかわれわれ寮生の誰よりも試合巧者になられ、寮生の名札書きから始まった書は、いつの間にか立派な額や軸、色紙として我々の宝となっております。本日は詩吟のお仲間もお集まりですが、詩吟発表大会での「構成吟」のシナリオを書かれ、文芸雑誌『こもれび』の執筆編集をされ、被爆体験記『ことりもカラスもいなくなった』を出版されました。毎年の年賀状では自作の漢詩にてその年の心境を語られ、教え子の仲人、教え子の子供の名付け親等、先生に関する思い出は語り尽くせません。

先生は亡くなられるまでの18年間人工透析を余儀なくされました。そのため週に3回の通院をしておられました。その間何度か入院もありましたが克服されました。こんにちまでの闘病生活は正に「不撓不屈の井手口茂美の生き様」であり、我々に勇気さえ身をもって与えて下さいました。週末にお宅をお訪ねすれば、我々にご馳走を用意し、私達の近況を気遣われ、ユーモアまで忘れられませんでした。今年1月、入院されたとお聞きし、友人とお見舞いにお伺いしたところ、「わたしも21世紀まで生き延び、81歳になる。少々生き過ぎたかなと思っている。透析の途中脈拍が減り、心臓にペースメーカーを入れる手術をした。おかげで手足の冷たいのがなおり、呼吸もし易くなった。しかし、手術した所が痛く、血も止まりにくかった。痛いので麻酔を打ってもらったら幻覚がおきた。何年か前の時はカラーの幻覚だったが、今回は白黒の幻覚だった。連れ合いのおばあちゃんも糖尿で一緒に入院することになった。急のことなので今は別々の病室だが、明日からは2人部屋に変われる。退院は2月か、3月になろう」と、一生懸命説明しておられました。それが、急にこんなことになってしまいました。

でも、大した物です。我々に強烈な勇気と激励を与え続ける先生の生き様でした。どうぞ、安らかにお休みください。さようなら。

実践起業論アンケート回答まとめ

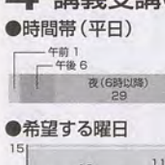
あっという間に1年が過ぎました。同窓生の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。昨年は経営学部企画「実践起業論」に関しまして、積極的なご意見を賜り誠にありがとうございました。

さて遅くなりましたが、皆様からお寄せいただいたご回答の結果をまとめさせていただいた後、本年度の実践起業論の企画についてご紹介し、御礼に代えさせていただきたいと思います。（2002年度の企画につきましては、このまとめの段階では決定しておりません）

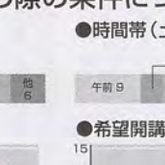
ご回答の結果のまとめ（42名）

1 起業のための実践講座について

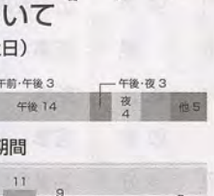
●実践起業論への関心



●実践起業論の同窓生向け開講希望

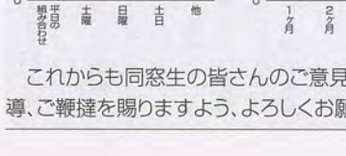


●同窓生向け実践起業論の開講内容

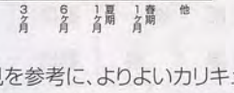


2 実践起業論以外の同窓生向け専門講座について

●特別講座の分野への希望



●経営者再教育システムへの希望



●経営者後継者システムへの希望

●資格講座希望

●実資格講座への関心

3 企業経営相談コーナーの開設について

●定期的な相談窓口の設置

●希望する相談内容

4 講義受講の際の条件について

●時間帯（平日）

●時間帯（土日）

●希望する曜日

●希望開講期間

5 その他の要望

●その他の主なご意見：ネットでの学習、NPO向け事業企画、サテライトキャンパス（大阪内外）、より詳しい資料の提供、会計関係の資格スクール、MBA（経営大学院）、法務関係の学習、図書館等の利用、語学、転職セミナー、株式投資講座と分析、文化講座

6 メールアドレス

●メールアドレス記載の方：20名（ほぼ半数）

2001年度の社会人受講講座

実践起業論7科目中、次の科目については、同窓生をはじめ社会人の方の受講が可能です。

Ⅰ）起業プランの創造（受講定員25名、社会人定員5名）
（火曜夜、17:50−21:00）
Ⅱ）マネジメントゲーム（仮想経営者体験ゲーム）
（受講定員30名、社会人定員5名）（水または金曜夜、17:50-21:00）
Ⅲ）マーケティング特論（受講定員25名、社会人定員5名）
（集中講義、9月3、4、6、7、10、11、12日、2−4限10:30−14:20）
Ⅳ）ビジネス法務（一般講義、定員なし）（火曜日5限目、16:10−17:40）
Ⅴ）オープンカレッジ（公開講座、はがきで申し込み、無料）
（水曜日5限目、16:10−17:40）

費用・内容等

①受講費用

Ⅰ）からⅣ）は「科目等履修生」（単位認定可能）又は「聴講生」（単位認定なし）としての受講手続きが必要です。前者は履修料4万円プラス検定料1万円、後者は聴講料1.5万円です。出願期間2001年3月16日（金）〜22日（木）、受付時間、教務窓口9:00〜20:00。電話でのお問い合わせは、06（6328）2431です。なお、「起業プランの創造」は通常の倍の8単位科目であり、履修料は倍の8万円（聴講料は3万円）となります。

Ⅴ）は無料ですが事前にはがきでの申し込みが必要です。又2002年度には新館（70周年記念館）完成記念完成に伴い、レベルの高い連続講演が開かれる予定です。

②内容解説他

なおこの実践起業論に関しましては、2001年2月13日付『日経新聞』の夕刊（Next関西）に紹介記事が載っております。また同2月中旬より1ヵ月間、経営相談・税務相談・特別講義（講義のみ有料）などを社会人の方に提供してきました。さらに5月の連休には、「起業プランの創造」受講生が中心となって、同窓生向けに「家族そろってIT教室」という企画が実施されました（2001年6月13日付、『日経産業新聞』に記事）。新しい年度に向け、経営者養成講座や各種資格取得の講座などについて考えていきたいと思っております。

③2002年度の企画

なお本年度の実施科目、実施要綱、開講曜日時間は未決定ですが、2月段階では決まっておりますので経大ホームページでご確認いただくか、お問い合わせください。ご希望の方には案内のパンフまたは講義案内をお送りいたします。

これからも同窓生の皆さんのご意見を参考に、よりよいカリキュラムや企画を提供していきたいと考えています。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。　2001年秋　経営学部　「起業プランの創造」担当　樋口克次

事務局だより

本部役員一覧

2001.11.20現在

氏名	役職	卒回
陰下 嘉典	会長	16
福田 耕	副会長	16
白井 正幸	副会長兼組織・広報部長	26
車野 修三	副会長	27
津秋 靖博	副会長兼総務部長	29
福元 輝雄	副会長兼財務部長	37
水納 敏也	事務局長	25
神田 博	事務局長補佐	30
太田 一澄	大阪支部長兼務	17
平尾 哲男	大阪支部会計部長兼務	28
宇藤 博文	和歌山支部長兼務	28
梶村 貞男	総務部副部長	37
高塚 邦夫	総務部副部長	41
山内 淳子	総務部副部長	47
大西 健介	財務部副部長	35
福地 利仁	組織部副部長	39
市原 幸恵	組織部副部長	42
森川 義一	広報部副部長	25
大門 由秀	広報部副部長	46
長尾 晃	監事	8
植村 祐三	監事	32
森 政彦	監事	33
渡辺 達好	名誉会長	3
磯野 斉	相談役	3
南部 俊一	顧問	9
桑津 昇	顧問	11

『澱江』購読料のお願い

「自らの購読料で『澱江』を育てよう！」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました『澱江』購読料は、お陰さまで深い御理解とご協力をいただき、感謝いたしております。

編集子一同は、このご声援に応え、親しまれる『澱江』を目指し、頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

（ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です）

編集後記

来年、大阪経済大学は創立70周年を迎えます。この記念すべき節目の年に、今年もまた『澱江』を発行できることに無限の感慨を覚えます。今年の『澱江』は70周年記念号と位置づけ、従来の『澱江』とは多少趣きを変えた編集としました。

もうすぐ2002年を迎えます。同窓会の皆様におかれましても、大阪経済大学にとりましても来るべき年が実りある年であることを祈念しまして編集後記に代えさせていただきます。

平成11年度版同窓会名簿

新名簿を販売しています。
ぜひ購入して有効に活用してください。

※同窓会の名簿作成については、いかなる業者にも依頼することは絶対ありません。

収録概要
◇第1回卒業生から第64回卒業生（平成10年3月卒業）
◇創設時から平成10年3月までの大学院の卒業生

価格
◇一冊　6，000円（送料込み）
予約金支払い方法
◇郵便振り込み
同封の払込用紙をご利用ください。（払い込み手数料は不要です。）

問い合わせ先
◇大阪経済大学同窓会事務局
06・6328・2431㈹

異動のあったときはただちにご連絡ください。
●住所変更
●呼称変更（新住居表示となった場合）
●勤務先変更
●所属部課異動
●役職異動
●電話番号変更

などの場合は、同封してあります「名簿作成調査表」をご利用のうえ、本部へお届けください。

とくに官公庁、金融機関、損保関係、国公立学校にご勤務の会員のご協力をお願い申しあげます。

●ご注意
最近、皆さまのお手もとに複数の出版社等から、大阪経済大学同窓会名簿の制作に当たっての伝統を背景に、さらに飛躍させるため2000年4月より「記念事業委員会」を発足させ諸事業を展開中です。来年4月開設予定の人間科学部（設置認可申請中）（70周年記念館）、地域政策学科（経済学部）、国際交流会館、記念野球場、奨学金の充実、文化講演会、社会人向け各種講座、高校生からのメッセージ募集、同窓会主催IT講習会、地域周辺写真展・フリーマーケットなど、多彩な企画を大隅の地で開催しています。募金実行委員会はこれら諸事業を遂行させるため募金活動を展開中でございます。同窓会員の皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げる次第です。

（お問い合わせ先）大阪経済大学　総務部　周年事務室　☎06-6328-2431㈹

学歌CD制作実行委員会

学歌CD制作に寄せて

800円（送料込）

昭和10年、黒正巖博士により創立された昭和高等商業学校は、戦中・戦後を大阪女子経済専門学校、大阪経済専門学校と変遷しつつ、その揺籃から既に70年を迎えようとしています。

平成11年、後援会、同窓会共同企画でレコードより新しい形、すなわちCDで歌を残すことになりました。

大学には「学歌」、「逍遙歌」、「第一応援歌」、「第二応援歌」、「選手送歌」、また昭和高等商業学校時代の「学園歌」があります。そういった歌を前回参加クラブに新たにギタークラブ、吟詠部の協力を得て録音しました。現在の学生による現在の歌です。一度ゆっくりご鑑賞ください。

創立70周年記念募金のお願い

昭和7年以降、同窓会の皆さん方の手作りで発展してまいりました大阪経済大学は、来年創立70周年を迎えます。

この伝統を背景に、さらに飛躍させるため2000年4月より「記念事業委員会」を発足させ諸事業を展開中です。来年4月開設予定の人間科学部（設置認可申請中）（70周年記念館）、地域政策学科（経済学部）、国際交流会館、記念野球場、奨学金の充実、文化講演会、社会人向け各種講座、高校生からのメッセージ募集、同窓会主催IT講習会、地域周辺写真展・フリーマーケットなど、多彩な企画を大隅の地で開催しています。募金実行委員会はこれら諸事業を遂行させるため募金活動を展開中でございます。同窓会員の皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げる次第です。

（お問い合わせ先）大阪経済大学　総務部　周年事務室　☎06-6328-2431㈹

70th
Established in 1932

学　歌

作詞　秋本吉郎
（元本学教授）
作曲　柴田南雄
（元東京芸術大学教授）

1.
大淀の　水は春ゆく
ゆたかな春だ
芽立つ葦原　緑が沁みる
この若さ
希望は明るい　蒼穹かけて
永遠の青春　みなぎる学園
大阪　大阪経済大学

2.
大樟の　蔭は裕々
夏風そよぐ
学徒師弟が　幹負いもちて
諸汗に
確かと植えた　融和の象徴
繋れ自由の　花さく学園
大阪　大阪経済大学

学園歌

作詞　黒正巖
（昭和高商初代校長）
作曲　水野康孝
（元本学教授）

1.
商都の東北澱江に
臨みて高く聳り立つ
我等が昭和学園は
産業日本を双肩に
担うて進む若人の
力の糧の広野原

2.
一千余年の其の昔
大隅の宮の在りませし
聖き跡の学園は
忠孝日本を心肝に
銘して学ぶ若人の
教えの道の元標

3.
黒煙天をひた蔽い
船車どよもす八衢を
静かに臨む学園は
科学日本の究明に
生命を注ぐ若人の
心の花の咲く園生

逍遥歌

作詞　中村行男
（16回卒）
作曲　松川圭一
（15回卒）

1.
此処　城北に迎えたる
紺碧淀の春の夢
惜春の賦のただよえば
薫風静かに流れ来て
逝きし苦節の十余年
歴史は吾等に教うなり

2.
水や濁れる人の世に
真理求めて遊ぶ子の
友愛久遠に変るまじ
汝が悲しみに我は泣き
吾が喜びに君や舞う
惜しみて励め我が青春を

3.
踏めば小草も柔き
弥生の庭に集い来し
我が学舎の乙女子は
生命新たな此の曲に
花咲く野山花の下
声美しく歌うかな

KEIDAI OSAKA
でんこう
澱江
2001

■発行日　2001年12月20日
■編　集　同窓会広報部
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8　電話（06）6328-2431
■印　刷　凸版印刷株式会社
〒533-8550 大阪市福島区海老江3-22-61　電話（06）6454-3256